日ごとに
聖書を調べる

2012

日ごとに
聖書を調べる

2012

名前

日ごとに
聖書を調べる

2012

発行者
ものみの塔聖書冊子協会

この出版物は販売を目的としたものではありません。
世界的な聖書教育活動の一環として提供されており,
その活動は自発的な寄付によって支えられています。

Examining the Scriptures Daily—2012
Japanese (*es12*-J)

Made in Japan
日本にて印刷・製本

日ごとに聖書を調べる

前書き

あなたがこの冊子を手に取っておられるのは，聖書の価値を認め，聖書を「事実どおり神の言葉として」受け入れておられるからでしょう。（テサ一 2:13）聖書を毎日読むことによって，「聖書全体は神の霊感を受けたもので，教え，戒め，物事を正し，義にそって訓育するのに有益」であると信じていることを示しておられます。（テモ二 3:16）そして，学んだ事柄を適用することによって，創造者とその方の言葉を心から愛していることを実証しておられます。―ヨハ一 5:3。

しかし，すべての人がそうであるわけではありません。聖書を本当に導きとしている人は少数です。地球人口の0.1%にすぎません。聖書について知ると神を退けたくなる，と思う人さえいます。「わたしは娘に聖書を与えた。無神論者にするためだ」と，アメリカ無神論者協会の会長は述べました。有名な物理学者も，宇宙は自然発生したと断言し，「宇宙の始動に神を引っ張り出す必要はない」と述べています。このような考え方をする人がいるのは意外ではありません。「信仰はすべての人が持っているわけではない」と聖書も認めています。―テサ二 3:2。

信仰を持たない人は，いつの時代にもいました。とはいえ今日，聖書の音信をあざ笑う，神への崇敬の念の欠けた人たちが，かつてなく多くなっているのではないでしょうか。（ペテ二 3:3,4）無関心な態度や独立的な考え方，宗教に対するあからさまな敵意さえ，広く見られるのではありませんか。こうした風潮に宗教指導者たちは当惑し，信者を引き留めるのに苦労しています。しかし，真理によって啓発されているわたしたちは，そうした態度が見られる理由と，それが何を予示しているかを理解しています。

わたしたちは，天で反逆が始まり，その結果として人類に悪と死がもたらされた，ということを知っています。（ロマ 5:12。ヨハ一 3:8; 5:19）現代において悪が増えている理由，神への愛が薄れている理由も理解しています。（マタ 24:12。テモ二 3:1-5, 13。啓 12:12）周囲の状況が悪化するのを見ても，恐れや苦悩に押しつぶされるのではなく，忍耐しています。救いが近いことを知っているからです。（詩 46:1, 2。マタ 24:13）そうした状況は，義の新しい世界が間近いことのしるしなのです。（マタ 24:33。ペテ二 3:13）ストレスの多い今日でも，わたしたちは真理の理解と聖霊の助けにより，慰めと平安な思いを得ています。―コリ二 1:3, 4。フィリ 4:6, 7。

わたしたちは，神の言葉の知識を持っていることを喜んでおり，「霊と真理をもって」エホバを崇拝する人たちとの交友を楽しんでいます。それでも，信仰のうちにしっかりとどまるために奮闘しなければなりません。（ヨハ 4:24。ペテ二 2:20,21; 3:14）神の大敵対者はわたしたちにも敵しており，エホバとの祝福された関係からわたしたちを引き離そうとしています。（ペテ一 5:8。啓 12:17）ですから，力を尽くして，悪魔とその「策略」に抵抗しなければなりません。―エフェ 6:11, 13。

この「日ごとに聖書を調べる ― 2012」は，「目ざめて」いて『信仰のうちにしっかりと立つ』のに役立ちます。（コリ一 16:13）聖句と注解文を毎日読むことを習慣にしましょう。時間を取って，読んだ事柄を黙想し，自分の生活にどのように適用できるかを考えてください。その日の聖句の前後の部分を読んだり，注解文の取られている記事を開いて少し読んでみるのもよいでしょう。家族がいるなら，その日の聖句について一緒に話し合ってください。そうするなら，家族みんなが大きな益と幸せを得るでしょう。―詩 1:1-3。

2012 年句
「あなたのみ言葉は真理です」。
―ヨハ 17:17。

「真理とは何か」。そう尋ねたポンテオ・ピラトは,答えを求めていたわけではありません。(ヨハ 18:38)イエスが答えずにいると,ピラトはそれ以上追求しようとはせず,謁見の間から出て行きました。では,なぜ尋ねたのでしょうか。

イエスは裁判にかけられており,それまでのピラトの質問にすべて答えていました。そして,イエスのある言葉がピラトの注意を引きました。こう記録されています。「ピラトは彼に言った,『それでは,あなたは王なのだな』。イエスは答えられた,『あなた自身が,わたしが王であると言っています。真理について証(あか)しすること,このためにわたしは生まれ,このためにわたしは世に来ました。真理の側にいる者はみなわたしの声を聴きます』」。―ヨハ 18:37。

ピラトは,「真理とは何か」と言い返します。これは冷笑的な言葉です。ピラトは,真理という概念は漠然としていてとらえどころがなく,考えるに値しない,と言っていたのです。実のところ,イエスとピラトの頭にあったものは,異なっていました。イエスは,神の真理,つまりエホバ神から出る真理について述べていました。ローマ人のピラトは,「真理」を受け入れておらず,イエスから学ぶ気もありませんでした。それで,一般的な真理について尋ねました。

今日の多くの人はピラトに似ています。真理とは絶対的なものではなく,状況次第で変わるものである,と考えています。そのため,物事の善悪を,つまり何を受け入れて何を退けるかを,自分勝手に判断します。特に,価値観や道徳規準に関してそのような態度が見られます。

イエスは,絶対的な真理をどこに見いだせるかを知っていました。それで,み父への祈りの中で「あなたのみ言葉は真理です」と言いました。(ヨハ 17:17)これが2012年の年句です。書き記されたみ言葉 聖書には,変わることのない真理が収められています。あらゆる知恵と知識の源であるエホバから出る真理です。(箴 2:6)聖書はエホバを「真理の神」と呼んでいます。(詩 31:5)エホバは永遠に存在しておられるので,

その真理も永遠に存続します。義と命の道筋を歩めるよう，常にわたしたちを導いてくれます。（詩 16:11。箴 12:28。テモ二 3:15-17）真理は，個人的な見解に左右されるものではありません。

わたしたちには聖書があります。これは本当にすばらしいことです。エホバは聖書の中に真理を保存し，世界中の人が入手できるようにしてくださいました。聖書は物事の真実を明らかにしています。わたしたちは聖書を通して，まことの神エホバについて学び，その方の属性や目的や命令を知ることができます。多くの人々が答えを見いだせなかった疑問に，聖書は答えています。人生の目的は何か，なぜ苦しみや死があるのか，どうすれば世界的な平和と一致を実現できるか，といった疑問に答えているのです。

真理を知ることの益についても考えてみてください。イエスは弟子たちに，「[あなた方は]真理を知り，真理はあなた方を自由にするでしょう」と言いました。（ヨハ 8:32）死者の状態を知ると，とこしえの責め苦を恐れることも，死者からの復讐(しゅう)におびえることもなくなります。迷信に基づく様々な教えや慣習からも自由になります。（詩 146:4。伝 3:20；9:5, 10）愛する人を亡くしても，立ち直れないほど嘆き悲しんだりはしません。神にはその人を生き返らせる力がある，ということを知っているからです。（ヨハ 5:28, 29。テサ一 4:13, 14。啓 21:4, 5）聖書の原則に従うことにより，健康を害したり命を縮めたりしかねない行為を避けることができています。（イザ 48:17）こうした知識に匹敵するものが，この世にあるでしょうか。―伝 7:12。

2012年の年句を自分個人に当てはめて黙想すると，真理に沿って生きよう，真理を人々に伝えようという気持ちが強まるに違いありません。わたしたち自身も，わたしたちのことばを聴く人たちも，今そして永遠に，平安な思いを抱いて目的ある人生を送れるのです。―テモ一 4:16。

日々の聖句と注解

この後のページには，各々の日のための聖句とその聖句に関する注解が載せられています。注解は2010年4月から2011年3月までの「ものみの塔」誌（塔）から取られています。「ものみの塔」誌の発行日付の次に出ている数字（1, 2, 3, 4, 5）は，その号の研究記事の順番を示しています。その後の数字は節番号で，そこを調べればもっと詳しい注解が得られます。

1月1日，日曜日

彼は征服しに，また征服を完了するために出て行った。―啓 6:2。

人の子，イエス・キリストは次のように預言しています。「人の子がその栄光のうちに到来し，またすべてのみ使いが彼と共に到来すると，そのとき彼は自分の栄光の座に座ります。そして，すべての国の民が彼の前に集められ，彼は，羊飼いが羊をやぎから分けるように，人をひとりひとり分けます。そして彼は羊を自分の右に，やぎを自分の左に置くでしょう」。（マタ 25:31-33）これは，キリストが「すべての国の民」を二つのグループに分けるために裁き主として来る時のことです。「羊」は，キリストの霊的兄弟（地上の油そそがれたクリスチャン）を活動的に支持する人たちであり，「やぎ」は，「主イエスについての良いたよりに従わない者」たちです。（テサ二 1:7，8）羊は「義なる者たち」と表現されており，地上で「永遠の命」を受けますが，やぎは，「去って永遠の切断に入り」ます。滅ぼされるのです。―マタ 25:34，40，41，45，46。塔10 9/15 5:15，16

1月2日，月曜日

彼が……貧しい者の子らを救(う)ように。―詩 72:4。

大いなるソロモンは，神の指導のもとで，『苦しむ者たちの言い分を弁護し，貧しい者の子らを救い』ます。その支配は，平和と義の支配になります。（詩 72:1-4）イエスは地上にいた時，来たるべき千年統治によって成し遂げられる事柄をあらかじめ示しました。（啓 20:4）イエス・キリストの活動について少し考えるなら，詩編 72編の成就としてイエスが人類のために行なう事柄をうかがい知ることができ，苦しんでいる人々に対するイエスの深い同情心に感銘を受けるはずです。（マタ 9:35，36；15:29-31）例えば，一人のらい病人がイエスに近づいて，「あなたは，ただそうお望みになるだけで，私を清くすることがおできになります」と言いました。イエスがそれにこたえて，「わたしはそう望みます。清くなりなさい」と言うと，その人はいやされました。（マル 1:40-42）後にイエスは，独り息子を亡くしたばかりのやもめに出会いました。『哀れに思った』イエスが，「起き上がりなさい!」と言うと，死んでいたその息子は起き上がりました。なんと，生き返ったのです。―ルカ 7:11-15。塔10 8/15 4:5，6

1月3日，火曜日

真理の霊が……あなた方を真理の全体へと案内するでしょう。―ヨハ 16:13。

西暦33年のペンテコステの日に，「真理の霊」が到来し，エルサレムに集まっていた120人ほどのクリスチャンに注がれました。これには見聞きできる証拠がありました。（使徒 1:4，5，15；2:1-4）弟子たちは「神の壮大な事柄について」様々な国語で話します。（使徒 2:5-11）預言者ヨエルは，聖霊が注がれたこの時のことについて予告していました。（ヨエ 2:28-32）周りの人たちは，その預言が予期せぬ仕方で成就するのを目撃します。使徒ペテロが先頭に立ち，起きている事柄について説明します。（使徒 2:14-18）聖霊は教え手としての役割を果たし，弟子たちの経験した事柄が昔のその預言の成就であることをペテロにはっきり示しました。霊は，思い出させる者としての役割も果たしました。ペテロはヨエル書からだけでなく，ダビデの作った二つの詩からも引用したのです。（詩 16:8-11；110:1。使徒 2:25-28，34，35）集まっていた群衆が見聞きした事柄はまさに神の奥深い事柄でした。塔10 7/15 4:3，4

1月4日，水曜日

もしあなたの兄弟が罪を犯したなら，行って，ただあなたと彼との間でその過ちを明らかにしなさい。彼があなたの述べることを聴くなら，あなたは自分の兄弟を得たのです。―マタ 18:15。

悪魔に立ち向かい，霊的な害を及ぼす機会を与えてはなりません。（ヤコ 4:7）わたしたちは，聖霊の助けによりサタンに抵抗できます。例えば，制御されない激しい怒りを避けるよう用心することによってそうできます。パウロはこう書いています。「憤っても，罪を犯してはなりません。あなた方が怒り立ったまま日が沈むことのないようにしなさい。悪魔にすきを与えてもなりません」。（エフェ 4:26，27）正当な理由があって怒りを覚えるとしても，即座に無言の祈りをささげるなら，神の霊を悲しませかねない行動をせずに，「霊を冷静に」保ち，自制を働かせることができます。（箴 17:27）それで，怒り立ったままでいて，悪い行ないへと誘う機会をサタンに与える，ということがないようにしましょう。（詩 37:8，9）サタンに抵抗する一つの方法は，イエスの助言に沿って争いを速やかに解決することです。―マタ 5:23，24。塔10 5/15 4:9

1月5日，木曜日

主にあって常に歓びなさい。―フィリ 4:4。

晩の家族の崇拝は，無味乾燥な堅苦しいものであってはなりません。わたしたちが崇拝しているのは「幸福な神」であり，その方は，わたしたちが喜びをもって崇拝することを願っておられるからです。（テモ一 1:11）一つの晩を取り分けて聖書の霊的な宝について話し合うことは，本当に祝福となります。親は創意工夫を働かせ，教え方に柔軟性を持たせることができます。ある家族は，10歳の息子のブランドンが「エホバはサタンを表わすのになぜ蛇を使ったか」という題で発表する機会を設けました。ブランドンはこの点が引っかかっていました。蛇が大好きで，サタンと結びつけられるのが嫌だったのです。また，時々聖書劇を行なう家族もあります。各人が登場人物になって聖書からそのせりふを読んだり，ある出来事を実際に演じたりするのです。こうした教え方は，楽しいだけでなく，子どもを積極的にかかわらせることにもなります。そうすれば，聖書の原則が子どもの心に響くでしょう。塔10 6/15 5:13

1月6日，金曜日

わたしたちは，……一切の考えをとりこにしてキリストに従順にならせています。―コリ二 10:5。

子どもは生来の好奇心ゆえに，ポルノに誘い込まれるかもしれません。そうなると，性に対する見方に永続的な影響が及びかねません。ある報告によれば，そうした影響の中には，性に関するゆがんだ感覚や，「健全で愛ある関係を保てないこと，女性に対する非現実的な見方，ひどい場合には，学業および友人や家族との関係の妨げとなるポルノ中毒」などがあります。さらに破壊的なこととして，後々，結婚関係に影響が及ぶおそれがあります。「エホバの証人になる前にいろいろなものの中毒になりましたが，中でもポルノは克服するのが格段に難しかったです」と，あるクリスチャンの兄弟は述べています。「今でもそうした画像が，とんでもない時に頭に浮かぶことがあります。きっかけとなるのは，偶然かいだにおい，ある種の音楽，見るもの，思いがさまようことです。来る日も来る日も闘っています」。塔10 4/15 3:10，11

1月7日，土曜日

エホバの日は盗人のように来ます。そのとき天は……過ぎ去り，……地とその中の業とはあらわにされるでしょう。—ペテ二 3:10。

ここで言われている「天」とは，また「地」とは何でしょうか。「天」という語は，聖書中で象徴的な意味に用いられている場合，臣民の上に高められた支配勢力を指すことが少なくありません。（イザ 14:13，14。啓 21:1，2）『過ぎ去る天』は，不敬虔な社会に対する人間の支配を表わしています。「地」は，神から疎外された人類の世を表わしています。来たるべき滅びは「大患難」の期間中に段階的に生じます。（啓 7:14）最初の局面で，神はこの世の政治支配者たちに「大いなるバビロン」を滅ぼさせることにより，その宗教上の娼婦に対する侮べつを示されます。（啓 17:5，16；18:8）次いで，最終局面であるハルマゲドンの戦いの時，エホバ神がみ子イエス・キリストを用いて，サタンの世の残りの部分をぬぐい去られます。—啓 16:14，16；19:19-21。塔10 7/15 1:2-4

1月8日，日曜日

対処しにくい危機の時代が来ます。—テモ二 3:1。

今日の世は，クリスチャンにとって危険な所になっています。（テモ二 3:2-5）サタンは，自分に残されている時が短いことを知っており，油断している人をむさぼり食おうとしています。（ペテ一 5:8。啓 12:12，17）しかし，わたしたちは無防備だというわけではありません。エホバがご自分の民のために，安全な霊的避難所とも言うべきものを設けてくださっているからです。それはクリスチャン会衆です。一般社会で得られる安全は，身体面にせよ感情面にせよ，ごく限られたものにすぎません。多くの人が，自分の身の安全は犯罪や暴力，物価高，さらには環境問題によって脅かされている，と感じています。だれもが老化や病気という問題に直面します。仕事，家，十分なお金を持っていて，まずまず健康であっても，そのような状態がいつまで続くだろうかと不安に思っている人たちもいます。ですから，わたしたちの周りの人々が極度の不安を感じているのも，将来について深く考えないほうがいいと思っているのも，当然です。塔10 6/15 1:3-5

1月9日，月曜日

世の初めから今に至るまで起きたことがなく，いいえ，二度と起きないような大患難があ(りま)す。—マタ 24:21。

イエスによれば，その患難の日は「選ばれた者たちのゆえに」，すなわち地上にいる油そそがれたクリスチャンの残りの者のゆえに，短くされます。（マタ 24:22）エホバは，偽りの宗教に対する破壊的な攻撃によって油そそがれたクリスチャンと仲間のほかの羊がぬぐい去られることをお許しになりません。イエスは，『それらの日の患難の後に』太陽と月と星にしるしがあり，『その時，人の子のしるしが天に現われる』ことも述べています。そのため，地の諸国民は「嘆きのあまり身を打ちたたき」ます。天で生きる希望を持つ油そそがれた者たち，また地上で生きる希望を持つその仲間は，そうではありません。「身をまっすぐに起こし，頭を上げ」ます。自分たちの「救出が近づいているからです」。—マタ 24:29，30。ルカ 21:25-28。塔10 9/15 5:13，14

1月10日, 火曜日

あなたの民を裁き, 善悪をわきまえるために, 従順な心をぜひこの僕にお与えください。—王一 3:9。

エホバは, ソロモンの夢の中に現われて,「あなたに何を与えるべきか, 願い求めなさい」と言われました。ソロモンは上に記されているように一つのことだけを願い求めました。神はその謙虚な願いにこたえて, ソロモンが求めたものだけでなく, 求めなかったものまでお与えになりました。(王一 3:5,10-13) ソロモンはエホバの祝福を受けて統治し, 非常に素晴らしい時代をもたらしました。地上のどんな政府のもとでも実現したためしのない平和と繁栄の時代です。(王一 4:25) ソロモンの支配がどのようなものかを見に来た人々の中に, シェバの女王とその大勢の随行員たちがいました。女王はソロモンにこう述べました。『私が自分の土地で聞いた言葉は真実でした。私はその半分も告げられていませんでした。あなたは知恵と繁栄の点で, 私の聞かされたことをしのいでおられます』。(王一 10:1,6,7) とはいえイエスは, それよりはるかに偉大な知恵を示したので, 自分自身に関して正当に,「見よ, ソロモン以上のものがここにいる」と言うことができました。—マタ 12:42。塔10 8/15 4:3, 4

1月11日, 水曜日

あなた方が怒り立ったまま日が沈むことのないようにしなさい。—エフェ 4:26。

ある兄弟の言動に気持ちを乱され, ただゆるすということができない場合, 憎しみの気持ちを心の内でつのらせてはなりません。(箴 19:11) だれかに対して腹が立っているなら, 感情をコントロールし, それから問題を解決するのに必要な段階を踏みましょう。問題に煩わされている以上, それを適切な時に穏やかに伝えてください。(エフェ 4:27, 31, 32) 和解の精神をもって率直かつ慈しみのある仕方でその件についてあなたの兄弟と話し合いましょう。(レビ 19:17。マタ 18:15) もとより, ふさわしい時をよく選ぶべきです。「黙っているのに時があり, 話すのに時がある」からです。(伝 3:1, 7) さらに,「義なる者の心は答えるために思いを巡らし」ます。(箴 15:28) そのためには問題を話すのを待つ必要があるでしょう。感情がかき乱されているうちに話すなら状況を悪化させてしまうかもしれません。とはいえ, 長く待ち過ぎるのも賢明ではありません。塔10 6/15 4:8, 9

1月12日, 木曜日

霊がすべての事, 神の奥深い事柄までも究めるのです。—コリ一 2:10。

使徒パウロは今日の聖句の言葉を述べたとき, 聖霊の肝要な役割を際立たせていました。エホバは聖霊を用いて, 深い霊的真理を明らかにしてくださるのです。この助けがないとしたら, わたしたちは果たしてエホバの目的をどれほど理解できるでしょうか。(コリ一 2:9-12) イエスは, 霊がどのように働くか, 二つの方法を知らせました。死の少し前に, 使徒たちにこう告げます。「父がわたしの名によって遣わしてくださる助け手, つまり聖霊のことですが, その者はあなた方にすべてのことを教え, わたしが告げたすべての事柄を思い起こさせるでしょう」。(ヨハ 14:26) 聖霊は, 教え手, また思い出させる者としての役割を果たします。聖霊は教え手として, クリスチャンがそれまで理解していなかった事柄を把握できるようにします。思い出させる者として, すでに説明された事柄を思い起こして正確に適用できるようにします。塔10 7/15 4:1, 2

1月13日, 金曜日

キリストに属しているのであれば, あなた方はまさにアブラハムの胤であり, 約束に関連した相続人です。—ガラ 3:29。

エホバはご自分の霊を用いて,西暦33年のペンテコステの時から, アブラハムの胤の副次的な部分となる人々に油そそぎを行なってこられました。その多くは, アブラハムの子孫ではありませんでした。(ロマ 8:15-17) 聖霊がイエスの1世紀の弟子たちの上にあることは, 弟子たちが熱心に宣べ伝え, 強力な業を行なったことから明らかでした。(使徒 1:8; 2:1-4。コリ一 12:7-11) 聖霊は, そうした奇跡的な賜物によって, エホバの目的が遂げられてゆく過程での, 目覚ましい進展を明らかにしました。エホバは, エルサレムにある神殿を中心にした, 何百年も前からの崇拝の取り決めをもはや用いてはおられませんでした。神の恵みは,新たに形成されたクリスチャン会衆に移っていたのです。それ以来ずっと, エホバはその油そそがれた会衆をご自分の目的のために用いておられます。塔10 4/15 2:9

1月14日, 土曜日

エホバご自身が家を建てるのでなければ, 建てる者たちがそのために骨折って働いても無駄である。—詩 127:1。

「神の祝福がありますように」。ある国では,くしゃみをした時に見知らぬ人からそう言われることも珍しくありません。様々な宗教の聖職者が人々や動物や無生物を祝福しています。旅行者の中には,祝福を受けようとして宗教的な場所を訪れる人もいます。政治家は事あるごとに, 自国に神の祝福があるようにと言います。実のところ, だれが, なぜ, 神の祝福を受けるのでしょうか。エホバは, 終わりの日に, すべての国民から来る清くて平和を求める人々が, 憎しみや反対にもかかわらず地の果てにまで王国の良いたよりを宣べ伝える, ということを予告しました。(イザ 2:2-4。マタ 24:14。啓 7:9, 14) 霊感によるその記述に沿って生きる責任を受け入れたわたしたちは, 神の祝福を願っています。いえ, 必要としています。それなくして,決して成功は望めないからです。塔10 9/15 1:1, 2

1月15日, 日曜日

彼らがわたしを迫害したのであれば, あなた方をも迫害するでしょう。—ヨハ 15:20。

真のクリスチャンは, サタンの事物の体制が生じさせる問題や圧力を免れているわけではありません。(ヨハ一 5:19) さらに, キリストの弟子は, エホバに忠実であろうとするゆえに別のストレスを感じることがあります。とはいえ, わたしたちは「迫害されながらも, 見捨てられているわけでは……ありません」。(コリ二 4:9) なぜそう言えますか。イエスは次のように述べました。「すべて, 労苦し, 荷を負っている人よ, わたしのところに来なさい。そうすれば, わたしがあなた方をさわやかにしてあげましょう」。(マタ 11:28) わたしたちは, キリストの贖いの備えに全き信仰を抱くことにより, エホバのみ手に自分をゆだねます。そうすれば,『普通を超えた力』を得られます。(コリ二 4:7)「助け手」である神の聖霊によって信仰が大いに強化され, 試練や患難に耐えるだけでなく喜びを保つこともできます。—ヨハ 14:26。ヤコ 1:2-4。塔10 6/15 5:15, 16

1月16日, 月曜日

見なさい, 世の罪を取り去る, 神の子羊です! ―ヨハ 1:29。

ヤコブの生涯中のある出来事は, 贖いのために払われた代償の大きさをよく示しています。ヤコブは, 息子たち全員の中でヨセフを一番愛していました。残念なことに, ヨセフの兄弟たちはヨセフをねたみ, 憎みました。それでもヨセフは, 兄弟たちがどうしているかを見て来るようにと父親から言われたとき, 喜んで出かけて行きました。当時, 兄弟たちはヘブロンにあった自宅から北へ100㌔ほどの所で父の羊の群れを牧していました。ヤコブが, 息子たちから血に染まったヨセフの衣を見せられた時にどう感じたか, 想像してみてください。ヤコブは,「これは我が子の長い衣だ! たちの悪い野獣がむさぼり食ったに違いない! ヨセフはきっとかき裂かれたのだ!」と叫びました。この出来事から大きな衝撃を受けたヤコブは, ヨセフのために幾日も悼み悲しみました。(創 37:33, 34) エホバは様々な事態に対して, 不完全な人間と全く同じような反応をなさるわけではありません。それでも, わたしたちはヤコブの生涯中のこの出来事について黙想することにより, 神の愛するみ子が人間として虐待されて残酷に処刑されたときに神がどうお感じになったかを理解できます。塔10 8/15 2:11, 14

1月17日, 火曜日

わたしは天と地におけるすべての権威を与えられています。―マタ 28:18。

エホバは, 弟子たちをキリスト教の真理のうちに強めるためにイエスを用いて聖霊をお与えになります。(ヨハ 15:26) イエスはこの霊を西暦33年のペンテコステの日に地上のクリスチャンに注ぎ出しました。(使徒 2:33) 聖霊が注ぎ出されたことは, クリスチャン会衆の設立をしるしづけるものでした。エホバは, 地上の会衆に対する天からの指導権をみ子にお授けになりました。(エフェ 1:22。コロ 1:13, 18) イエスは, エホバの聖霊によってクリスチャン会衆を導いており, 自分に『服させられた』み使いたちを用いることもできます。(ペテ一 3:22) また, キリストは聖霊によって,「人々の賜物」を会衆に与えました。ある者は「牧者また教える者として」です。(エフェ 4:8, 11) 使徒パウロはクリスチャンの監督たちに, こう促しています。「あなた方自身と群れのすべてに注意を払いなさい。……神の会衆を牧させるため, 聖霊があなた方をその群れの中に監督として任命したのです」。―使徒 20:28。塔10 9/15 4:7, 8

1月18日, 水曜日

その邪悪な人をあなた方の中から除きなさい。―コリ一 5:13。

1世紀のコリント会衆では, ある男性が淫行を悔い改めることなく習わしにする, という問題が生じました。その人のしていることは, 会衆の清さを脅かすものであるとともに, 不信者の間にさえないほどの恥ずべき行為でした。それゆえにパウロは, 当然のこととして, その人を会衆から除くよう指示しました。(コリ一 5:1, 7, 11-13) そのようにして会衆は腐敗的な影響から守られ, 罪を犯した人は正気に立ち返って誠実に悔い改めたのです。パウロは, その人が悔い改めにふさわしい業をしていたことから, コリント会衆への第二の手紙の中で, その人を復帰させるよう指示しました。パウロはコリント会衆に,「[悔い改めた人を]親切に許して慰め, そのような人が過度の悲しみに呑み込まれてしまうことのないようにすべきです」という指示も与えました。(コリ二 2:5-8) わたしたちも, 罪を犯した人が本当に悔い改めて復帰した場合, その人に対する「愛を確証する」べきです。―マタ 6:14, 15。ルカ 15:7。塔10 6/15 2:13-15

1月19日，木曜日

エホバ，わたしたちの神よ，あなたは栄光と誉れと力を受けるにふさわしい方です。あなたはすべてのものを創造し，あなたのご意志によってすべてのものは存在し，創造されたからです。―啓 4:11。

エホバ神は万物を創造した方なので，宇宙の最高主権者であり，創造されたものすべての上におられます。エホバが「無秩序の神ではなく，平和の神」であることは，み使いたちをご自分の家族として組織しておられることから明らかです。（コリ一 14:33。イザ 6:1-3。ヘブ 12:22, 23）神は，まだ何も創造していなかった時，計り知れないほど長い期間，独りで存在しておられました。その後，まず最初に，ひとりの霊者を創造されました。その者は，エホバの代弁者となったので，「言葉」と呼ばれました。そして，その「言葉」を通して，他のすべてのものが存在するようになりました。後に，「言葉」は地に来て完全な人間となり，イエス・キリストとして知られるようになりました。―ヨハ 1:1-3, 14。塔10 5/15 1:1, 2

1月20日，金曜日

わたしはあなたの盾である。―創 15:1。

これは空約束ではありませんでした。例えば，アブラハムとサラがしばらくゲラルに居住していた，西暦前1919年ごろに起きた事件について考えてみてください。ゲラルの王アビメレクは，サラがアブラハムの妻であることを知らずに，サラを自分の妻にするつもりで召し入れました。サタンが背後で物事を操って，サラがアブラハムの胤を生むのを妨害しようとしたのでしょうか。聖書には何も述べられていません。分かっているのは，エホバが介入されたことだけです。エホバはアビメレクの夢に現われ，サラに触れてはならない，と警告なさったのです。（創 20:1-18）エホバが介入されたのは，その時だけではありません。エホバは幾度もアブラハムとその家族を救出されました。（創 12:14-20; 14:13-20; 26:26-29）それゆえに詩編作者は，アブラハムとその子孫に関して，こう言うことができました。「神[エホバ]は人がだれも彼らからだまし取ることを許さず，かえって彼らのために王たちを戒め，こう言われた。『あなた方はわたしの油そそがれた者たちに触れてはならない。わたしの預言者たちに何も悪いことをしてはならない』」。―詩 105:14, 15。塔10 4/15 2:5, 6

1月21日，土曜日

良いたよりを告げる女は大軍をなしている。―詩 68:11。

1世紀において，キリスト教を広めるうえで，女性は重要な役割を果たしました。人々に神の王国について宣べ伝えるとともに，その伝道活動に関連した様々な事柄を行ないました。（ルカ 8:1-3）例えば，使徒パウロは，フォイベという女性を「ケンクレアにある会衆の奉仕者」と呼びました。また，同労者たちにあいさつを送る際にも，「主にあって骨折り働く婦人たちトリファナとトリフォサ」を含め幾人もの忠実な女性たちのことを述べました。さらに，「わたしたちの愛する者ペルシスによろしく。彼女は主にあって多くの労を尽くしてくれました」とも書いています。（ロマ 16:1, 12）現代について見ても，世界じゅうで神の王国についての良いたよりを宣べ伝えている700万余の人々のうちの相当数は，様々な年齢の女性たちです。（マタ 24:14）その中には，全時間奉仕者や宣教者やベテル家族の成員である人も少なくありません。エホバは，女性たちが良いたよりを宣明して神の目的を成し遂げるうえで果たしている役割を，高く評価しておられます。塔10 5/15 2:14, 15

1月22日，日曜日

[パウロは]すぐに諸会堂でイエスのことを，すなわちこの方こそ神の子であると宣べ伝えはじめた。―使徒 9:20。

使徒になった人たちは，キリストから追随者になるよう招かれた時，どう応じたでしょうか。マタイについて，「彼は一切のものを後にして立ち上がり，イエスに従うようになった」と記されています。（ルカ 5:27, 28）ペテロとアンデレは漁をしていましたが，『直ちに網を捨ててそのあとに従い』ました。続いてイエスは，父親と一緒に網を繕っていたヤコブとヨハネを目にします。二人はイエスの招きにどう応じたでしょうか。「彼らは直ちに舟と父を残してそのあとに従った」とあります。（マタ 4:18-22）わたしたちは，それら弟子たちの立派な手本に見倣い，口実をつけずに意欲的に応じたいと思うことでしょう。（ヘブ 6:11, 12）キリストのあとに従うよう精力的に励むなら，思いの平安，満足，充実感，神の是認，永遠の命の見込みなど，永続的で豊かな祝福が得られるのです。―テモ一 4:10。塔10 4/15 4:15-17

1月23日，月曜日

体は一つであっても多くの肢体に分かれて(い)ます。―コリ一 12:12。

わたしたちは皆，不完全さを受け継いでいるので，「そねみの傾向」があります。長年クリスチャンとして歩んできた人でさえ，他の人の状況，所有物，特権，能力をねたむことがあり得ます。（ヤコ 4:5）ねたみを避ける助けとして，聖書がクリスチャン会衆の油そそがれた成員を人体の各部になぞらえていることを思い出してください。（コリ一 12:14-18）例えば，目が心臓より目立つとしても，どちらも価値があるのではないでしょうか。同じように，会衆の一部の成員が目立つことがあるとしても，エホバはすべての成員を価値ある存在と見ておられます。兄弟たちに対してエホバと同じ見方をするようにしましょう。他の人をねたむのではなく，配慮と個人的な関心を示すことができます。そうすることは，真のクリスチャンとキリスト教世界の教会員との違いに寄与します。塔10 9/15 2:3, 12, 13

1月24日，火曜日

それで，あなたの若い成年の日にあなたの偉大な創造者を覚えよ。―伝 12:1。

若者の皆さんは何歳になっていれば，エホバを崇拝しエホバに仕えるようにという，この温かい招きに応じられるのでしょうか。聖書は年齢制限を設けていません。ですから，若すぎると考えて，ためらってはなりません。何歳であっても，一刻も早くこたえ応じるよう勧められているのです。皆さんの多くは，親に助けられて霊的な進歩を遂げていることでしょう。聖書時代のテモテもそうでした。テモテはごく幼いころ，母ユニケと祖母ロイスから聖なる書物を教えられました。（テモ二 3:14,15）あなたの親も，同じようにしてあなたを教えてこられたことでしょう。あなたと一緒に，聖書を研究し，祈り，神の民の集会や大会に出席し，野外宣教に参加しておられるに違いありません。実のところ，あなたに神の道を教えることは，親がエホバご自身から受けた極めて重要な責任なのです。塔10 4/15 1:4, 5

1月25日, 水曜日

わたしの兄弟たち, さまざまな試練に遭うとき, それをすべて喜びとしなさい。あなた方が知っているように, こうして試されるあなた方の信仰の質は忍耐を生み出すからです。―ヤコ 1:2, 3。

ヤコブの息子ヨセフの例について考えてみてください。ヨセフは自分の実の兄弟たちによって奴隷として売り飛ばされました。(創 37:23-28; 42:21) そうした無慈悲なことをされて, ヨセフの信仰は砕かれたでしょうか。自分の身に災難が臨むのを許された神に対して苦々しく思ったでしょうか。神の言葉は, ヨセフがそのような気持ちにはならなかったことを明らかにしています。しかも, ヨセフの受けた試練はそれだけでは終わりませんでした。後には, 強姦未遂の濡れ衣を着せられて投獄されました。しかしその時も, ヨセフの敬虔な専心は全く揺るぎませんでした。(創 39:9-21) それどころか,試練を通して自分を強めたのです。その結果, 豊かな報いを受けました。もちろん, 試練に遭うと, つらい気持ちになるものです。意気消沈することもあるでしょう。しかし, 気落ちするのではなく, 試練を, エホバに対する愛を確証するための機会, またエホバとみ言葉に対する信仰を精錬するための機会とみなしましょう。塔10 7/15 2:13-15

1月26日, 木曜日

言葉によらず, ……引き寄せられる。―ペテ一 3:1, 2。

神の言葉は妻に, 未信者の夫に対しても柔順な態度を保ちなさい, と述べています。妻が良い行状を保つなら, 夫は, そのような立派な振る舞いができるのはなぜだろうと考えさせられます。その結果, クリスチャンである妻の信じている事柄を調べてみようという気持ちになり, やがては自分も真理を受け入れるかもしれません。では, 未信者の夫が好意的にこたえ応じない場合, どうしたらよいでしょうか。聖書によれば, 信者である妻は, クリスチャンの特質をいつも示すべきです。どれほど難しくても, そうするべきなのです。コリント第一 13章4節には,『愛は辛抱強い』と記されています。ですから, クリスチャンである妻が, 引き続き「全くへりくだった思いと温和さとをもち, また辛抱強さをもって」振る舞い,その状況を愛のうちに辛抱するのは良いことです。(エフェ 4:2) 神の活動力である聖霊の助けを得るなら, たとえ難しい状況下でもクリスチャンの特質を保つことができます。塔10 5/15 2:6-8

1月27日, 金曜日

[テモテは]ルステラとイコニオムの兄弟たちから良い評判を得ていた。―使徒 16:2。

テモテの母ユニケと祖母ロイスは献身したクリスチャンでしたが, 父親は信者ではありませんでした。(テモ二 1:5) パウロは, 数年前に初めてその地域を訪れた時にテモテの家族と知り合いになっていたかもしれません。しかしこの度は, テモテに対する特別な関心を示しました。テモテがひときわ優れた若者になっているように思えたからです。こうしてテモテは,地元の長老団の承認のもとに,パウロの補佐となり, 宣教者として活動することになりました。(使徒 16:3) テモテは, 年長の友パウロから多くのことを学ばなければなりませんでしたが, 実際に学び, やがてパウロから信頼されて諸会衆を訪問するために遣わされ, その代理を務めることができるほどになりました。経験が浅く, 恐らくは内気な若者だったテモテが, パウロと交友を持った15年ほどの間に, 立派な監督となるまでに進歩したのです。―フィリ 2:19-22。テモ一 1:3。塔10 6/15 2:6, 7

1月28日, 土曜日

一人の人を通して罪が世に入り, 罪を通して死が入(った)。―ロマ 5:12。

エデンの園での反逆についての聖書の記述は, よく知られています。わたしたちは皆, アダムの罪の影響を実感しています。わたしたちは, 正しいことをしようとどれほど努力しても間違いを犯すので, 神の許しを必要とします。使徒パウロでさえ, こう嘆きました。「自分の願う良い事柄は行なわず, 自分の願わない悪い事柄, それが自分の常に行なうところとなっているのです。わたしは実に惨めな人間です!」(ロマ 7:19, 24) 人類の最初の二親アダムとエバは愚かにも,『初めからの蛇で, 悪魔またサタンと呼ばれる者』に支配されることを選んで, 神の主権を退けてしまいました。(啓 12:9) アダムは, 妻の言うことを聞いて, 自分もその禁じられた実を食べてしまいました。そのようにして, エホバとの関係における完全さを失い, わたしたち子孫に罪と死の無情なくびきを負わせました。同時に人類は, エホバに対抗する,「この世の神」サタンの主権に服することになりました。―コリ二 4:4,「新共同訳」(共同訳聖書実行委員会)。ロマ 7:14。塔10 8/15 1:1, 3, 4

1月29日, 日曜日

収穫は大きいですが, 働き人は少ないのです。それゆえ, 収穫に働き人を遣わしてくださるよう, 収穫の主人にお願いしなさい。―マタ 9:37, 38。

自分の状況を注意深く検討すると, 宣教に費やす時間を増やせることが分かるかもしれません。例えば, 学校を卒業したての大勢の若者たちが宣教を拡大し, 開拓者として熱心に奉仕することの喜びを経験しています。あなたもその喜びを味わいたいと思いませんか。また, 兄弟姉妹の中には, 自分の状況を検討して, 王国伝道者の必要の大きい国内あるいは海外の区域に移動することにした人もいます。外国語を話す人を援助するために言語を学んだ人もいます。宣教を拡大するには努力が要りますが, そうするなら豊かな祝福が得られ,「真理の正確な知識に至る」よう人々を援助できるでしょう。―テモ一 2:3, 4。コリ二 9:6。塔10 4/15 4:14

1月30日, 月曜日

民を, 男も, 女も, 幼い者も, ……集合させなさい。彼らが聴くため, また学ぶためである。―申 31:12。

今日の若い人たちも, エホバを崇拝するために集合するよう招かれています。そして, 世界じゅうにいる大勢の若い神の僕たちが,「互いのことをよく考えて愛とりっぱな業とを鼓舞し合い, ある人々が習慣にしているように, 集まり合うことをやめたりせず, むしろ互いに励まし合い, その日が近づくのを見てますますそうしようではありませんか」というパウロの勧めに従っています。そのことは神の民すべてに喜びをもたらしています。(ヘブ 10:24, 25) 多くの子どもたちは, 集会に出席するだけでなく, 親と一緒に神の王国についての良いたよりを宣べ伝えています。(マタ 24:14) そして毎年, 幾千幾万という若い人が, エホバに対する心からの愛の表明として, 自らを差し出してバプテスマを受け, キリストの弟子であることから来る祝福を享受しています。―マタ 16:24。マル 10:29, 30。塔10 4/15 1:1, 3

1月31日，火曜日

これらのものがあなた方のうちに在ってあふれるなら，それはあなた方が，わたしたちの主イエス・キリストについての正確な知識に関して無活動になったり，実を結ばなくなったりするのを阻んでくれるのです。―ペテ二 1:8。

預言者エレミヤは，わたしたちの倣うべき立派な模範です。必要な霊的糧をエホバから与えられて，深く感謝しました。その滋養物を得ていたからこそ，良い反応を示さない民に忍耐強く宣べ伝えることができたのです。「エホバの言葉は……わたしの骨の中に閉じ込められた燃える火のようになりました」と言っているとおりです。（エレ 20:8，9）またエレミヤは，その滋養物のおかげで，エルサレムの滅びによって最高潮を迎える苦難の時代を耐え忍ぶこともできました。今日，わたしたちの手元には，一式の書き記された神の言葉があります。わたしたちも，勤勉にそれを研究して神のお考えを自分の考えとするなら，エレミヤと同じように，宣教奉仕において喜びつつ忍耐し，試練のもとでも忠実を守り，道徳的また霊的な清さを保つことができます。ですから，晩の家族の崇拝を欠かしてはなりません。たとえ1週といえ，行なわない週がないようにしましょう。―ヤコ 5:10。塔10 7/15 2:5，8，9

2月1日，水曜日

だれが人を他と異ならせるのですか。実際，自分にあるもので，もらったのではないものがあるのですか。では，確かにもらったのであれば，どうしてもらったのではないかのように誇るのですか。―コリ一 4:7。

誇りは人と人を隔てます。誇り高い人は，自分が他の人より優れていると考えがちで，しばしば自分のことしか考えずに自慢して喜びます。しかし，これは一致の妨げとなることが少なくありません。自慢を聞いた人がねたみを抱くこともあるからです。弟子ヤコブは率直に，「そのような誇りはすべてよこしまなものです」と述べています。（ヤコ 4:16）他の人を劣っているかのように扱うのは愛のないことです。注目すべきことに，エホバは，わたしたち不完全な人間を扱う点で謙遜さの手本となっておられます。ダビデは神について，「あなたの謙遜さがわたしを大いなる者とします」と書きました。（サム二 22:36）神の言葉は，正しい考え方を教えることによって，誇りに打ち勝てるよう助けてくれます。ですからパウロは霊感のもとに，今日の聖句のように問いかけているのです。塔10 9/15 2:11

2月2日，木曜日

愛は辛抱強く，また親切です。―コリ一 13:4。

パウロは，「自分に力を与えてくださる方のおかげで，わたしは一切の事に対して強くなっている」と書いています。（フィリ 4:13）クリスチャンである側は，神の霊の助けにより，それがなければ行なえないような多くの事柄を行なえます。例えば，未信者の配偶者から辛辣な態度を取られると，やり返したくなるかもしれませんが，聖書はクリスチャンすべてにこう述べています。「だれに対しても，悪に悪を返してはなりません。……こう書いてあるからです。『復しゅうはわたしのもの，わたしが返報する，とエホバは言われる』」。（ロマ 12:17-19）テサロニケ第一 5章15節にも，こうあります。「だれも，またどれに対しても，危害に危害を返すことのないようにしなさい。むしろ，互いに対し，また他のすべての人に対して，常に良いことを追い求めなさい」。エホバの聖霊の後ろ盾を得るなら，自分の力では不可能な事柄でも可能になります。ですから，自分の至らないところを補ってくださるよう神の聖霊を祈り求めるのは，確かにふさわしいことです。塔10 5/15 2:8，9

2月3日，金曜日

善をもって悪を征服してゆきなさい。
—ロマ 12:21。

慈しみのある言葉で十分に意思を通わせるなら，平和な関係を築いて維持することができます。また，関係を良くするためにできることを行なうなら，より良く意思を通わせられるようになります。機会を見つけて助けになったり，心からの贈り物をしたり，もてなしたりするなど，自分のほうから誠実で親切な行ないをするなら，自由に話し合えるようになるでしょう。さらには，相手の頭に「燃える炭火を……積む」ことになり，良い特質を引き出して，話し合いがしやすくなるかもしれません。（ロマ 12:20）族長ヤコブはその点を理解していました。双子の兄エサウが自分に対して激しい怒りを抱いたため，ヤコブは殺されることを恐れて逃げました。月日が流れ，ヤコブは戻って来ます。エサウが400人を連れて会いにやって来ます。ヤコブはエホバに助けを祈り求めます。そして，エサウにたくさんの家畜を前もって贈ります。贈り物はその目的を果たしました。二人が出会った時，エサウは心を和らげており，走り寄ってヤコブを抱擁したのです。—創 27:41-44；32:6，11，13-15；33:4，10。塔10 6/15 4:10，11

2月4日，土曜日

神はご自分のみ子を遣わし（た）。
—ガラ 4:4。

エホバはみ使いガブリエルを預言者ダニエルのもとに遣わし，「指導者であるメシア」の到来に関する預言を伝えさせました。（ダニ 9:21-25）まさに予告されていた時，西暦29年の秋に，イエスがヨハネによってバプテスマを施されます。聖霊がイエスの上に注がれ，イエスは油そそがれた者，すなわちキリスト，またメシアとなりました。（マタ 3:13-17。ヨハ 1:29-34）そのような者として，比類のない指導者となるのです。イエスは，地上での宣教奉仕の最初から，自分が「指導者であるメシア」であることを実証しました。数日のうちに弟子たちを集め始め，最初の奇跡を行ないました。（ヨハ 1:35-2:11）弟子たちを伴って，広範囲に旅をし，王国の良いたよりを宣べ伝えました。（ルカ 8:1）イエスは，宣べ伝える業において彼らを訓練し，宣べ伝えて教える面で率先して，立派な手本を示しました。（ルカ 9:1-6）今日のクリスチャンの長老がこの点でイエスに見倣うのはよいことです。塔10 9/15 4:4，5

2月5日，日曜日

イエス……は，すべての人のための対応する贖いとしてご自身を与えてくださったのです。—テモ一 2:5，6。

わたしたちは，アダムの子孫なので不完全な体を受け継いでおり，罪をおかしやすく，老化して死にます。アダムが罪をおかした時に，いわばその腰にあったため，わたしたちも死の宣告を受けたのです。仮に贖いが支払われないまま，老化と死をなくすとしたら，エホバは言ったことを実行しない神だ，ということになります。パウロは，事実上わたしたち全員を代表して，こう語りました。「わたしたちが知っているとおり，律法は霊的なもの……です。しかしわたしは肉的であって，罪のもとに売られているのです。わたしは実に惨めな人間です！ こうして死につつある体から，だれがわたしを救い出してくれるでしょうか」。（ロマ 7:14，24）正当にわたしたち人間の罪を許してとこしえの死という刑罰を免除するための，法的基盤を据えることができるのは，エホバ神だけです。神は，愛するみ子を天から遣わして，完全な人間として生まれさせることにより，基盤を据えられました。み子は，自分の命を人間の贖いとして与えることができます。イエスはアダムとは異なり，完全性を保ちました。実際，『彼は罪を犯しませんでした』。—ペテ一 2:22。塔10 8/15 2:9，10

2月6日，月曜日

わたしはどうしようもないものを目の前に置きません。―詩 101:3。

クリスチャンは，物質主義やオカルトを助長する娯楽や，暴力，流血，殺人の場面を売り物にした娯楽を避けます。クリスチャンの親は家庭において，何を見ることを許すかに関し，エホバのみ前に責任を負っています。真のクリスチャンは故意に心霊術にかかわったりはしませんが，親は，怪異な習わしを呼び物にする映画，テレビの連続番組，テレビゲームに，またマンガや児童書にも，気をつける必要があります。（箴 22:5）暴力を特色とし，血まみれのリアルな殺人シーンを売り物にしたテレビゲームは，年齢にかかわらずだれも楽しむべきではありません。（詩 11:5）エホバが罪に定めておられるどんな行ないにも思いを向けることのないようにしなければなりません。サタンがわたしたちの考えを標的にしていることを忘れないでください。（コリ二 11:3）また，悪くないと考えられている娯楽でも，あまりに多くの時間を費やすなら，家族の崇拝，毎日の聖書通読，集会の予習のための時間が奪われてゆくかもしれません。―フィリ 1:9，10。塔10 4/15 3:12，13

2月7日，火曜日

エホバは，敬虔な専心を保つ人々をどのように試練から救い出すか……を知っておられる。―ペテ二 2:9，10。

わたしたちは，神に愛されていることを知っているので，どんな試練に遭うとしても耐え忍ぶことができます。（ロマ 8:35-39）「健全な思い」を持って「祈りのために目をさまして」いる限り，サタンがいくらわたしたちを落胆させようとしても，そうすることはできません。（ペテ一 4:7）イエスはこう述べました。「それで，起きることが定まっているこれらのすべての事を逃れ，かつ人の子の前に立つことができるよう，常に祈願をしつつ，いつも目ざめていなさい」。（ルカ 21:36）イエスが「祈願」という語を用いたことに注意してください。祈願とは，きわめて真剣な祈りのことです。イエスは，祈願するよう命じることにより，イエスと天の父の前に立つ（つまり，是認された状態でいる）ことに関して無頓着になるべき時ではない，という点を強調しました。エホバの日を生き残る見込みがあるのは，是認された状態でいる人だけだからです。塔10 7/15 2:13，16

2月8日，水曜日

おのおの隣人に対して真実を語りなさい。わたしたちは肢体として互いのものだからです。―エフェ 4:25。

わたしたちは，「肢体として互いのもの」となって結び付いているので，人を欺くねじくれた行動をしたり仲間の崇拝者を故意に惑わそうとしたりすべきではありません。それはうそをつくのと同じです。そうした歩みをあくまで続けようとする人は，神との関係を失うことになります。（箴 3:32）人をだます言動は会衆の一致を乱しかねません。それゆえわたしたちは，信頼できる預言者ダニエルのようであるべきです。ダニエルのうちに，腐敗した事柄は何も見いだされませんでした。（ダニ 6:4）また，わたしたちは，天的な希望を持つクリスチャンに対するパウロの助言を銘記すべきです。「キリストの体」の各成員は他のすべての成員のものであり，イエスの油そそがれた追随者たちと一致を保っている必要がある，という助言です。それら追随者は真実を語る者たちです。（エフェ 4:11，12）わたしたちも，楽園となる地で永久に生きることを希望するなら，真実を語らなければなりません。そのようにして，世界的な兄弟関係の一致に貢献します。塔10 5/15 4:7，8

2月9日，木曜日

あなた方は洗われて清くなったのです。神聖な者とされたのです。わたしたちの主イエス・キリストの名において，またわたしたちの神の霊をもって，義と宣せられたのです。―コリ一 6:11。

聖霊は，神の民の間で清さを促進する力となっています。エホバの目的に関与する人たちは，道徳的に清くなければなりません。(コリ一 6:9-11) 真のクリスチャンになった人々の中には，かつては淫行，姦淫，同性愛行為などの不道徳を習わしにしていた人もいます。罪の行ないを産む欲望は，根深い場合があります。(ヤコ 1:14，15) それでも，そのような人は『洗われて清くなり』ました。生き方に関して，神に喜んでいただくために必要な変化を遂げたのです。神を愛する人が，間違った欲望に従って行動したくなる衝動に屈しないでいられるのは，どうしてでしょうか。今日の聖句によれば，それは「わたしたちの神の霊」のおかげです。あなたも，道徳的清さを保つことによって，生活の中で神の霊を支配的な力としていることを示せます。塔10 4/15 2:11

2月10日，金曜日

祝福は義なる者の頭のためにあ(る)。―箴 10:6。

イスラエル国民が約束の地に入る直前に，エホバは，ご自分の声に従うなら目覚ましい繁栄と保護が得られることを告げました。(申 28:1，2) エホバの祝福は神の民に，臨むだけではなく「及ぶ」ことになります。従順な人に祝福が届かないことはないのです。イスラエル人はどんな態度で従順を示すべきでしたか。神の律法にあるとおり，「楽しみと心の喜びとをもって」仕えないなら神は喜ばれません。(申 28:45-47) エホバは，特定の命令に対する機械的な従順以上のものを受けるに値する方です。機械的な従順は動物や悪霊でも示せます。(マル 1:27。ヤコ 3:3) 神への本当の従順は愛の表明です。その特徴である喜びは，エホバのおきてが重荷ではないこと，また神が「ご自分を切に求める者に報いてくださる」ことに対する信仰から生じます。―ヘブ 11:6。ヨハ一 5:3。塔10 9/15 1:3，4

2月11日，土曜日

み座の真ん中におられる子羊が，彼らを牧し，命の水の泉に彼らを導かれる。―啓 7:17。

キリストと共に王また祭司となる者たちがみな証印を押され，羊とみなされた人たちが救いのためにキリストの右側に置かれると，キリストは「征服を完了するために」進んでゆきます。(啓 5:9，10；6:2) 強力なみ使いたちの軍を率いて，地上にあるサタンの政治・軍事・商業体制全体を滅ぼします。(啓 2:26，27；19:11-21) その後，サタンと悪霊たちを千年のあいだ底知れぬ深みに入れます。(啓 20:1-3) 使徒ヨハネは，大患難を生き残るほかの羊の「大群衆」について，今日の聖句の言葉を用いて預言しました。(啓 7:9) キリストは千年統治の間ずっと，自分の声を本当に聴くほかの羊を指導し続け，永遠の命へと導きます。(ヨハ 10:16，26-28) では，今も，エホバの約束された新しい世でも，王なる指導者に忠実に従ってゆきましょう。塔10 9/15 5:16，17

2月12日，日曜日

力が彼から出て，すべての者をいやしていた。―ルカ 6:19。

バプテストのヨハネが，イエスこそメシアであるとの確証を得ようとして二人の使者を遣わした時，その二人はイエスが『病気や悲痛な疾患また邪悪な霊から大勢の人を治し，多くの盲目の人にものを見る恵みを授けている』のを目撃しました。その時イエスは二人にこう告げました。「行って，あなた方が見聞きしたことをヨハネに報告しなさい。盲人は見えるようになり，足なえの人は歩き，らい病の人は清められ，耳の聞こえなかった人は聞き，死人はよみがえらされ，貧しい人々には良いたよりが告げられています」。(ルカ 7:19-22) 知らせを受けたヨハネは，大いに力づけられたに違いありません。もちろん，イエスが地上での宣教期間中にもたらした，苦しみからの救いは，一時的なものにすぎませんでした。いやされた人も復活させられた人も，いずれは死にました。とはいえ，イエスが地上にいた時に行なった数々の奇跡は，人類がメシアとしてのイエスの支配のもとで永続的な救いにあずかれることを予示するものでした。塔10 8/15 4:8, 9

2月13日，月曜日

ヨハネは彼らから離れてエルサレムに帰った。―使徒 13:13。

聖書には，だれかに失望させられたとしても，その人に対していつまでも悪感情を抱いていてはならない，ということを教えてくれる記述があります。その一つはヨハネ・マルコに関するものです。マルコは，パウロとバルナバが初めての宣教旅行に出かける時，二人を助けるために同行しました。しかし，旅の途中，何らかの理由で，二人を離れて郷里へ帰ってしまいました。パウロはそのことに失望したので，2回目の旅行を計画する際に，マルコを連れて行きたいとは思いませんでした。(使徒 13:1-5, 13; 15:37, 38) 後にパウロはテモテに，「マルコを連れて一緒に来てください。彼は奉仕のためにわたしの助けになるからです」と書きました。(テモ二 4:11) そうです，マルコはパウロから高く評価されるようになっていたのです。このことから教訓を学べます。今日でも，問題を克服し，それが過去のものとなったなら，気持ちを切り替えて，引き続き他の人の霊的進歩を助けるべきです。積極的な態度でいれば，会衆を築き上げることができます。塔10 6/15 2:16-18

2月14日，火曜日

最終的に汚点もきずもない，安らかな者として[神に]見いだされるよう力を尽くして励みなさい。―ペテ二 3:14。

エホバは，わたしたちが「汚点もきずもない」状態を保ち，サタンの世の汚れに染まらないように努力すべきであることをご存じです。わたしたちの努力すべき事柄には，悪い欲望に負けないように自分の心を守ることが含まれます。(箴 4:23。ヤコ 1:14, 15) また，人々がクリスチャンであるわたしたちの生き方に当惑して『わたしたちのことをいよいよあしざまに言う』場合に，おびえることなくしっかり立つことも含まれます。(ペテ一 4:4) わたしたちは不完全なので，正しいことをするのは容易ではありません。(ロマ 7:21-25) エホバに頼って初めてそうすることができます。エホバは，誠実に求める人に惜しみなく聖霊を与えてくださるからです。(ルカ 11:13) 聖霊を受けるなら，神の是認される様々な特質を育むことができ，人生における誘惑に対処しやすくなるだけでなく，エホバの日が近づくにつれて増大すると思われる試練にも対処しやすくなります。塔10 7/15 2:10-12

2月15日, 水曜日

愚鈍な者の唇は言い争いに加わ(る)。—箴 18:6。

職場の人や宣教で会う人に話す時に慈しみと自己抑制を示す必要があるのと同じように, 会衆や家庭でもそうする必要があります。結果を考えずに怒りをぶちまけるなら, 自分や他の人の霊的・感情的・身体的健康に深刻な害を与えかねません。(箴 18:7) 悪感情は不完全さの表われであり, 制御しなければなりません。ののしりのことば, あざけり, 侮べつ, 憎しみに満ちた憤りは, 間違っています。(コロ 3:8。ヤコ 1:20) 他の人またエホバとの貴重な関係を損ないかねません。イエスは次のように教えました。「自分の兄弟に対して憤りを抱き続ける者はみな法廷で言い開きをすることになり, だれでも言うまじき侮べつの言葉で自分の兄弟に呼びかける者は最高法廷で言い開きをすることになります。また, だれでも,『卑しむべき愚か者よ!』と言う者は, 火の燃えるゲヘナに処せられることになるでしょう」。—マタ 5:22。塔10 6/15 4:7

2月16日, 木曜日

盗む者はもう盗んではなりません。むしろ, 骨折って働き, 自分の手で良い業を行ない……なさい。—エフェ 4:28。

献身したクリスチャンが盗みを働くなら, 神のみ名に非難をもたらして「神の名を損なう」ことになります。(箴 30:7-9) 貧しさも盗みを正当化する理由とはなりません。神と隣人を愛する人は, 盗みが決して正当化されないことを理解しています。(マル 12:28-31) 今日の聖句でパウロは, すべきでないことを述べるだけでなく, なすべきことを指摘しています。聖霊によって生き, 聖霊によって歩んでいるのであれば, 家族を世話できるよう, また「窮乏している人に分け与えることができるよう」骨折って働きます。(テモ一 5:8) イエスと使徒たちは, 貧しい人々を助けるためにお金を取り分けていましたが, 裏切り者のユダ・イスカリオテはその一部をくすねていました。(ヨハ 12:4-6) 明らかに, ユダは聖霊に導かれていませんでした。神の霊に導かれるわたしたちは,「すべてのことにおいて正直に行動し」ます。(ヘブ 13:18) そのようにして, エホバの聖霊を悲しませることを避けるのです。塔10 5/15 4:10, 11

2月17日, 金曜日

女を見つづけてこれに情欲を抱く者はみな, すでに心の中でその女と姦淫を犯したのです。—マタ 5:28。

今日の世では, 特にインターネットで, ポルノを『見つづける』のはごく普通のことになっています。わたしたちがそうしたサイトに行かなくても, サイトのほうが飛び込んで来ます。どのようにでしょうか。魅惑的な写真の入った広告がコンピューターの画面に突然現われるかもしれません。問題なさそうなEメールを開いたら, ポルノ写真が現われて簡単には消えない, という場合もあります。消す前にちらっと目にしただけでも, その画像が思いに残ります。ポルノを少し見るだけでも, 嘆かわしい結末になりかねません。良心のかしゃくを感じたり, 不道徳な場面を脳裏からなかなか消し去ることができなかったりするかもしれません。なお悪いことに, 故意に『見つづける』人は, 不義の欲望を死んだものとしなければならなくなります。—エフェ 5:3, 4, 12。コロ 3:5, 6。塔10 4/15 3:8, 9

2月18日, 土曜日

わたしは彼らを, 囲いの中の羊の群れのように……一つにならせる。—ミカ 2:12。

ミカは, 真の崇拝が, 偽りの神々や神としての国家に対するあらゆる崇拝より上に高められることを予告しました。(ミカ 4:1, 5) さらに, 敵対していた人たちが真の崇拝によって一致する様子も描写しています。(ミカ 4:2, 3) 人間の作った神や国家への崇拝をやめてエホバへの崇拝を受け入れた人々は, 世界的な一致を享受しています。神が愛の道を教え諭してくださるのです。今日の真のクリスチャンの世界的な一致は類のないもので, エホバがご自分の民をご自分の霊によって今でも導いておられることの明白な証拠です。すべての国から来た人々が人類史上かつてない規模で一致しています。これは啓示 7章9, 14節で示唆されていた事柄の驚くべき成就であり, そのことは, 神のみ使いが間もなく「風」を解き放つことによって現在の邪悪な事物の体制が滅ぼされるということを示しています。(啓 7:1-4,9,10,14) 世界的な兄弟関係という一致を享受できるのは, 特権ではないでしょうか。塔10 9/15 2:17-19

2月19日, 日曜日

義に飢え渇いている人たちは幸いです。—マタ 5:6。

今日, 真のクリスチャンは, この世の快楽に夢中の精神に不当に影響されないよう用心する必要があります。(エフェ 2:2-5) さもないと,「肉の欲望と目の欲望, そして自分の資力を見せびらかすこと」のわなにかかってしまうかもしれません。(ヨハ一 2:16) 肉の欲望に従うことによってさわやかさが得られると勘違いしてしまうかもしれません。(ロマ 8:6) 中には, 薬物やアルコールの乱用, ポルノ, 過激なスポーツなど, 刺激や興奮を求めて様々な不義の行ないに走る人もいます。サタンの「策略」は, さわやかさに対する感覚をゆがめて惑わすことを意図しています。(エフェ 6:11) エホバの規定に自分の考えを調和させると, この世が提供するどんな楽しみもはかないものであることが分かります。(ヘブ 11:25) 真のさわやかさ, 永続する深い喜びと満足感をもたらすさわやかさは, 天の父のご意志を行なうことから来るのです。塔10 6/15 5:17, 19

2月20日, 月曜日

[エパフロデトは]沈んでいる。—フィリ 2:26。

フィリピ会衆の人たちには, エパフロデトを助けるためにどんなことができたでしょうか。パウロはこう書いています。「喜びをつくし, 主にあって彼をいつものように歓迎してください。そして, このような人をいつも重んじなさい」。(フィリ 2:29) わたしたちも, 落胆し憂いに沈んでいる仲間を励ます必要があります。エホバに対するその人の奉仕について褒めるべき点は, 何かしらあるはずです。その人はクリスチャンになるため, あるいは全時間の宣教奉仕をするために, 生活上の大きな変化を遂げたかもしれません。わたしたちはそうした努力を素晴らしいと思いますし, エホバもそう思っておられるということをその人に知らせたいものです。忠実に仕えてきて, 年老いたため, あるいは健康を害したために, かつてはできた事柄を全部はできなくなっている人も, これまで長年仕えてきたゆえに深く敬われるに値します。エホバの忠実な僕は皆,「憂いに沈んだ魂に慰めのことばをかけ, 弱い者を支え, すべての人に対して辛抱強くありなさい」と勧められています。—テサ一 5:14。塔10 6/15 2:10-12

2月21日，火曜日

聖霊があなたに臨み，至高者の力があなたを覆うのです。そのゆえにも，生まれるものは聖なる者，神の子と呼ばれます。—ルカ 1:35。

聖霊は，イエスの生涯と宣教奉仕に直接関係しました。処女マリアの胎内で作用し，その時まで一度も起きたことがなく，その後も二度と起きないような事柄を成し遂げました。神の完全なみ子で，罪の罰として死ぬ定めにはない者を，不完全な女性に身ごもらせ，産ませたのです。（ルカ 1:26-31，34）また後には，幼児のイエスを，早死にしないように保護しました。（マタ 2:7，8，12，13）イエスがおよそ30歳になった時，神はイエスを，ダビデの王座の後継ぎとなるよう聖霊で油そそぎ，また宣べ伝えるよう任命しました。（ルカ 1:32，33；4:16-21）イエスは聖霊の力によって奇跡を行ない，病人をいやしたり，群衆に食べ物を与えたり，死者をよみがえらせたりしました。そのような力ある業は，イエスが王として支配する時の，数々の祝福を予示するものでした。塔10 4/15 2:8

2月22日，水曜日

男はその父と母を離れて自分の妻に堅く付き，ふたりは一体となるのである。—創 2:24。

結婚しているクリスチャンには，神に感謝を言い表わすべき非常に多くの理由があります。幸福な夫婦として，手に手を取って歩むことができるからです。また，結婚という神からの祝福された賜物に特に感謝できるのは，結婚生活によって二人が力を合わせてエホバと共に歩む機会を持てるからです。（ルツ 1:9。ミカ 6:8）結婚の創始者であるエホバは，夫婦が幸福であるためにまさに必要な事柄をご存じです。物事をいつもエホバの方法で行なうなら，たとえ問題の多い今日の世にあっても，『エホバの喜びがわたしたちのとりでとなる』でしょう。（ネヘ 8:10）クリスチャンである夫は，自分を愛するように妻を愛するがゆえに，頭の権を優しく，思いやり深く行使することでしょう。その敬虔な妻は，夫をよく支え，深い敬意を払うゆえに，本当に愛すべき存在となることでしょう。そして最も重要なこととして，そうした模範的な結婚生活は，賛美に値する神エホバの誉れをたたえるものとなるのです。塔10 5/15 2:3，21，22

2月23日，木曜日

あなた方は決して死ぬようなことはありません。—創 3:4。

エバはサタンに，ある特定の木に触れてはならないという神の明確な命令を伝え，違反すれば死ぬと言われていることを話しました。しかし悪魔はエバを欺いて，神は良いものを差し控えている，その禁じられた実を食べれば神のようになって自分で自由に善悪を決めることができる，と思わせました。（創 3:1-5）エホバは，言ったことを必ず実行する方なので，アダムとエバに死の宣告を下されました。（創 3:16-19）しかし，これは神の目的が果たされなくなったという意味ではありません。それどころか，エホバはアダムとエバに刑を宣告した時，二人の生み出す子孫に明るい希望の光をお与えになりました。「胤」を起こすという目的を発表されたのです。その約束の胤は，サタンにかかとを砕かれますが，かかとの傷から回復して『［サタンの］頭を砕く』ことになっていました。（創 3:15）聖書はこの点を説明し，「神の子が現わされたのはこのためです。すなわち，悪魔の業を打ち壊すためです」と述べています。—ヨハ一 3:8。塔10 8/15 1:3，5

2月24日, 金曜日

諸要素は極度に熱して溶解(する)でしょう。—ペテ二 3:10。

ペテロが言及した「諸要素」とは,世の不敬虔な特質, 態度, やり方, 目標などの要因となっている根源的なもののことです。この「諸要素」には「世の霊」が含まれています。それは「不従順の子らのうちに……働いている」霊です。(コリ一 2:12。エフェ 2:1-3) その霊つまり『空気』はサタンの世に充満しており, 人々を駆り立てて, 考え方, 計画, 話し方, 行動が, 誇り高く反抗的な「空中の権威の支配者」サタンの思いを反映したものとなるようにしています。そのため, 世の霊を吸い込む人たちは, 気づいていてもいなくても, 思いと心をサタンの影響にさらしてしまうので, サタンの考えや態度を反映するようになります。その結果, 神のご意志を無視して, 自分のしたいことをします。何かがあると誇りや利己心に基づいて反応し, 権威に対して反抗的な態度を取り,「肉の欲望と目の欲望」の赴くままに行動します。—ヨハ一 2:15-17。塔10 7/15 1:5, 6

2月25日, 土曜日

恐れとおののきをもって自分の救いを達成してゆきなさい。—フィリ 2:12。

復活したイエスは, 40日にわたって弟子たちの前に現われ,彼らの信仰を強め, 前途にある大々的な福音宣明の業に備えさせました。その後, 天へ昇り, 自分の流した血の価値を神にささげて, それが贖いの犠牲の価値に信仰を働かせる真の追随者たちのために用いられるようにしました。エホバ神はイエスを任じて, 西暦33年のペンテコステの日に弟子たちの上に聖霊を注ぎ出させることにより,キリストによる贖いを受け入れたことをお示しになりました。(使徒 2:33) 贖いは, 全くの過分のご親切によるものです。今日, 幾百万もの人々が, 贖いに信仰を働かせることにより, 神の友となっており, 楽園となる地上で永遠に生きるという希望を抱いています。しかし, エホバの友になったとしても, エホバとのそのような関係のうちにとどまることが保証されるわけではありません。将来, 神の憤りが臨む日にそれを免れるためには,「キリスト・イエスの払った贖い」の価値に深い認識を示し続けなければなりません。—ロマ 3:24。塔10 8/15 2:15, 17

2月26日, 日曜日

わたしにとってこの者は,わたしの名を諸国民に……携えて行くための選びの器……です。—使徒 9:15。

イエスは最初から, 宣べ伝えて教える世界的な活動を自ら指導しました。地に住む人々に王国の良いたよりが伝えられる順番を定めました。宣教期間中, 使徒たちに次のように指示します。「いつもイスラエルの家の失われた羊のところに行きなさい。行って,『天の王国は近づいた』と宣べ伝えなさい」。(マタ 10:5-7) 使徒たちは, ユダヤ人と改宗者の間で熱心に宣べ伝えました。西暦33年のペンテコステ以後は特にそうでした。(使徒 2:4, 5, 10, 11; 5:42; 6:7) その後イエスは, 聖霊によって, 王国を宣べ伝える業がサマリア人に, そしてユダヤ人ではない他の人々に及ぶようにします。(使徒 8:5, 6, 14-17; 10:19-22, 44, 45) 良いたよりを諸国民の間で広めるために自ら行動し, タルソスのサウロをクリスチャンになるよう動かします。「この者」は使徒パウロになりました。—テモ一 2:7。塔10 9/15 4:9, 10

2月27日，月曜日

今……啓示されている。—エフェ 3:5。

1世紀のクリスチャンにとって明確にされる必要のある事柄は，たくさんありました。例えば，西暦33年のペンテコステの日に発効していた新しい契約について，幾つかの疑問が生じました。新しい契約は，ユダヤ人とユダヤ教への改宗者だけに適用されますか。異邦人もその契約に入ることを認められ，聖霊で油そそがれるのでしょうか。（使徒 10:45）異邦人の男子はまず，割礼を受け，モーセの律法に服す必要があるのでしょうか。（使徒 15:1，5）それぞれの問題は，責任ある兄弟たちを通して統治体に提起されました。ペテロとパウロとバルナバは，その会合に出席し，エホバが無割礼の異邦人をどのように扱われたかを話しました。（使徒 15:7-12）統治体はこの証拠を，ヘブライ語聖書と照らし合わせ，聖霊の助けを得て考慮した後，決定を下します。それから，その決定を諸会衆に書面で知らせました。—使徒 15:25-30；16:4，5。塔10 7/15 4:5，6

2月28日，火曜日

キリストの頭は神です。—コリ一 11:3。

イエスは，エホバの頭の権に服して地に来ることを，どう思ったでしょうか。聖書にはこう述べられています。「キリスト・イエス……は神の形で存在していましたが，強いて取ること，つまり，自分が神と同等であるようにということなどは考えませんでした。いえ，むしろ，自分を無にして奴隷の形を取り，人のような様になりました。それだけでなく，人の姿でいた時，彼は自分を低くして，……死に至るまで従順になりました」。（フィリ 2:5-8）イエスはいつでも，み父のご意志に謙遜に服しました。「わたしは，自分の意志ではなく，わたしを遣わした方のご意志を求める」と述べています。（ヨハ 5:30）「わたしは常に，[父]の喜ばれることを行なう」とも述べています。（ヨハ 8:29）地上での生涯を終えようとしていた時には，み父への祈りの中で，「わたしは，わたしにさせるために与えてくださった業をなし終えて，地上であなたの栄光を表わしました」と言いました。（ヨハ 17:4）イエスが，自分に対する神の頭の権を認めて受け入れる点で，何の問題も抱えなかったことは明らかです。塔10 5/15 1:3-5

2月29日，水曜日

あなた方は必ず，義なる者と邪悪な者，神に仕える者と仕えなかった者との相違を再び見るであろう。—マラ 3:18。

将来の展望という点で，クリスチャン会衆の成員である人は，そうでない人と比べて，なんと対照的なのでしょう。エホバの民であるわたしたちも隣人と同じような問題に直面しますが，わたしたちの反応は全く異なります。（イザ 65:13，14）なぜなら，人類の現状についての納得のゆく説明を聖書から学び，生きてゆくうえでの様々な問題に対処する用意ができているからです。そのため，将来について過度に心配するようなことはありません。さらにわたしたちは，エホバを崇拝しているゆえに，不健全で非聖書的な考え方や不道徳な行ないをしないよう，またその結果としての災いを被らないように守られています。ですから，クリスチャン会衆の成員は，世の人々の知らない平安を享受しているのです。—イザ 48:17，18。フィリ 4:6，7。塔10 6/15 1:6

3月1日，木曜日

わたしたちの主についての証しを恥じては……なりません。―テモ二 1:8。

仲間の圧力に対処するには，まず，自分の信条と規準が正しいことを確信していなければなりません。(コリ二 13:5) 内気な性格だとしても，確信があれば大胆さを示せます。(テモ二 1:7) 逆に，もともと大胆な人でも，何となく信じている事柄を貫くのは極めて難しいでしょう。ですから，聖書から教えられた事柄が本当に真理であることを自らわきまえ知るようにしてください。基本的なところから始めます。例えば，あなたは神を信じており，他の人が神の存在を信じている理由を述べるのを聞いたことがあるでしょう。では，こう自問してください。『*自分が*神の存在を確信しているのはなぜだろうか』。自問するのは，疑念を起こすためではなく信仰を強めるためです。同じように，こう自問できます。『今が「終わりの日」であると確信しているのはなぜだろうか』。(テモ二 3:1-5)『エホバの規準が自分の益のためであると信じているのはなぜだろうか』。―イザ 48:17, 18。塔10 11/15 2:6

3月2日，金曜日

あなた方の考えはわたしの考えではなく，わたしの道はあなた方の道ではない。―イザ 55:8。

他の人の考え方を理解し難く思ったことはありませんか。結婚したばかりの人は，配偶者がどう思っているのかをよく理解できない，と感じるかもしれません。実のところ男性と女性とでは，考え方だけでなく話し方も異なります。幾つかの文化圏では，同じ言語でも男性と女性とで言葉遣いが全く異なるのです。さらに，文化や言語の違いによって考え方や振る舞いが異なる場合もあります。しかし，他の人たちを知るようになればなるほど，その人たちの考え方を理解してゆくための機会も増えます。そうであれば，わたしたち人間の考えがエホバのお考えとは全く異なっているとしても，驚くには当たりません。エホバはイスラエル人に，この事実をさらに例えで説明し，「天が地より高いように，わたしの道はあなたの道より高く，わたしの考えはあなたの考えより高い」と言われました。―イザ 55:8, 9。塔10 10/15 1:1, 2

3月3日，土曜日

わたしがキリストに見倣う者であるように，わたしに見倣う者となりなさい。―コリ一 11:1。

イエスは追随者すべてにとって，熱心と専心の点で完全な模範となりました。今日の聖句に示されているとおり，使徒パウロはそのことを指摘し，自分の歩みに従うよう仲間の信者に促しました。パウロはどんな点でキリストに見倣いましたか。おもに，良いたよりを宣べ伝えることに関して努力を惜しまないという点です。諸会衆へのパウロの手紙の中には，次のような表現が見られます。「自分の務めを怠ってはなりません」，「エホバに奴隷として仕えなさい」，「主の業においてなすべき事を常にいっぱいに持ちなさい」，「何をしていても，……エホバに対するように魂をこめてそれに携わりなさい」。(ロマ 12:11。コリ一 15:58。コロ 3:23) パウロは，ダマスカスへの道で主イエス・キリストに出会ったことを決して忘れませんでした。また，弟子アナニアから聞いたに違いない次のイエスの言葉も忘れませんでした。「わたしにとってこの者は，わたしの名を諸国民に，また王たちやイスラエルの子らに携えて行くための選びの器……です」。―使徒 9:15。ロマ 1:1, 5。ガラ 1:16。塔10 12/15 2:4

3月4日, 日曜日

[神は]ご自分を切に求める者に報いてくださる。—ヘブ 11:6。

注目すべき点として, エホバは「ご自分を**切に求める**」者に報いてくださいます。ここで使われている原語は, 強さや集中的な努力を示しています。この聖句は大きな保証となるはずです。真剣な努力を払うなら, 祝福を受けるのです。その源は, 「偽ることのできない」唯一まことの神です。(テト 1:2) その方は, ご自分の約束が全く信頼できることを何千年にもわたって示してこられました。神の言葉は, 果たされないことは決してなく, 必ず実現します。(イザ 55:11) ですから, わたしたちは, 真の信仰を表わすなら神が報いてくださる, と全く確信できます。とはいえ, イエスがご自分の持ち物を世話するよう任命した人々を無視するなら, エホバとの良い関係は得られません。「忠実で思慮深い奴隷」の助けがなければ, 神の言葉の意味は十分に理解できず, その当てはめ方も分かりません。(マタ 24:45-47) 聖書から学んでいる事柄を実践することにより, 神の祝福に確実にあずかれます。塔10 9/15 1:6, 7

3月5日, 月曜日

イエスは, 自分は義にかなっているのだと自負し, ほかの人たちを取るに足りない者と考えるある人々にも次の例えを話された。—ルカ 18:9。

イエスは, 人が自分を義とする, という問題を取り上げ, 次の例えを話しました。「二人の人が祈りをするため神殿に上りました。一人はパリサイ人, 他の一人は収税人でした。パリサイ人は立って, これらのことを自分の中で祈りはじめました。『神よ, わたしは, 自分がほかの人々, ゆすり取る者, 不義な者, 姦淫をする者などのようでなく, またこの収税人のようですらないことを感謝します。わたしは週に二回断食をし, 自分が得るすべての物の十分の一を納めています』。一方, 収税人は離れたところに立って, 目を天のほうに上げようともせず, 胸をたたきながら, 『神よ, 罪人のわたしに慈悲をお示しください』と言いました」。イエスは, 結論としてこう述べています。「あなた方に言いますが, この人は, 先の人より義にかなった者であることを示して家に帰って行きました。自分を高める者はみな辱められますが, 自分を低くする者は高められるのです」。—ルカ 18:9-14。塔10 10/15 2:7

3月6日, 火曜日

生まれるものは聖なる者, 神の子と呼ばれます。—ルカ 1:35。

マリアは, イエスが幼いころから, その誕生のいきさつについて話して聞かせたものと思われます。ある時, 少年イエスが, 神殿にいるところをマリアと養父ヨセフに見つけられ, 「私が自分の父の家にいるはずのことをご存じではなかったのですか」と言ったのも, そのためでしょう。(ルカ 2:49) イエスは若いころから, 自分が神の子であることを知っていたようです。ですから, イエスにとって, 神の義を大いなるものとすることは非常に重要だったのです。イエスは, 崇拝のための集まりに定期的に出席することにより, 霊的な事柄に対する鋭い関心を示しました。完全な知力を有していたので, 聞いたり読んだりした内容をすべて吸収したに違いありません。(ルカ 4:16) イエスはほかにも貴重なものを持っていました。人類のために犠牲にできる, 完全な人間の体です。バプテスマを受けた時には, 祈りながら, 詩編 40編6-8節の預言的な言葉について考えていたかもしれません。—ルカ 3:21。ヘブ 10:5-10。塔10 8/15 1:6, 7

3月7日，水曜日

これらは邪悪な者であり，いつまでも安楽に暮らしている。—詩 73:12。

人類の歴史の初期のころから，エホバに仕え従う道を選んだ人たちは，そうしない人々との親しい交わりを避けるようにしていました。実際，エホバは，ご自分を崇拝する者たちとサタンに従う者たちとの間に敵意が存在するであろう，と述べておられました。（創 3:15）神の民は，神の霊感のもとに記された諸原則をしっかりと支持するゆえに，周りの人々とは異なる行動をしてきました。（ヨハ 17:15，16。ヨハ一 2:15-17）そのような立場を取るのは必ずしも容易なことではありません。そのため，エホバの僕たちの中には，自己犠牲の生き方が賢明かどうか，疑問に思った人たちもいます。エホバの僕で，アサフの子孫の一人と思われる，詩編73編の筆者は，ある時，自分の決定は賢明だったのだろうか，と考えるようになりました。神に仕えようと努力する人たちの中には試練や苦難に遭う人がいるのに，邪悪な人々が往々にして成功と幸福と繁栄を得ているように見えるのはなぜだろう，と思ったのです。—詩 73:1-13。塔10 6/15 1:8，9

3月8日，木曜日

悪魔は彼をとりわけ高い山に連れて行き，世のすべての王国とその栄光とを見せ(た)。—マタ 4:8。

イエスは，この誘いに注意を向けたりしませんでした。心に間違った欲望が生じるのを許さず，また，その勧めを拒絶するのに思案したりはしませんでした。イエスは即座に対処し，「サタンよ，離れ去れ!」と命じます。（マタ 4:10）イエスはエホバとの関係に注意を集中し，神のご意志を行なうという自分の人生の目的と調和した返答をしました。（ヘブ 10:7）結果として，サタンのこうかつな企みを阻止することができました。イエスの例から多くのことが学べます。第一に，サタンから策略を仕掛けられないと言える人はいません。（マタ 24:24）第二に，わたしたちは目を向けるものによって，良くも悪くも心の欲望が強化されます。第三に，サタンはわたしたちを迷い出させるために，「目の欲望」をできる限り利用します。（ヨハ一 2:16。ペテ一 5:8）第四に，わたしたちもサタンに立ち向かうことができます。とりわけ，すぐに行動するならそうできます。—ヤコ 4:7。ペテ一 2:21。塔10 4/15 3:14-16

3月9日，金曜日

[神]に，栄光が，会衆により，……ありますように。—エフェ 3:21。

古代エフェソスのクリスチャン会衆の一致は，まことの神エホバの栄光となりました。その地のクリスチャンの兄弟の中には，裕福な奴隷所有者もいれば，非常に貧しい奴隷もいたようです。（エフェ 6:5，9）また，使徒パウロが会堂で話した3か月の間に真理を知ったユダヤ人もいれば，以前はアルテミスの崇拝者で魔術を行なっていた人もいました。（使徒 19:8，19，26）真のキリスト教は，様々な背景の人々を結び合わせていたのです。しかし，エフェソス会衆の一致は脅かされていました。パウロは長老たちに，「あなた方自身の中からも，弟子たちを引き離して自分につかせようとして曲がった事柄を言う者たちが起こるでしょう」と警告しています。（使徒 20:30）さらに，分裂をもたらす霊を完全には捨て去っていない兄弟たちもおり，パウロは，「不従順の子らのうちにいま働いている」その霊について警告しています。—エフェ 2:2；4:22。塔10 9/15 3:1，2

3月10日, 土曜日

彼は海から海に至るまで, ……地の果てに至るまで臣民を持つことになります。―詩 72:8。

楽園となる地上で永久に生きるという希望に胸が躍るのではないでしょうか。杭に付けられていた悪行者も, イエスから,「あなたはわたしと共にパラダイスにいるでしょう」と言われた時, 深く感動したに違いありません。(ルカ 23:43) その人は,イエスの千年統治の間によみがえらされます。そして, キリストの支配に服するなら, 地上で完全な健康と幸福のうちに永久に生きることができるのです。イエス・キリストの支配のもとでは,『義なる者が芽生える』つまり繁栄します。(詩 72:7) その時が来れば, キリストは, 地上にいた時と同じように, 愛と優しい世話を豊かに差し伸べます。神の約束しておられる新しい世では, 復活してくる「不義者」でさえ, エホバの規準に従って生きる機会を与えられ, 愛を示されます。(使徒 24:15) もちろん, 神のご要求に調和した行動をしようとしない人は, 生き続けることを許されません。そのような人が新しい世の静穏さを乱すことはないのです。塔10 8/15 4:11-13

3月11日, 日曜日

あなた方の労苦(は)主にあって無駄で(はありません)。―コリ一 15:58。

イエスの訓練にこたえ応じた忠実な弟子たちは, 西暦33年のペンテコステの日に,「地の最も遠い所にまで」証しするための力を聖霊によって与えられました。(使徒 1:8) そして, 統治体の成員, 宣教者, 旅行する長老として仕え,「天下の全創造物の中で」良いたよりを宣べ伝えるうえで重要な役割を果たしました。(コロ 1:23) 豊かに祝福され, 他の人に大きな喜びをもたらしたのです。ですから, 現在進行中の大規模な霊的収穫に引き続き意義深い仕方で十分に携わりましょう。多くの人はこの世の物質主義的で快楽主義的な生活に伴う苦痛や失意を味わっていますが, わたしたちは真の喜びと満足を経験しています。(詩 126:6) 収穫の主人であるエホバ神は,『わたしたちの働きと, み名に示した愛』に永遠に報いてくださるのです。―ヘブ 6:10-12。塔10 7/15 3:19, 20

3月12日, 月曜日

神の憤りは不従順の子らに臨もうとしている。―エフェ 5:6。

淫行や卑わいな冗談,また「あらゆる汚れ」― 習慣的にポルノを見ることなど ― を習わしにして悔い改めない人すべてには,『神の憤りが臨もうとしています』。(エフェ 5:3-5) 贖いの価値を認識している人は, 常に「敬虔な専心」を実践します。(ペテ二 3:11) ですから, 定期的かつ真剣な祈り, 個人の聖書研究, 集会への出席, 家族の崇拝, 王国を熱心に宣べ伝える活動などのために十分な時間を取りましょう。また,『善を行なうこと, そして, 他の人と分かち合うことを忘れない』ようにしたいものです。(ヘブ 13:15, 16) エホバの憤りがこの邪悪な事物の体制に突如臨む時, わたしたちは, 贖いに信仰を働かせてきたことを大いに喜べるに違いありません。そして, 神の約束の新しい世では, 神の憤りから救ってくれたこの備えに, とこしえにわたって感謝することでしょう。―ヨハ 3:16。啓 7:9, 10, 13, 14。塔10 8/15 2:18-20

3月13日, 火曜日

洞察力のある者は……照り輝く。……真の知識が満ちあふれる。—ダニ 12:3, 4。

洞察力のある者とはだれでしょうか。だれが照り輝くのでしょうか。イエスは, 小麦と雑草の例えの中で手掛かりを与えています。「事物の体制の終結」について,「その時, 義人たちはその父の王国で太陽のように明るく輝くのです」と述べています。(マタ 13:39, 43) イエスの説明によれば,「義人たち」とは,「王国の子たち」つまり油そそがれたクリスチャンです。(マタ 13:38) すべての油そそがれたクリスチャンが「照り輝く」のでしょうか。ある意味で, そうです。すべてのクリスチャンが, 宣べ伝えて人々を弟子とすることや, 集会で互いを築き上げることに携わるからです。油そそがれた者たちは手本を示します。(ゼカ 8:23) とはいえ, こうしたことに加えて, 終わりの時に奥深い事柄が明らかにされることになっていました。ダニエルの記した預言自体がその時まで「封印しておかれ」ました。—ダニ 12:9。塔10 7/15 4:8, 9

3月14日, 水曜日

わたしの愛する者たち, 自分で復しゅうをしてはなりません。……むしろ, 善をもって悪を征服してゆきなさい。—ロマ 12:19, 21。

支部事務所の献堂式に出席するために34人のエホバの証人が旅をしている途中, 機械の故障で飛行機が飛ばず, 1時間の燃料補給のはずが44時間も足止めを食うことになりました。しかも辺ぴな飛行場で, 食料や水が十分になく, 衛生施設も整っていませんでした。多くの乗客は怒って空港職員を脅しつけましたが, 兄弟姉妹は平静さを保ちました。ようやく証人たちが目的地に着いた時には, 献堂式のプログラムは最後の部分になっていました。疲れていましたが, プログラム後もとどまって地元の兄弟たちとの交わりを楽しみました。後日, 自分たちの辛抱と自制の手本が他の人の目に留まっていたことを知ります。乗客の一人が航空会社に,「あの34人のクリスチャンが乗っていなかったら, 空港で騒動が起きていたでしょう」と言ったのです。塔10 6/15 3:1, 2

3月15日, 木曜日

あなた方の間で指導の任に当たっている人たちに従い, また柔順でありなさい。彼らは言い開きをする者として, あなた方の魂を見守っているのです。—ヘブ 13:17。

エホバは聖霊を用いて, ご自分の組織を望む方向へ導いておられます。エゼキエルの幻の中では, エホバの組織の天的な部分が, エホバの目的を完遂するために何ものも抗し難い力で動いている, 天界の兵車として描かれています。その兵車を, 特定の方向へ動くよう駆り立てているものは何でしょうか。それは, 聖霊です。(エゼ 1:20, 21) エホバの組織は二つの部分から成っていることを忘れないようにしましょう。一部は天にあり, 一部は地上にあります。天の部分が聖霊に導かれているのであれば, 地上の部分についても同じことが言えるはずです。あなたも, 神の組織の地上の部分から与えられる指導に従順かつ忠節であるなら, エホバの天界の兵車と歩調を合わせており, 聖霊と調和した行動を取っている, と言えます。塔10 4/15 2:12

3月16日, 金曜日

自分では正しいことをしたいと願うのに, 悪が自分にある。―ロマ 7:21。

パウロはエホバを愛していましたが,正しいことをするために苦闘する時があったのです。こうした内面の葛藤についてどう感じていたでしょうか。「わたしは実に惨めな人間です!」と書いています。(ロマ 7:22-24) パウロの気持ちが分かりますか。正しいことをするのが難しいと感じる時があるでしょうか。そのような時, パウロと同じようにもどかしく感じますか。そうだとしても, 気落ちしないでください。パウロは, こうした困難に上手に対処できました。あなたも対処できます。パウロが対処できたのは,「健全な言葉」を導きとしたからです。(テモ二 1:13, 14) その結果, 必要な知恵と理解を得て, 困難に対処し, 良い決定を下せました。エホバ神は, あなたが知恵と理解を得られるよう助けてくださいます。(箴 4:5) み言葉 聖書の中で, 最善のアドバイスを与えておられます。―テモ二 3:16, 17。塔10 11/15 1:1, 2

3月17日, 土曜日

あなた方は, 聖なる行状と敬虔な専心[を保つ]者となるべきではありませんか。―ペテ二 3:11, 12。

敬虔な専心の行ないのうち最も重要なのが, 良いたよりをふれ告げることです。(マタ 24:14) もちろん, ある区域での宣べ伝える業は容易ではない場合もあるでしょう。その原因は, 人々の無関心や反対, あるいは人々がただ日常の関心事に気を取られていることにあるかもしれません。昔のエホバの僕たちも, そのような態度に対処しなければなりませんでした。それでも, さじを投げることなく, 神から与えられた音信を携えて人々のもとに「何度も」出向きました。(代二 36:15, 16。エレ 7:24-26) そのように忍耐するうえで助けになったのは, 与えられた任務を世の観点からではなくエホバの観点から見たことです。また,神の名を掲げる務めを最大の誉れと考えたことも, 助けになりました。(エレ 15:16) わたしたちも, エホバの名と目的を告げ知らせる特権にあずかっています。考えてみてください。わたしたちが宣べ伝える業を行なっていれば, 神に敵対する人々は, エホバの大いなる日が来た時, 知らされていなかったと言うことはできません。塔10 7/15 2:17, 18

3月18日, 日曜日

あなた方はヤハを賛美せよ。わたしたちの神に調べを奏でるのは良いことだからである。―詩 147:1。

わたしたちは王国の音信を伝える時, 霊的なさわやかさを他の人に差し伸べると同時に, 聖書の貴重な真理を自分の思いと心に響かせています。あなたはエホバへの賛美を隣人に語る時の喜びを増し加えることができますか。良いたよりに対する人々の反応は区域によって異なります。(使徒 18:1, 5-8) 自分の住んでいる地域で王国の音信に対する反応が限られているなら, 宣教奉仕で成し遂げている良い事柄に注意を向けるようにしましょう。エホバのみ名をふれ告げる不断の努力が無駄でないことを忘れないでください。(コリ一 15:58) さらに, 良いたよりに対する人々の反応は成功の尺度ではありません。エホバは心の正しい人が王国の音信にこたえ応じる機会を得られるようにしてくださる,ということをわたしたちは確信できます。―ヨハ 6:44。塔10 6/15 5:9, 10

3月19日, 月曜日

これらの事に関してわたしを強く支えてくれる者は, あなた方の君ミカエルのほかにいない。―ダニ 10:21。

ユダによれば, ミカエルはダニエルの時代よりもずっと前の出来事にかかわっていました。サタンはモーセの死後, その遺体を用いて何らかの仕方で自分の目的を推し進めようとしたようです。イスラエルに偶像礼拝をさせようとしたのかもしれません。ミカエルはそれを止めに入ります。ユダはこう記しています。「み使いの頭ミカエルは, 悪魔と意見を異にし, モーセの体について論じ合った時, 彼に対しあえてあしざまな言い方で裁きをもたらそうとはせず, ただ,『エホバがあなたを叱責されるように』と言いました」。(ユダ 9) しばらく後, エリコの包囲の前に, ヨシュアに現われて神の後ろ盾を保証した「エホバの軍の君」は, ミカエルだったに違いありません。(ヨシュ 5:13-15) み使いが, 預言者ダニエルに重要な音信を伝えるのを悪霊である君によって妨げられた時, み使いの頭ミカエルがそのみ使いの援助に来ました。―ダニ 10:5-7, 12-14。塔10 9/15 4:3

3月20日, 火曜日

心はほかの何物にも勝って不実であ(る)。―エレ 17:9。

後になって排斥されることを恐れてバプテスマをためらう人もいます。そうした恐れを感じますか。そうだとしても, その恐れ自体は必ずしも不健全なものではありません。それは, エホバの証人になることに伴う重大な責任を認識していることを意味する場合もあります。ほかにも, ためらう理由があるでしょうか。神の規準に沿って生きるのが最善の生き方であるという確信がまだないのかもしれません。その場合, 聖書の規準を無視する人たちに臨む結果を考えることは, 決意を固める助けになります。また, 神の規準を愛しているものの自分がそれに沿って生きられるかどうか自信がないという場合もあるでしょう。それは良い兆候と言えます。謙遜さの表われだからです。絶えず「み言葉にしたがって注意深くある」なら成功できます。(詩 119:9) バプテスマをためらう理由が何であれ, その問題と懸念を克服する必要があります。塔10 11/15 3:14

3月21日, 水曜日

自分にして欲しいと思うことはみな, 同じように人にもしなければなりません。―マタ 7:12。

自分が信仰の仲間から高く評価されるなら, 励まされます。(箴 25:11) だれかから誠実な言葉や態度で感謝や敬意を示されるなら, 気持ちが高揚します。そうしたことも, わたしたちが喜びと決意を抱いて命の道を歩み続けるための力となるのです。あなた自身も, そのような経験をしたことがあるに違いありません。わたしたち人間には生来, 敬意を示してもらう必要がある, ということをエホバはご存じなので, み言葉を通して適切にも,「すすんで互いに敬意を示し合いなさい」と勧めておられます。(ロマ 12:10,「今日の英語訳」) 現代にも通じるその助言を心に銘記するクリスチャンは皆, クリスチャンの兄弟関係における温かさや愛に満ちた雰囲気に貢献できます。ですから, 少し時間を取ってこう自問するのは良いことです。『最近, 自分の言葉や行動によって会衆の兄弟や姉妹に心からの敬意を示したのはいつのことだっただろうか』。―ロマ 13:8。塔10 10/15 3:11, 12

3月22日, 木曜日

助けを叫び求める貧しい者……を彼が救い出す。―詩 72:12。

古代イスラエルのダビデ王が書いたと思われる上の言葉は, なんと心温まるものでしょう。ダビデは, その言葉を書く何年か前, バテ・シバとの姦淫を犯した後に悔恨の情を抱き, 神にこう懇願しました。「あなたの豊かな憐れみにしたがって, わたしの違犯をぬぐい去ってください。……わたしの罪は絶えずわたしの前にあるからです。……ご覧ください, わたしはとがと共に, 産みの苦しみをもって産み出され, わたしの母は罪のうちにわたしを宿しました」。(詩 51:1-5) エホバは, わたしたち人間が罪を受け継いでいることを考慮に入れて, 憐れみを示してくださるのです。エホバがよく分かってくださっているように,人間は哀れな状態にあります。しかし, 神の油そそがれた王が,『立場の低い者や貧しい者をふびんに思い,貧しい者たちの魂を救う』と予告されています。(詩 72:13) では,どのようにして救うのでしょうか。詩編 72編にその答えを見いだすことができます。この詩は, ダビデの子ソロモンの王権に関する歌ですが, 神のみ子イエス・キリストの支配によって人類が苦難から救われる, ということを予示するものでもあるからです。塔10 8/15 4:1, 2

3月23日, 金曜日

気をつけなさい。もしかすると, 人間の伝統にしたがい, また世の基礎的な事柄にしたがってキリストにしたがわない哲学やむなしい欺きにより, あなた方をえじきとして連れ去る者がいるかもしれません。―コロ 2:8。

使徒パウロのこの命令に従うことは, エホバの日が近づいている今, ますます急務となっています。その日に生じる未曾有の『熱』によって, サタンの体制の「諸要素」すべてが溶解し, それらに耐火性の全くないことが明らかになるからです。(ペテ二 3:10) このことから, マラキ 4章1節の次のような言葉が思い起こされます。「炉のように燃える日が来る……。そして, すべてのせん越な者, また悪を行なうすべての者はまさに刈り株のようになる。それで, 来たらんとするその日は必ず彼らをむさぼり食うであろう」。ですから, 友達, 読み物, 娯楽や, インターネットで見るウェブサイトなどを選ぶ際, 敬虔な知恵を働かせることによって『自分の心を守る』のは,本当に重要なことです。―箴 4:23。塔10 7/15 1:7

3月24日, 土曜日

収穫は大きいですが, 働き人は少ないのです。それゆえ, 収穫に働き人を遣わしてくださるよう,収穫の主人にお願いしなさい。―マタ 9:37, 38。

エホバ神はそうした祈りに, かつてない仕方でこたえておられます。2009奉仕年度中, 世界中のエホバの証人の会衆の数は2,031増え, 10万5,298に達しました。平均して, 毎日757人がバプテスマを受けました。こうした増加により, 会衆で教える者また牧者として指導の任に当たる資格ある兄弟たちが必要になっています。(エフェ 4:11) 幾十年もの間エホバは, ご自分の羊の必要を世話する資格ある男子を起こしてこられました。わたしたちは, 今後もそうしてくださると確信しています。ミカ 5章5節の預言は, 終わりの日にエホバの民が「七人の牧者」を,「八人の君侯」を持つことを保証しています。民の間で指導の任に当たる, かなりの数の有能な男子がいるということです。塔10 5/15 3:1, 2

3月25日, 日曜日

彼らは断食をして祈り, 手をその上に置いてから二人を行かせた。―使徒 13:3。

ユダヤ人ではない諸国民の間での王国伝道の業を拡大する時が来ると, 聖霊はパウロを導いて, 小アジアで, さらにヨーロッパへ宣教旅行を行なわせます。「使徒たちの活動」の中で, ルカはこう記しています。「聖霊がこう言った。『すべての人のうちバルナバとサウロをわたしのため, わたしが彼らを召して行なわせる業のために取り分けなさい』」。(使徒 13:2) イエス自ら, タルソスのサウロを, イエスの名を諸国民に携えて行く「選びの器」と呼んでいました。ですから, このように証言の業に新たに弾みをつけたのは, 会衆の指導者であるキリストでした。(使徒 9:15) イエスが聖霊を用いて業を指導していたことは, パウロの第2回宣教旅行の間に, 疑問の余地なく明らかになります。「イエスの霊」が, すなわちイエスが聖霊によって, パウロと仲間がどこへ旅するかを導いたのです。一行は幻によってヨーロッパへと導かれます。―使徒 16:6-10。塔10 9/15 4:11

3月26日, 月曜日

わたしが自分の心を清めたこと(は)確かに無駄なことなのだ。―詩 73:13。

あなたも, 詩編 73編1-12節に詩編作者が記したような考えを抱いたことがありますか。あるとしても, 自分を過度に責めたり, 自分は信仰を失いかけていると考えたりする必要はありません。実のところ, エホバに用いられて聖書を書いた人も含め, エホバの僕たちの中には, 同じような考えを抱いた人が幾人もいるからです。(ヨブ 21:7-13。詩 37:1。エレ 12:1。ハバ 1:1-4, 13) そうです, エホバに仕えたいと思う人は皆, 神に仕え神に従うのは最善のことなのか, という問題の答えを出し, その答えを受け入れ***なければならない***のです。この問題は, エデンの園でサタンが引き起こした論争と関連しており,神の主権に関して投げかけられた宇宙的な疑問の中心を成しています。(創 3:4, 5) ですから, わたしたち皆にとって, 詩編作者の提起した問題について考えるのは良いことです。誇り高ぶる邪悪な者たちがうまくやっているように見えるとしても, わたしたちはそれをうらやましく思うべきでしょうか。エホバに仕えることから『それて行って』それらの人に倣うべきでしょうか。いいえ, そんなことをすればサタンの思うつぼです。塔10 6/15 1:9, 10

3月27日, 火曜日

デオトレフェスは,彼らの中で第一の地位を占めたがって, わたしたちからは何事も敬意をもって受け入れません。―ヨハ三 9。

人間は, 地上の他の被造物とは異なり,『神に似た様に』創造されました。(ヤコ 3:9) そのため, 神と同じように愛, 知恵, 公正などの属性を有しています。ほかにも創造者から何を与えられているでしょうか。詩編作者はこう述べています。「エホバよ, ……あなたの尊厳は天の上で語り告げられます。……あなたはまた, 人を神のような者たちより少し劣る者とし, 次いで栄光と光輝[「誉れ」,「ジェームズ王欽定訳」(英語)]を冠としてこれに添えられました」。(詩 8:1, 4, 5; 104:1) 人間は一般に,神から,ある程度の尊厳,栄光,誉れを冠つまり飾りとして添えられています。ですから, わたしたちは, 他の人の尊厳を重んじるとき, 人間に尊厳を付与された方エホバを認めていることになります。このように, 一般の人々に対しても敬意を抱くべき理由があるのですから, 信仰の仲間に対してはなおのこと敬意を抱くべきではないでしょうか。―ヨハ 3:16。ガラ 6:10。塔10 10/15 3:5, 7

3月28日, 水曜日

神は忠実であられ, あなた方が耐えられる以上に誘惑されるままにはせず, むしろ, あなた方がそれを忍耐できるよう, 誘惑に伴って逃れ道を設けてくださるのです。—コリ一 10:13。

エホバは,聖霊によって支えてくださいます。また聖霊は, 誘惑に抵抗するのに必要な聖書的な考えを思い起こさせてくれます。(ヨハ 14:26) それゆえ, 欺かれて間違った歩みをすることはありません。例えば, わたしたちは, エホバの主権と人間の忠誠という関係する論争を理解しています。その知識を持ち, 神に支えられて, 死に至るまで忠実さを保った人は少なくありません。とはいえ, 死が逃れ道となったのではありません。エホバの助けがあったので, 誘惑に負けることなく最後まで忍耐できたのです。エホバは, わたしたちにも同じようにしてくださいます。実のところ, 忠実なみ使いを,「救いを受け継ごうとしている者たちに仕えるために遣わされた」公僕としてわたしたちのために用いてもくださいます。—ヘブ 1:14。塔10 11/15 4:16, 21

3月29日, 木曜日

腐ったことばをあなた方の口から出さないようにしなさい。むしろ, ……どんなことにせよ築き上げるのに良いことばを出し……なさい。—エフェ 4:29。

使徒パウロはここで, すべきでないことを言うだけでなく,行なうべきことを告げています。神の霊の感化を受けるわたしたちは,「築き上げるのに良いことばを出して, 聞く人たちに恵みとなるように」します。さらに, 自分の口から「腐ったことば」が出ることのないようにすべきです。「腐った」と訳されるギリシャ語の言葉は, 腐敗しかけた果物や魚や肉を指して使われます。わたしたちは, そうした食べ物に強い不快感を抱くのと同じように, エホバが悪とみなされる言葉を嫌悪します。わたしたちの語る言葉は, 品位があり, 親切で,「塩で味つけされたもの」であるべきです。(コロ 3:8-10; 4:6) わたしたちの言葉を聞く人々に, わたしたちが他と異なっていることが分かるようであるべきです。そのように,「築き上げるのに良い」ことばを出して他の人たちを助けてゆきましょう。そして, 次のように歌った詩編作者のようでありたいと思います。「エホバよ, わたしの口のことば……が, あなたのみ前に快いものとなりますように」。—詩 19:14。塔10 5/15 4:12, 13

3月30日, 金曜日

思いを作り直すことによって自分を変革しなさい。それは, 神の善にして受け入れられる完全なご意志を自らわきまえ知るためです。—ロマ 12:2。

若い人がエホバに仕えようという意欲を高めたいと思っていることを示す, 一つの行動は, 聖書を毎日読むことです。定期的に神の言葉を読むなら, 自分の霊的な必要を満たし, 聖書の貴重な知識を得ることができます。(マタ 5:3) イエスはその手本を残しています。例えば12歳の時に, 神殿で「教師たちの真ん中に座って, その話すことを聴いたり質問したりしている」ところを両親に発見されたことがありました。(ルカ 2:44-46) イエスは子どものころすでに, み言葉を慕う気持ちや聖書を理解する力を培っていました。どんなことが助けになったのでしょうか。その点では, 母親のマリアと養父ヨセフが, 重要な役割を果たしたに違いありません。二人は神の僕であり,イエスが幼いころから,神について教えたのです。—マタ 1:18-20。ルカ 2:41,51。塔10 4/15 1:6, 7

3月31日，土曜日

イエスは……出かけて，……教え，王国の良いたよりを宣べ伝え(た)。—マタ 9:35。

宣教期間を通じてたゆまず働くようイエスを動かしたものは，何でしたか。イエスはダニエルの預言から，エホバの時刻表の中で自分がどこにいるかを知ることができました。(ダニ 9:27) イエスの地上での宣教は，「週の半ばに」つまり3年半後に終わることになっていたのです。西暦33年春のエルサレムへの勝利の入城のすぐ後に，イエスは，「人の子が栄光を受けるべき時が来ました」と言いました。(ヨハ 12:23) 死が間近いことを知っていましたが，それに思いを集中したわけではありません。それが一生懸命に働いた主な理由ではありませんでした。むしろ，思いを集中したのは，あらゆる機会を用いてみ父のご意志を行ない，人々への愛を示すことでした。塔10 12/15 1:5, 6

記念式の聖書朗読:
(日没後の出来事: ニサン9日)
マルコ 14:3-9

4月1日，日曜日

わたしは優れた働き手として[エホバ]の傍らにあ(った)。—箴 8:30。

イエスは，地上での生涯中に示した良い特質を，どのようにして身につけたのでしょうか。人間になる以前に，非常に長いあいだ天の父を観察して，その道を学びました。(箴 8:22, 23) 天で，エホバがご自分の創造物すべてに対して頭の権を愛情深く行使されるのを見て，その方法を自分のものとしていたのです。(コリ一 11:3) もし柔順でなかったとしたら，そうはできなかったでしょう。イエスにとって，み父に服することは喜びであり，エホバにとって，そのような子の父であるのはうれしいことでした。イエスは地上にいた時，天の父の素晴らしい特質を完全に反映しました。わたしたちにとって，神により天の王国の支配者として任命されたキリストに服することは，なんという特権でしょう。塔10 5/15 1:10

記念式の聖書朗読:
(日中の出来事: ニサン9日)
マルコ 11:1-11

4月2日，月曜日

この方は，……生きている者と死んでいる者との審判者として神に定められた者である。—使徒 10:42。

イエスが腐敗しないこと，いわば義と忠実という帯を腰にしっかり巻いていることを知ると，本当に安心できます。(イザ 11:5) イエスは，貪欲や偽善といった悪に対する憎しみを表わし，他の人の苦しみに冷淡な人たちを厳しくとがめました。(マタ 23:1-8, 25-28。マル 3:5) さらに，外見に欺かれたりしないことを示しました。「人の内に何があるかを，ご自身が知っておられた」のです。(ヨハ 2:25) イエスは今でも，史上最大の伝道と教育の活動を監督することにより，義と公正に対する愛を表わしています。この業が神の完全に満足なさる程度まで成し遂げられるのをとどめることは，どんな人や人間の政府や邪悪な霊にもできません。—イザ 11:4。塔10 12/15 3:13, 14

記念式の聖書朗読:
(日中の出来事: ニサン10日)
マルコ 11:12-19

4月3日，火曜日

わたし(は)父を愛してい(ます)。
—ヨハ 14:31。

イエスは地上にいた時，み父に対する深い愛を示しました。また，人々に対する深い愛を示しました。(マタ 22:35-40) イエスは親切で，思いやりがありました。決して，辛辣であったり高圧的な態度を取ったりはしませんでした。こう言ったのです。「すべて，労苦し，荷を負っている人よ，わたしのところに来なさい。そうすれば，わたしがあなた方をさわやかにしてあげましょう」。(マタ 11:28-30) あらゆる年齢層の羊のような人々，とりわけ，虐げられ抑圧されていた人たちが，イエスの，感じのよい人柄や励みとなる音信に大いに力づけられました。イエスが女性たちにどう接したか，考えてみましょう。いつの時代にも，女性を虐げる男性は少なくありませんでした。古代イスラエルの宗教指導者たちも，そうでした。しかしイエスは女性たちに，敬意をもって接しました。そのことは，12年間も血の流出を患っていた女性をどう扱ったかを見れば，明らかです。—マル 5:25-34。塔10 5/15 1:6-8

記念式の聖書朗読:
(日中の出来事: ニサン11日)
マルコ 11:20-12:27, 41-44

4月4日，水曜日

イエスは……彼らに哀れみを感じ(た)。
—マタ 14:14。

イエスが奇跡を行なったのは自分の権威や力を誇示するためではなく，同情心と愛を表わすためでした。イエスは，治療を懇願する重い病気の人に，「わたしはそう望みます」と言いました。(マル 1:40, 41) 千年統治の間も，その同じ同情心を表わします。しかも，地球規模でそうするのです。また，キリストとその共同支配者たちは，2,000年ほど前にイエスが始めた霊的教育プログラムを将来も継続します。(イザ 11:9) この神の教育には，どのように地球を管理し地上の無数の創造物を世話するかに関する指示も含まれるに違いありません。それは，もともとアダムに命じられたことでした。1,000年の終わりには，創世記 1章28節にある神の当初の目的が実現しており，贖いの犠牲が完全に適用されています。塔10 12/15 3:11, 12

記念式の聖書朗読:
(日中の出来事: ニサン12日)
マルコ 14:1, 2, 10, 11。
マタイ 26:1-5, 14-16

記念式を行なう日
日没後
4月5日，木曜日

十一人の弟子はガリラヤに赴き，イエスが彼らのために取り決めた山に行った。
—マタ 28:16。

イエスは復活後，気落ちしていた使徒たちを特別の集会に出席するよう招きました。(マタ 28:10, 18) イエスは使徒たちを叱ったりはしませんでした。その機会を利用して，彼らの動機を疑うようなことを言ったり，彼らの信仰が一時的に弱まったことに触れて，ますます罪悪感を抱かせたりもしませんでした。むしろ，重要な任務を託すことにより，自分とみ父の愛を確信させました。(マタ 28:18-20) 彼らは大いに築き上げられ，励まされ，慰められたため，その集会後しばらくして，再び『教えたり，良いたよりを宣明したり』するようになりました。—使徒 5:42。塔10 10/15 4:14, 15

記念式の聖書朗読:
(日中の出来事: ニサン13日)
マルコ 14:12-16。マタイ 26:17-19
(日没後の出来事: ニサン14日)
マルコ 14:17-72

4月6日，金曜日

わたしたちは，わたしたちの弱いところを思いやることのできない方ではなく，すべての点でわたしたちと同じように試され（た）方を，大祭司として持っているのです。—ヘブ 4:15。

イエスは，わたしたちの不完全さを理解しているゆえに，思いやりを示してくださいます。それだけでなく，自らも義のために苦しみました。また，神はイエスが試練に自分の力で立ち向かうようにされました。そうです，イエスは感情面で非常に大きな苦しみに遭ったため，『汗が血の滴りのようになって地面に落ちる』ほどでした。（ルカ 22:44）後に，苦しみの杭に掛けられた時には，「わたしの神，わたしの神，なぜわたしをお見捨てになりましたか」と叫びました。（マタ 27:45，46）わたしたちは，イエスがわたしたちの痛みを理解し，『助けを叫び求める貧しい者，また，苦しんでいる者や助け手のない者を救い出して』くださることを確信できます。（詩 72:12）王イエス・キリストが今，天で支配しており，苦しんでいる人々を救いたいと切に願っておられるというのは，なんとうれしいことでしょう。塔10 8/15 4:14，15

記念式の聖書朗読：
（日中の出来事：ニサン14日）
マルコ 15:1-47

4月7日，土曜日

彼らが，唯一まことの神であるあなた……についての知識を取り入れること，これが永遠の命を意味しています。—ヨハ 17:3。

若い皆さん，霊的な進歩をさらに遂げてゆくために，聖書を毎日読むことを習慣にし，十代の時期だけでなく大人になっても続けるようにしましょう。（詩 71:17）実際，エホバについての知識をさらに取り入れてゆくと，エホバが実在の，人格を持つ神であることが一層はっきり分かり，エホバへの愛が深まります。（ヘブ 11:27）ですから，聖書のどこかを読むたびに，エホバについてさらに多くのことを学ぶようにしてください。こう自問しましょう。『この記述は，エホバのご性格について，どんなことを教えているだろうか。聖書のこの箇所は，わたしに対する神の愛と気遣いをどのように示しているだろうか』。時間を割いてこうした事柄を黙想するなら，エホバのお考えや気持ち，またエホバの求めておられる事柄を知ることができるでしょう。（箴 2:1-5）あなたも，若いころのテモテのように，聖書から学んだ事柄を『確信する』ことができ，進んで行なう心をもってエホバを崇拝するよう動かされることでしょう。—テモ二 3:14。塔10 4/15 1:9

記念式の聖書朗読：
（日中の出来事：ニサン15日）
マタイ 27:62-66
（日没後の出来事：ニサン16日）
マルコ 16:1

4月8日，日曜日

目を上げて畑をご覧なさい。収穫を待って白く色づいています。—ヨハ 4:35。

イエスが述べていたのは，文字どおりの収穫ではなく，霊的な収穫，すなわち追随者となる心の正しい人たちの取り入れのことでした。その言葉は，いわば活動への呼びかけでした。なすべき仕事は多く，成し遂げるための時間は限られていました。収穫に関するイエスの言葉は，今日，特別な意味を持っています。現在，人類の世界という畑が「収穫を待って白く色づいています」。毎年，命を与える真理を学ぶようにとの招きを幾百万の人が受け入れ，数十万人の新たな弟子がバプテスマを受けています。わたしたちには，収穫の主人であるエホバ神の監督のもと，史上最大の収穫に参加できるという特権があります。—コリ一 15:58。塔10 7/15 3:1，2

記念式の聖書朗読：
（日中の出来事：ニサン16日）
マルコ 16:2-8

4月9日，月曜日

あなた方は必ず言うであろう，「エホバの道は正しく調整されていない」と。—エゼ 18:25。

古代イスラエル人はこのような考え方に陥り，自分たちに対するエホバの接し方に関して，間違った結論を下しました。そこでエホバは，彼らにこうお告げになりました。「イスラエルの家よ，どうか，聞くように。わたしの道は正しく調整されていないのか。あなた方の道が正しく調整されていないのではないか」。エホバを自分の規準で裁くという落とし穴を避けるには，自分の見方は狭く，時にはひどくゆがんでいる，ということを認める必要があります。ヨブはその教訓を学ぶことになりました。苦しんでいた時に，絶望的な気持ちと闘っていて幾らか自己中心的になり，より大きな問題点を見失いました。しかしエホバは，ヨブが見方を広げられるよう，愛をこめて援助されました。ヨブに70余りの問いを投げかけ，どの問いにも答えられないことに気づかせて，ヨブの理解がごく限られたものであることを強調なさったのです。それでヨブは，へりくだって自分の見方を調整しました。—ヨブ 42:1-6。塔10 10/15 1:5, 6

4月10日，火曜日

体は一つ，霊は一つです。—エフェ 4:4。

不完全な人間が協働しようとするとき，容易に問題が生じ得ます。例えば，よく時間に遅れる温和な兄弟が，時間に正確で怒りっぽい兄弟と一緒にエホバに仕えているとしたら，どうでしょうか。どちらも，相手の行状に欠けたところがあると感じるものの，自分の行状にも足りないところがあることは忘れているかもしれません。そうした二人の兄弟はどうすれば調和よく一緒に仕えられるでしょうか。パウロの勧めた態度が二人にとってどのように助けになるかに注目してください。その後，そうした態度を身に着けることによってわたしたちがどのように一致を促進できるかを考えてください。こうあります。「[わたしは]あなた方に懇願します。……ふさわしく歩み，全くへりくだった思いと温和さとをもち，また辛抱強さをもって愛のうちに互いに忍び，結合のきずなである平和のうちに霊の一致を守るため真剣に励みなさい」。(エフェ 4:1-3) 不完全な人と一致して神に仕えられるようになることは肝要です。真の崇拝者たちから成る体は一つしかないからです。塔10 9/15 3:6, 7

4月11日，水曜日

単なる虐げが賢い者に気違いじみた行動を取らせることがあ(る)。—伝 7:7。

人々は，現在の邪悪な体制における様々な圧力ゆえに，怒りを感じます。怒りが憎しみや暴力へと発展することも少なくありません。国家間の戦争や国内の紛争が起き，多くの家庭では緊張した関係から争いが生じます。こうした怒りと暴力には長い歴史があります。アダムとエバの長男カインは，ねたみに駆られて怒り，弟アベルを殺しました。(創 4:6-8) カインは，不完全さを受け継いでいたとはいえ，この時，ほかに選択肢がなかったわけではありません。怒りを抑えることもできたのです。ですから，自分の暴行について紛れもなく責任がありました。わたしたちも，不完全さゆえに容易に怒りを感じたり怒りにまかせて行動したりしかねません。この「危機の時代」には，ストレスを増す他の強力なマイナス要因もあります。(テモ二 3:1) 例えば，経済不況による圧力を感じるかもしれません。警察や家庭支援団体は，経済危機と激怒や家庭内暴力の増加との関連を指摘しています。塔10 6/15 3:3, 4

4月12日, 木曜日

イエスもまたバプテスマをお受けになった。―ルカ 3:21。

ヨハネがユダヤ人に施していたのは,律法に対する罪の悔い改めの象徴としてのバプテスマでした。ヨハネはイエスの近親者だったので,イエスが義にかなった人であり,悔い改めの必要がないことを知っていたに違いありません。それでイエスはヨハネに,バプテスマを受けるのが適切であることを納得させました。完全な人間であったイエスは,アダムと同様,完全な人間から成る子孫を生み出そうと思えばそうすることもできましたが,決してそのような将来を望みませんでした。それは,自分に対するエホバのご意志ではなかったからです。神がイエスを地に遣わしたのは,約束の胤つまりメシアとしての役割を果たさせるためでした。それには,イエスが完全な人間としての命を犠牲にすることが含まれていました。(イザ 53:5, 6, 12) 言うまでもなく,イエスの受けたバプテスマは,わたしたちのバプテスマと同じ意味を持つものではありません。エホバに対する***献身***を意味するものではなかったのです。なぜなら,イエスはすでに,神に献身したイスラエル国民の一員だったからです。イエスのバプテスマは,メシアについて聖書中で予告されていた神のご意志を行なうために自分を***差し出したこと***の象徴でした。塔10 8/15 1:7-9

4月13日, 金曜日

自分の思い煩いをすべて神にゆだねなさい。―ペテ一 5:7。

バプテスマは生き方を変える段階であり,軽く考えるべきものではありません。この段階を真剣に考えられるほど円熟していますか。円熟しているとは,演壇から良い話ができるとか集会で立派に答えられるという以上のことを意味しています。聖書の原則の理解に基づいて決定を下せる必要があります。(ヘブ 5:14) そうすることのできる段階にあるなら,あなたの前には,考え得る最も大きな特権が控えています。心をこめてエホバに仕え,エホバに本当に自分をささげていることを示すような生き方をするという特権です。バプテスマを受けた直後,神に仕える熱意が高まるのを感じるでしょう。とはいえ,ほどなく信仰と耐久力を試みられる試練に直面することでしょう。(テモ二 3:12) そうした試練に独りで対処しなければならないと考えないでください。エホバは顧みてくださっており,どんな状況が生じるとしても,立ち向かうのに必要な強さを与えてくださいます。塔10 11/15 3:16, 17

4月14日, 土曜日

見よ,今こそ特に受け入れられる時です。見よ,今こそ救いの日なのです。―コリ二 6:2。

パウロは何について言おうとしていたのでしょうか。エデンでの反逆以来,全人類はエホバから疎外され,引き離されています。(ロマ 3:10, 23) そのため人類一般は霊的な闇に陥っており,それが苦しみや死をもたらしています。「わたしたちが知るとおり,創造物すべては今に至るまで共にうめき,共に苦痛を抱いている」とパウロは書きました。(ロマ 8:22) しかし,神は手段を講じて,ご自分のもとに戻るよう,つまりご自分と和解するよう,人々に促して,いえ『願って』おられます。(コリ二 5:20) それが当時,パウロと仲間の油そそがれたクリスチャンにゆだねられた奉仕の務めでした。その「受け入れられる時」は,イエスに信仰を抱く人にとっては「救いの日」となりました。すべての油そそがれたクリスチャンと,共に働く仲間の「ほかの羊」は,「受け入れられる時」から益を得るよう人々を引き続き招きます。―ヨハ 10:16。塔10 12/15 2:5, 7

4月15日，日曜日

これらのすべての事が起こるまで，この世代は決して過ぎ去りません。―マタ 24:34。

「この世代」がどれほどの年月に及ぶのか厳密に算定することはできませんが，「世代」という表現について幾つかの事柄を念頭に置くのは賢明なことです。この語は普通，ある特定の時代に生涯が重なる様々な年齢層の人々を指し，その世代は極端に長いものではなく，必ず終わりを迎えます。(出 1:6) では，「この世代」についてのイエスの言葉をどのように理解すべきでしょうか。それは，しるしが1914年に明らかになり始める時に生きている油そそがれた者たちの生涯と，大患難の始まりを見る油そそがれた者たちの生涯とが重なる，という意味であったようです。その世代には始まりがあり，もちろん終わりもあります。しるしの様々な面が成就していることは，大患難が近づいていることをはっきりと示しています。あなたも，時の緊急性を常に意識してずっと見張っているなら，解き明かされた点に歩調を合わせ，聖霊の導きに従っている，と言えます。―マル 13:37。塔10 4/15 2:13, 14

4月16日，月曜日

義に過ぎる者となってはならない。また，自分を過度に賢い者としてはならない。―伝 7:16。

「義に過ぎる」人は，義に関する独自の規準を定め，その規準で他の人を裁きます。ところが，そうすることによって自分の規準を神の規準の上に高め，その結果，自分自身が神の目に不義な者と映っている，ということに気づきません。「義に過ぎる」，あるいは別の聖書翻訳にあるように「過度に義を求める」もしくは「正しすぎる」なら，エホバの物事の扱い方を疑問視することにもなりかねません。エホバの下された決定の正しさを疑問視するとしたら，それは義に関する自分の規準をエホバの規準より上にしているのである，ということを覚えておく必要があります。それはあたかも，エホバを試し，独自の正邪の規準で裁いているようなものなのです。しかし，義に関する規準を定める権利のある方はエホバであり，わたしたちではありません。―ロマ 14:10。塔10 10/15 2:8, 9

4月17日，火曜日

それゆえ，自分にして欲しいと思うことはみな，同じように人にもしなければなりません。―マタ 7:12。

慈しみのある言葉は兄弟姉妹の荷を軽くします。一方，厳しい批判は荷をいっそう重く感じさせ，さらには，エホバの是認を失ったのではないかと考えさせてしまうかもしれません。ですから，励みとなる事柄を誠実に伝え，「必要に応じ，どんなことにせよ築き上げるのに良いことばを出して，聞く人たちに恵みとなるように」しましょう。(エフェ 4:29) 特に長老は，「物柔らかな者」となり，群れを優しく扱うべきです。(テサ一 2:7, 8) 助言を与える必要のある場合，長老が目指すべきなのは，「好意的でない人たち」に対しても「温和な態度で」助言することです。(テモ二 2:24, 25) また，長老は他の会衆の長老団や支部事務所と通信物をやり取りする時も，慈しみのある仕方で考えを述べるべきです。今日の聖句に沿って，親切で巧みであるべきです。塔10 6/15 4:12, 13

4月18日，水曜日

彼女は自分の口を知恵をもって開いた。その舌には愛ある親切の律法がある。—箴 31:26。

古代のレムエル王が母親から受けた重みのある音信には，良い妻に関するこの重要な条件が含まれていました。舌に愛ある親切があるのは，賢い女性だけでなく，エホバ神に喜ばれたいと思う人すべてにとって望ましいことです。（箴 19:22）愛ある親切は，真の崇拝を行なう人すべての語る言葉に，はっきりと表われているべきなのです。愛ある親切には，読んで字のごとく，愛と親切が含まれています。ですから，親切にすること，つまり他の人に個人的な関心を払い，助けとなる行為や思いやりのある言葉によって気遣いを示すことが関係しています。また，愛もその要素ですから，愛に促されて他の人の福祉に関心を払うことも関係しています。愛ある親切とは，だれかに対して，それを示す目的が達成されるまで，進んで忠節に示し続ける親切のことです。塔10 8/15 3:1, 3

4月19日，木曜日

監督の職をとらえようと努めている人がいるなら，その人はりっぱな仕事を望んでいるのです。—テモ一 3:1。

クリスチャン男子は，自動的に監督になるわけではありません。この「りっぱな仕事」をとらえようと努めなければならないのです。これには，仲間の信者に仕え，その必要を真に世話することが含まれます。（イザ 32:1, 2）奉仕の僕の資格を得るよう努力し，監督の職をとらえようとする人は，聖書の中に示されている資格にかなうように努めます。（テモ一 3:1-10, 12, 13。テト 1:5-9）あなたが献身した男子であるなら，次のように自問してください。『わたしは宣べ伝える業に十分あずかり，そうするよう他の人を援助しているだろうか。仲間の崇拝者の福祉に誠実な関心を払うことによって，築き上げているだろうか。神の言葉をよく研究しているという評判を得ているだろうか。注解の質を高めるよう努力しているだろうか。長老からゆだねられる種々の割り当てを勤勉に果たすだろうか』。（テモ二 4:5）こうした点は真剣な考慮に値します。塔10 5/15 3:4, 5

4月20日，金曜日

悪魔は誘惑をすべて終え，別の都合の良い時まで彼のもとから身を引いた。—ルカ 4:13。

思春期は，それまで以上に「理性」が発達する時期です。（ロマ 12:1, 2）この時期に，エホバの証人であることが自分にとって何を意味するかを真剣に考えてください。そのようにして，自分の信条に対する確信を築くことができます。そうすれば，仲間の圧力に直面する時に，即座に自信をもって応じられます。正しいと分かっている事柄を固く守るには努力が求められます。（ルカ 13:24）そうする価値があるのだろうか，と思うかもしれません。次の点を忘れないでください。もしあなたが自分の立場について申し訳なさそうにしたり恥ずかしく感じているように見えたりするなら，他の人はそれに気づき，さらに圧力を加えてくるでしょう。しかし，確信をもって語るなら，相手は意外なほどあっさり引き下がるでしょう。塔10 11/15 2:9, 10

4月21日, 土曜日

わたしたちは自分のものを後にして, あなたに従ってまいりました。—ルカ 18:28。

宣べ伝える業は極めて重要なので, できる限りの時間, 体力, 注意を向ける価値があります。褒めるべきことに, 多くの人がまさにそうしています。緊急感にはたいてい, 期日や期限, 終わりが関係しています。今は終わりの時であり, そのことを示す証拠は聖書的にも歴史的にもたくさんあります。(マタ 24:3, 33。テモ二 3:1-5) とはいえ, 人間はだれも終わりが来る正確な時を知りません。イエスは,「事物の体制の終結」の「しるし」を詳しく述べた際, はっきりとこう言いました。「その日と時刻についてはだれも知りません。天のみ使いたちも子も知らず, ただ父だけが知っておられます」。(マタ 24:36) ですから, 来る年も来る年も緊急感を保つのは容易ではないと感じる人もいます。長年そうしてきたのであれば, なおさらです。(箴 13:12) あなたもそう感じることがありますか。塔10 12/15 1:3, 4

4月22日, 日曜日

どのように, 何を話すか……について思い煩ってはなりません。—ルカ 12:11。

忠実なクリスチャンは皆, 神の奥深い事柄を明らかにする聖霊の役割から益を得ています。1世紀のクリスチャンと同様, 今日のわたしたちは, 聖霊が理解を助けてくれる事柄を研究し, その後, 思い起こして適用します。(ルカ 12:12) 公にされている深い霊的真理は, 学校教育を十分に受けていなくても理解できます。(使徒 4:13) 神の奥深い事柄の理解において, どうすれば進歩できるでしょうか。一つの方法は聖霊を祈り求めることです。聖書的な資料を学ぶ際, まず聖霊の導きを祈り求めるべきです。一人の時も, 短い時間の場合も, そうです。そのような謙遜な請願に, 天の父は心温まるものをお感じになるに違いありません。イエスが示したとおり, エホバはわたしたちの誠実な願いにこたえて聖霊を寛大に与えてくださいます。—ルカ 11:13。塔10 7/15 4:11, 12

4月23日, 月曜日

互いを敬う点で率先しなさい。—ロマ 12:10。

パウロは, ローマにいる信仰の仲間に, 他の人を単に敬うのではなく, 敬う点で**率先する**, つまり自分のほうから敬うよう勧めています。自ら進んで行なうと何がどう違ってくるのかを, 次の例で考えてみてください。学校に通う生徒は, すでに字を読める場合, 今度は読む能力を伸ばそうとするのではありませんか。同様に, 真のクリスチャンは, すでに互いに対する愛を持っており, それに動かされて互いを敬っています。(ヨハ 13:35) しかし, 生徒が読む能力を自ら進んで伸ばすことによってさらに進歩できるのと同じように, クリスチャンは敬う点で**率先する**ことによってさらに進歩できます。(テサ一 4:9, 10) クリスチャン各人には, そうする務めが与えられているのです。ですから,『わたしは会衆内の人たちを自分のほうから敬うという, その務めを果たしているだろうか』と自問してみるとよいでしょう。塔10 10/15 3:2, 14

4月24日, 火曜日

耳のある者は霊が諸会衆に述べることを聞きなさい。—啓 3:22。

イエスは,西暦1世紀の油そそがれた追随者から成る会衆の中で起きている事柄を注視していました。各会衆の霊的状態を詳しく知っていました。そのことは,「啓示」の書の2章と3章を読むと分かります。イエスは,小アジアに位置する七つの会衆の名前を挙げています。(啓 1:11)幾つかの会衆を褒め,他の会衆には毅然と助言を与えています。強い訓戒を与えた人たちに対しても愛ある霊的監督であり,こう述べています。「すべてわたしが愛情を抱く者を,わたしは戒め,また懲らしめる。それゆえ,熱心になり,そして悔い改めなさい」。(啓 3:19) イエスは天にいましたが,聖霊によって,地上の弟子たちから成る会衆を導いていました。それらの会衆に対する音信の終わりに,今日の聖句の言葉を語りました。塔10 9/15 4:12, 13

4月25日, 水曜日

妻を愛しつづけなさい。妻に対して苦々しく怒ってはなりません。—コロ 3:19。

わたしたちは,自分の言葉や表情や身ぶりが他の人に与える影響を過小評価しがちです。例えば,男性の中には,自分の言葉が女性にどれほどの影響を与えるかがよく分かっていない人がいるようです。ある姉妹は,「夫に怒鳴りつけられると,怖くてたまりません」と語っています。強烈な言葉は,男性よりも女性に大きな影響を及ぼしがちで,ずっと印象に残ることもあります。(ルカ 2:19) 尊敬したいと思っている愛する人から言われた場合は,特にそうです。結婚生活の長い一人の兄弟は,夫が妻を「弱い器」として優しく扱うべきなのはなぜかを次のように説明しています。「貴重で壊れやすい花瓶を持つ時は,あまり強くつかんではなりません。さもないと,ひびが入るかもしれません。直したとしても,ひびは消えないでしょう。夫が妻に対してあまりに強い言葉を使うなら,妻は傷つくかもしれません。そして,二人の関係にずっとひびが残ってしまいかねません」。—ペテ一 3:7。塔10 6/15 4:14, 15

4月26日, 木曜日

地とその中の業とはあらわにされるでしょう。—ペテ二 3:10。

エホバは大患難の際にサタンの世をむきだしにし,その世をご自分とご自分の王国に敵対しているもの,またそれゆえに滅ぼされるべきものとして示します。(イザ 26:21) 世とその邪悪な霊によって形作られている人たちが,本性を表わし,殺し合うようにさえなるでしょう。実際,今日,世でもてはやされている様々な形態の暴力的娯楽によって多くの人の思いが形作られてゆき,やがて各人がその手を『友の手に向けて上げる』時が来る,というのは大いにあり得ることです。(ゼカ 14:13) ですから,映画,書物,テレビゲームなど何であれ,誇りや暴力に対する愛といった,神が忌み嫌われる性向を自分の内に生じさせるようなものを退けることは,本当に重要です。(サム二 22:28。詩 11:5) そして,神の聖霊の実を培いましょう。そうした特質こそ,エホバの日に生じる象徴的な熱に耐える助けになるからです。—ガラ 5:22,23。塔10 7/15 1:8, 9

4月27日, 金曜日

互いに親切にし,優しい同情心を示し,神がキリストによって惜しみなく許してくださったように, あなた方も互いに惜しみなく許し合いなさい。—エフェ 4:32。

わたしたちは皆, 不完全なので, 自分の考えと行動を制御するために懸命に努力する必要があります。「悪意のある苦々しさ, 怒り, 憤り」が生じるままにしているなら,神の霊を悲しませることになります。(エフェ 4:30, 31) また, 自分に対してなされた悪を根に持ち,憤慨し,和解を拒否するなら,同じ結果になります。不当なことをされて深く傷つくことがあっても, 神に倣って許しましょう。(ルカ 11:4) 例えば, 仲間の信者があなたについて批判的なことを言ったとしましょう。あなたが問題を解決するために近づくと,相手は心から謝り, 許しを求めます。あなたは許します。とはいえ, それ以上のことをする必要があります。レビ記 19章18節はこう述べています。「あなたの民の子らに対して復しゅうをしたり, 恨みを抱いたりしてはならない。あなたの仲間を自分自身のように愛さねばならない。わたしはエホバである」。塔10 5/15 4:14, 15

4月28日, 土曜日

収穫は大きいですが, 働き人は少ないのです。—マタ 9:37。

今日中に見てもらう必要のある書類があります。どうしますか。「至急!」と書いておきます。重要な約束のために出かけていますが, 遅れています。どうしますか。運転手に,「急いでいるんです。できるだけ速くお願いします」と言います。なすべき仕事があり, 時間が迫っている時, 気分が張り詰め, 感情が高ぶります。アドレナリンが分泌され,できるだけ速く一生懸命に仕事をします。緊急なのです。今日の真のクリスチャンにとって,王国の良いたよりを宣べ伝えてすべての国の人々を弟子とする以上に緊急な事柄はありません。(マタ 24:14; 28:19, 20) 弟子マルコが記したイエスの言葉によれば, この業は「まず」, すなわち終わりが来る前に,なされなければなりません。(マル 13:10) 確かに, そのようになされるべきです。イエスは,「収穫は大きいですが, 働き人は少ないのです」と言いました。収穫は先には延ばせず, その時期が終わる前に取り入れなければなりません。—マタ 9:37。塔10 12/15 1:1, 2

4月29日, 日曜日

わたしは事物の体制の終結の時までいつの日もあなた方と共にいる。—マタ 28:20。

地上での宣教期間中, イエスは宣べ伝える業に率先し,復活後は,王国の良いたよりを広める業を綿密に監督しました。イエスは聖霊によって,やがて地の果てにまで証言の業を拡大することになっていました。昇天の前に弟子たちにこう告げています。「聖霊があなた方の上に到来するときにあなた方は力を受け, エルサレムでも, ユダヤとサマリアの全土でも, また地の最も遠い所にまで, わたしの証人となるでしょう」。(使徒 1:8。ペテ一 1:12) キリストの指導のもと, 1世紀に膨大な証言がなされました。(コロ 1:23) とはいえ, 今日の聖句に示されているように, イエスご自身, この業が終わりの時まで続くことを示唆していました。1914年に王権を授けられて以来, キリストはそれまで以上に弟子たちと「共に」いて, 指導者として活動しています。塔10 9/15 4:14-16

4月30日, 月曜日

わたしはあらゆる悪の道筋から自分の足をとどめました。―詩 119:101。

無価値なものに直面して初めて自分がどうするかを決める, というのは賢明ではありません。聖書で非とされている事柄は, はっきりしています。わたしたちはサタンの企みを知らないわけではありません。イエスが石をパンに変えるよう誘惑されたのは, どんな時でしたか。40日40夜断食して,「飢えを感じられた」時でした。(マタ 4:1-4) サタンは, わたしたちが弱くなって誘惑に屈しやすい時を見抜くことができます。ですから, こうした事柄を**今**, 注意深く考慮すべきです。先延ばしにしてはなりません。エホバへの献身の誓いを日々思いに留めているなら, 無価値なものに背を向ける決意を固く保つことができます。(箴 1:5; 19:20) 忘れてはなりません。目は思いに影響を及ぼし, 思いは心に影響を及ぼします。それゆえ, 価値ある事柄を考え続けることは本当に大切です。―フィリ 4:8。塔10 4/15 3:17, 19

5月1日, 火曜日

エホバは……ご自分の愛する者を戒められる。―箴 3:12。

若者が懲らしめから益を得るのに何が助けになるでしょうか。覚えておくべき点として, 親がおそらく認識しているとおり, 矯正を差し控えるのは憎しみを示すようなものです。(箴 13:24) 加えて, 人は失敗を通して物事を学ぶということを理解してください。それで,矯正される時,言われる事柄のうちに貴重な知恵を見いだすようにするのはどうでしょうか。「知恵……を利得として得ることは銀を利得として得ることに勝り, それを産物として得ることは金そのものにも勝るからである」と記されています。(箴 3:13, 14) もっとも, 親も確かに間違いをします。(ヤコ 3:2) 懲らしめる時に, 無思慮に話すこともあるでしょう。(箴 12:18) その原因としてどんなことが考えられますか。ストレスを感じていたのかもしれませんし,あなたの間違いを自分の側の失敗と考えたのかもしれません。不当と感じた事柄を考え続けるのではなく, 助けになろうとする親の真剣な気持ちに感謝を表わすのはどうでしょうか。懲らしめを受け入れる能力は, 大人になった時, 大いに役立ちます。塔10 11/15 1:8, 9

5月2日, 水曜日

わたしたちはみな, 神の裁きの座の前に立つことにな(りま)す。―ロマ 14:10。

わたしたちはだれも神を裁こうなどとは思いませんが, 不完全さからそのようなことをしがちです。自分が不公平とみなす事柄を見たり,自分自身が苦しい目に遭ったりすると, つい神を裁いてしまうのです。忠実な人であったヨブでさえ, その間違いを犯しました。自分には不公平と思える災いが次から次に降りかかると, ヨブは,「神よりもむしろ自分の魂を義」と宣するようになりました。(ヨブ 32:1, 2) ヨブは, 天で神の子であるみ使いたちの集会が開かれ, そこでサタンがヨブをいわれなく非難した,という事実を知りませんでした。(ヨブ 1:7-12; 2:1-6) 自分に降りかかった問題が実際にはサタンによって引き起こされた, ということに気づいていませんでした。実のところ, サタンの存在を知っていたかどうかさえ,定かではありません。そのためヨブは, その問題を引き起こしたのは神だと思い込んでしまいました。それで, わたしたちもヨブと同様の考えを抱いた時には, すべての事実を知らないなら, 間違った結論を下しやすい, ということを思い起こしましょう。塔10 10/15 2:9-11

5月3日，木曜日

わたし(は)父を愛してい(ます)。
—ヨハ 14:31。

イエスは天の父を本当に愛していたので，ご意志を行なうことを喜びとし，自分の体を犠牲として差し出すことに深い満足を覚えました。また，人類を罪と死への隷属状態から買い戻すために，自分の完全な命の価値を贖いとして神にささげる，ということをも喜びとしました。神は，イエスがそうした大きな責任を担うために自分を差し出したことを是認されたでしょうか。確かに是認されました。4人の福音書筆者全員の証言どおり，イエスがヨルダン川の水から上がった時に，エホバ神ははっきりと是認を表明されました。その時のことを，バプテスマを施す人ヨハネはこう述べています。「わたしは，霊が天からはとのように下って来るのを見ましたが，それは[イエス]の上にとどまりました。……そしてわたしはそれを見たので，この方こそ神の子であると証ししたのです」。(ヨハ 1:32-34) エホバはイエスに霊を注いだだけでなく，「これはわたしの子，わたしの愛する者である。この者をわたしは是認した」と宣言することもされました。—マタ 3:17。マル 1:11。ルカ 3:22。塔10 8/15 1:10, 11

5月4日，金曜日

確かに，あなたは彼らを滑りやすい地に置かれます。あなたは彼らを滅びに陥れました。—詩 73:18。

この詩編作者が疑念を一掃するのに，何が助けになったでしょうか。(詩 73:1-13) この人は，自ら認めているように，義からそれて行きそうになりました。しかし，「神の大いなる聖なる所」に入って行くことによって，つまり，神の幕屋または神殿で霊的な人々と交わり，神の目的を熟考することによって，見方が変わりました。そして，悪を行なう者たちと同じ運命をたどりたくない，という思いがはっきりするとともに，悪行者たちはその歩みと人生における選択によって「滑りやすい地」に立っているのだ，ということが分かりました。不道徳なことをしてエホバから離れてゆく者は皆，「突然の恐怖」に襲われて必ず終わりに至るのに対し，エホバに仕える者たちはエホバに支えていただける，ということも悟りました。(詩 73:16-19, 27, 28) あなたもきっと，そのとおりであるのを見てこられたことでしょう。多くの人は，神の律法を無視して自分自身のために生きることを魅力的に思うかもしれませんが，そのような生き方の悪い結末を避けて通ることはできません。—ガラ 6:7-9。塔10 6/15 1:11

5月5日，土曜日

新しい天と新しい地があります。
—ペテ二 3:13。

「新しい天」とは，1914年に設立された，神の天の王国のことです。この王国政府は，キリスト・イエスと14万4,000人の共同支配者で構成されています。それら選ばれた人たちは，「啓示」の書の中で，『天から，神のもとから下って来る，そして自分の夫のために飾った花嫁のように支度を整えた，聖なる都市，新しいエルサレム』として描かれています。(啓 21:1, 2, 22-24) 古代イスラエルの政府は，地上のエルサレムに置かれていました。一方，新しい事物の体制の政府は，天の新しいエルサレムとその花婿で構成されます。この都市は，地に注意を向けるという意味で『天から下って来る』のです。「新しい地」とは，神の王国に進んで服する態度を示してきた人々から成る，新しい地上の社会のことです。神の民が今すでに享受している霊的パラダイスはついに，その麗しい「来たるべき，人の住む地」の，本来あるべき場所に収まるのです。—ヘブ 2:5。塔10 7/15 1:10, 11

5月6日，日曜日

聖霊があなた方の上に到来するときにあなた方は力を受け，エルサレムでも，ユダヤとサマリアの全土でも，また地の最も遠い所にまで，わたしの証人となるでしょう。―使徒 1:8。

聖霊は，わたしたちが良いたよりを宣明するうえでの原動力となっています。良いたよりが全地で宣べ伝えられてきたことについて，ほかには説明がつきません。考えてみてください。あなたもかつては，とても内気で，あるいは不安を感じて，『家から家に宣べ伝えることなど，わたしにはとてもできない』と考えたかもしれません。ところが，今ではその活動に熱心に加わっています。忠実なエホバの証人の中には，反対や迫害に直面しながらも宣べ伝えつづけている人が少なくありません。わたしたちが数々の大きな障害を克服できるのも，自分の力では不可能な事柄を行なえるのも，ひとえに神の聖霊のおかげです。（ミカ 3:8。マタ 17:20）あなたも，宣べ伝える業に十分にあずかっているなら，その霊と協調している，と言えます。塔10 4/15 2:15

5月7日，月曜日

義なる者の心は答えるために思いを巡ら(す)。―箴 15:28。

仲間の圧力に抵抗するための重要な段階は，準備です。これは，どんな状況になりそうかを前もって考えることです。事前に少し考えれば，大きな衝突を避けられる場合もあります。例えば，歩いていると，前方で何人かのクラスメートが固まって，たばこを吸っているのが見えます。たばこを勧められそうですか。問題を予期して，どうすることができるでしょうか。箴言 22章3節にはこうあります。「災いを見て身を隠す者は明敏である」。別の道を通れば，全く接触せずに済むかもしれません。これは，恐れるのとは違います。知恵の道なのです。クラスメートからたばこを吸うようけしかけられたら，「いらないよ」と言ってから，「君がたばこなんて吸うとは思わなかったよ」と言えるかもしれません。あなたが吸わない理由を説明する必要はなく，相手が，吸う理由を考えなければならなくなるのです。塔10 11/15 2:11, 14

5月8日，火曜日

立場の低い者に恵みを示している人はエホバに貸しているのであり，その扱いに対して神はこれに報いてくださる。―箴 19:17。

この言葉に示されている原則は，互いを敬う点で率先しようと努力するわたしたちに，どのように関係してくるでしょうか。（ロマ 12:10）人は一般に，目上の人には敬う態度を示すものの，目下と思える人にはほとんど敬意を示しません。しかし，エホバはそうではありません。『わたしを敬う者たちをわたしは尊ぶ』と述べておられます。（サム一 2:30。詩 113:5-7）エホバは，だれであれご自分に仕えて敬意を示す人に敬意を示されます。「立場の低い者」を無視したりはされないのです。（イザ 57:15。代二 16:9）もちろん，わたしたちはエホバに倣いたいと思います。ですから，自分が人を純粋に敬っているかどうか確かめたいのであれば，『わたしは，会衆内で目立つ立場や責任ある立場には就いていない人たちに，どう接しているだろうか』と自問するのは良いことです。（ヨハ 13:14, 15）この問いに答えてみれば，自分が他の人たちにどれほど心からの敬意を抱いているかについて，多くのことが分かります。―フィリ 2:3, 4。塔10 10/15 3:15, 16

5月9日，水曜日

人類のだれも[舌]を従わせることができません。―ヤコ 3:8。

この非常に御しがたい器官を制御するのに，どんなことが助けになるでしょうか。イエスが当時の宗教指導者たちに述べた言葉からヒントが得られます。イエスは，「心に満ちあふれているものの中から口は語る」と述べました。（マタ 12:34）愛ある親切によって自分の舌を守る，つまり何をどのように話すかに気をつけるためには，自分の心つまり内面にその特質を植えつける必要があります。愛ある親切を自分の言葉に反映させるのは，決して容易なことではありませんが，そうするのに黙想と祈りが助けになります。エホバ神は『愛ある親切に満ちておられる』，と聖書は述べています。（出 34:6）詩編作者は，「エホバよ，あなたの愛ある親切は地に満ちました」と歌いました。（詩 119:64）聖書には，エホバがご自分の崇拝者たちに愛ある親切をお示しになったことに関する記述が数多く収められています。時間を割いて，『エホバの行なわれたこと』を感謝のうちに黙想するなら，その敬虔な特質を培いたいという気持ちがわいてくるでしょう。―詩 77:12。塔10 8/15 3:5, 6

5月10日，木曜日

だれでもこの幼子のように謙遜になる者[「自分を小さくする者」，バイイングトン訳(英語)]が，天の王国において最も偉大な者なのです。―マタ 18:4。

弟子たちは，だれが一番偉いかについて議論したばかりです。そこでイエスは幼子を呼び，彼らの真ん中に立たせ，上のように言います。（マタ 18:1-3）弟子たちは，権力や富や立場で人を評価する世の人々のように考えるのではなく，自分たちの偉さは他の人に対し「自分を小さくする」ことにかかっている，という点を理解する必要がありました。エホバが祝福して用いてくださるのは，真の謙遜さを示す場合だけです。今日，世の多くの人は権力や富や立場の追求に奔走しています。その結果，霊的な事柄のための時間はほとんどありません。（マタ 13:22）それとは対照的に，エホバの民は，収穫の主人からの祝福と是認を得るために，喜んで他の人に対し「自分を小さく」しています。―マタ 6:24。コリ二 11:7。フィリ 3:8。塔10 7/15 3:4, 5

5月11日，金曜日

わたしたちが受けたのは，世の霊ではなく，神からの霊です。―コリ一 2:12。

わたしたちが接する多くの人が，「自分を愛する者」，「ごう慢な者」，さらには「粗暴な者」となっています。ややもすると，わたしたちもそうした悪い態度の影響を受けて怒ってしまいかねません。（テモ二 3:2-5）映画やテレビではしばしば，復しゅうが正義として，また暴力が問題に対する自然で正当な解決策として描かれます。悪党が“当然の報いを受ける”こと ― たいていはヒーローの暴力によって殺されること ― を期待させるようなストーリーが一般的です。そうした娯楽媒体は，神の物事の行ない方を奨励するのではなく，「世の霊」，および怒りに満ちた支配者サタンの霊を助長しています。（エフェ 2:2。啓 12:12）その霊は不完全な肉を満足させるもので，神の聖霊やその実とは正反対です。実のところ，キリスト教の基本的な教えの一つは，挑発を受けても仕返しをしないことです。―マタ 5:39, 44, 45。塔10 6/15 3:5, 6

5月12日, 土曜日

あなた方(は)一つの霊のうちにしっかりと立ち, 一つの魂をもって良いたよりの信仰のために相並んで奮闘し(ている)。 ―フィリ 1:27。

クリスチャンの監督たちは, 宣べ伝える業に率先することによって一致を促進します。神への奉仕を共に行なう人たちを結びつける友情の精神は, ただ交流するだけの世の人々を結びつける精神よりも, はるかに強力です。クリスチャン会衆が設立されたのは, 社交クラブとして機能するためではなく, エホバに誉れを帰し, ある業を成し遂げるためです。良いたよりを宣べ伝え, 人々を弟子とし, 会衆を築き上げるという業です。(ロマ 1:11, 12。テサ一 5:11。ヘブ 10:24, 25) エホバの民であるわたしたちが一致しているのは, エホバの主権を受け入れ, 兄弟たちを愛し, 神の王国に希望を置き, 指導の任に当たるよう神が用いておられる人々に敬意を払うからです。エホバは, 不完全さゆえに一致を脅かすものとなりかねない態度を克服できるよう助けてくださいます。―ロマ 12:2。塔10 9/15 2:9, 10

5月13日, 日曜日

神はキリストによって世をご自分と和解させて, その罪過を彼らに帰さず, わたしたちに和解の言葉をゆだねてくださったのです。―コリ二 5:19。

和解の呼びかけをいっそう特筆すべきものとしているのは, エデンでの人間の反逆によってこの亀裂が全く一方的に生じたにもかかわらず, 神が自分のほうから亀裂を修復するために行動なさったことです。(ヨハ一 4:10, 19) エホバは贖いの犠牲を備えることにより, 信仰を働かせる人が罪過を許され, ご自分との友好関係や調和へと回復させられるようにしました。さらに, あらゆる場所の人々に, ご自分との平和を得られるうちにそうするよう促すために, 使者たちを遣わされました。(テモ一 2:3-6) パウロは, 神のご意志を理解し, 自分の生きている時を認識していたので, 「和解の奉仕の務め」にたゆまず自らを費やしました。(コリ二 5:18) エホバのご意志は今も変わりません。エホバのみ手は今日でも差し伸べられています。エホバ神は, 本当に憐れみと同情心に富んでおられます。―出 34:6, 7。塔10 12/15 2:8, 9

5月14日, 月曜日

わたしがキリストに見倣う者であるように, わたしに見倣う者となりなさい。 ―コリ一 11:1。

クリスチャン会衆の長老たちには, キリストのようになることを学ぶ義務があります。ペテロは, 年長者つまり長老たちにこう勧めました。「あなた方にゆだねられた神の羊の群れを牧しなさい。強いられてではなく, 自ら進んで行ない, 不正な利得を愛する気持ちからではなく, 真剣な態度で牧しなさい。また神の相続財産である人々に対して威張る者のようにではなく, かえって群れの模範となりなさい」。(ペテ一 5:1-3) クリスチャンの長老は, 尊大な, 横暴な, 独断的な, あるいは辛辣な人であってはなりません。ゆだねられている羊たちに接する際, キリストの手本に倣って, 愛を示し, 思いやり深く, 謙遜かつ親切であるよう心がけます。会衆で指導の任に当たっている人たちは, 不完全な人間であり, 絶えずその限界を意識しているべきです。(ロマ 3:23) ですから, イエスについて学んでその愛に倣うことに意欲的でなければなりません。神とキリストが人々をどう扱われたかをよく考えて, お二方に倣うよう努める必要があります。塔10 5/15 1:11-13

5月15日, 火曜日

神の聖霊を悲しませることのないようにしなさい。―エフェ 4:30。

一人でいる時でも, 神を不快にさせる事柄への誘惑が生じることがあります。例えば, ある兄弟が好ましくない音楽を聴いているとします。やがて,「忠実で思慮深い奴隷」の出版物に載せられた聖書の助言を無視していることに良心がとがめるようになります。(マタ 24:45) その問題について祈ります。神の霊を悲しませるようなことはすまいと固く決意し, 今後は好ましくない音楽を聴かないことにします。エホバは, この兄弟の示す精神を祝福なさるでしょう。ですから常に用心し, 神の霊を悲しませることのないようにしましょう。警戒や祈りを怠ると, 霊を悲しませる汚れた行ないや間違った行ないに至りかねません。聖霊が生み出す特質は天の父のご性格の表われなので, 聖霊を悲しませるなら, 神を悲しませたり憂えさせたりすることになります。わたしたちは決してそうしたいとは思いません。―エフェ 4:30, 脚注。塔10 5/15 4:16, 17

5月16日, 水曜日

自分の体を打ちたたき, 奴隷として引いて行くのです。それは, 他の人たちに宣べ伝えておきながら, 自分自身が何かのことで非とされるようなことにならないためです。―コリ一 9:27。

真のクリスチャンといえども, 目の欲望と肉の欲望を抱く危険がないわけではありません。それで神の言葉は, 何を見, 何を渇望するかに関して, 自己鍛錬するよう勧めています。(コリ一 9:25。ヨハ一 2:15-17) 廉直な人ヨブは, 見ることと欲することの強い関連をよく理解しており, 次のように述べました。「契約をわたしは自分の目と結んだ。それゆえ, どうしてわたしは自分が処女に対して注意深いことを示すことができようか」。(ヨブ 31:1) ヨブは, 不道徳な仕方で女性に触れることはおろか, そのようなことを考えることさえありませんでした。イエスは, 不道徳な考えを退けなければならないことを強調し,「女を見つづけてこれに情欲を抱く者はみな, すでに心の中でその女と姦淫を犯したのです」と述べました。―マタ 5:28。塔10 4/15 3:8

5月17日, 木曜日

子供たちよ, 主と結ばれたあなた方の親に従順でありなさい。―エフェ 6:1。

子どもは, 家にいる間は親に従う義務があります。(エフェ 6:2, 3) 親の規則や要求に対して正しい見方を持つなら, 従いやすくなります。親が規則を設けるのは, そもそもあなたを気遣っているからです。さらにクリスチャンの親は, 子どもの世話についてエホバに言い開きをする責任をわきまえています。(テモ一 5:8) 実のところ, 親の規則に従うのは, 銀行から借りているお金を返済することに似ています。銀行は, お金を返す点であなたが信頼できればできるほど, 多くのお金を融資してくれます。あなたには, 親に敬意と従順を示す義務があります。(箴 1:8) 親は, あなたが従順であればあるほど, 多くの自由を与えてくれるでしょう。(ルカ 16:10) もちろん, 規則を破ってばかりいるなら, 親は当然あなたの“融資限度額”を下げ, ゼロにしてしまうことさえあるでしょう。塔10 11/15 1:3-5

5月18日，金曜日

イエスは，目を上げて大群衆が自分のところに来るのをご覧になると，「これらの人々の食べるパンをどこで買いましょうか」とフィリポに言われた。―ヨハ 6:5。

イエスがフィリポにこのように問いかけたのは，なぜでしょうか。どうしたものかと思案していたからでしょうか。そうではありません。イエスが実際に考えていたことについて，その場にいた使徒ヨハネは，こう説明しています。「[イエスは]彼を試そうとしてこう言われたのである。自分がこれから何を行なうかを，ご自身は知っておられたからである」。（ヨハ 6:6）イエスはここで，弟子たちの霊的な面での進歩を試していました。そう問いかけることにより，弟子たちに考えさせて，ご自分の行なえる事柄への信仰を表明する機会を与えたのです。ところが，弟子たちはその機会を逸し，自分たちの見方が実際いかに狭いかを示しました。（ヨハ 6:7-9）そのあとイエスは，彼らの想像もしなかった事柄を行なえることを示し，お腹をすかせたそれら幾千人もの人に，奇跡によって食物を与えました。―ヨハ 6:10-13。塔10 10/15 1:8, 9

5月19日，土曜日

この約束された彼の臨在はどうなっているのか。……すべてのものは創造の初め以来と全く同じ状態を保っているではないか。―ペテ二 3:4。

地上に住む人のほとんどは，1914年以来のキリストの「臨在」に気づいていません。しかし間もなく，キリストはサタンの事物の体制の諸要素にエホバの裁きを執行することによって自分の臨在を明らかにします。「不法の人」つまりキリスト教世界の僧職者の滅びにより，「その臨在の顕現」は明白になります。（テサ二 2:3, 8）その滅びは，キリストがエホバの任命された裁き主として行動していることの明確な証拠となります。（テモ二 4:1）大いなるバビロンの最も責められるべき部分の絶滅は，偽りの宗教の邪悪な世界帝国が完全に滅びることの前触れとなります。エホバは，その霊的な娼婦を荒れ廃れさせることを政治指導者たちの心の中に入れられます。（啓 17:15-18）その荒廃が「大患難」の最初の部分となります。―マタ 24:21。塔10 9/15 5:13

5月20日，日曜日

王国のこの良いたよりは……宣べ伝えられるでしょう。―マタ 24:14。

イエスが地上にいた時に自分が生きていたらどんなによかっただろう，と考えたことがありますか。例えば，イエスにいやしていただいて厄介な病気の苦しみから解放されることについて考えるかもしれません。あるいは，イエスの姿を見て話を聞き，イエスから学んだり奇跡を見たりできたらとにかくうれしい，と思うかもしれません。（マル 4:1, 2。ルカ 5:3-9；9:11）イエスがそうした業を行なう場にいられたら，それは本当に特権です。（ルカ 19:37）しかし，イエスの時代以降，そうした事柄を目撃した人はいませんし，イエスが「ご自分の犠牲によって」地上で成し遂げられた事柄が繰り返されることはありません。（ヘブ 9:26。ヨハ 14:19）とはいえ，現代も特筆すべき時代です。この時代に生きるわたしたちには，世界中で『王国の良いたより』を宣明し，来たるべき楽園の希望について人々に告げるという大きな特権があります。これは二度と繰り返されることのない業です。塔10 4/15 4:1, 2

5月21日, 月曜日

彼は人々の賜物を与えた。—エフェ 4:8。

それら「人々の賜物」は愛ある牧者として, 一致を保つのを助けます。例えば, 会衆の長老は二人の兄弟が『互いに競争をあおっている』ことに気づいたなら, 個人的な助言を与えて「温和な霊をもってそのような人に再調整を施す」ことにより, 会衆の一致に大いに貢献できます。(ガラ 5:26–6:1) また,「人々の賜物」は教え手として, 聖書の教えに基づく確固とした信仰を築けるよう助けてくれます。そのようにして, 一致を促進するとともに, クリスチャンの円熟に向けて進歩するよう助けてくれます。パウロが述べているように,「それは, わたしたちがもはやみどりごでなくなり, 人間のたばかりや誤らせようとたくらむ巧妙さによって, 波によるように振り回されたり, あらゆる教えの風にあちこちと運ばれたりすることのないためです」。(エフェ 4:13, 14) すべてのクリスチャンが兄弟関係の一致に貢献すべきです。体の各部が必要なものの供給を助けて他の部分を築き上げるのと同じです。—エフェ 4:15, 16。塔10 9/15 3:8, 9

5月22日, 火曜日

あなたの神エホバの声に常に聴き従うゆえに, このすべての祝福があなたに臨み, あなたに及ぶことになる。—申 28:2。

神はかつて, アブラハムの肉的な胤であるイスラエル国民に上のように言われました。今日の神の僕についても同じことが言えます。エホバの祝福を願うなら, その声に『常に聴き従って』ください。そうすれば, エホバの祝福は「あなたに臨み, あなたに及ぶことに」なります。とはいえ,「聴き従う」ことには何が関係しているでしょうか。聴き従うことには, 神の言葉の述べる事柄と神が備えてくださる霊的食物を真剣に受け止めることが含まれます。(マタ 24:45) それは, 神とみ子に従って行動することも意味しています。イエスはこう述べました。「わたしに向かって,『主よ, 主よ』と言う者がみな天の王国に入るのではなく, 天におられる**わたしの父のご意志を行なう**者が入るのです」。(マタ 7:21) また, 神に聴き従うとは, 神が定められた取り決めに, すなわち「人々の賜物」である任命された長老のいるクリスチャン会衆に, 進んで服することも意味しています。—エフェ 4:8。塔10 12/15 3:17, 18

5月23日, 水曜日

各々自分の災厄や痛みを知(ってい)る。—代二 6:29。

今の『自分の痛み』は, 過去に経験した特定の事柄の影響による場合もあります。エホバの証人である30代のメアリーは, こう書いています。「今の私は, 幸福であるべき理由が十分にあるのですが, 過去のことを思い出しては屈辱感や嫌悪感にさいなまれます。その結果, 深い悲しみに包まれ, すべてが昨日のことのように思えて, 泣いてしまうのです。今でも, いろいろな記憶がよみがえって, 自分には価値がないという気持ちや後ろめたい気持ちに押しひしがれそうな時もあります」。神の僕でも, 同じような気持ちになる人は少なくありません。その場合, 耐え忍ぶために何が助けとなるでしょうか。メアリーはこう言います。「今では, 真の友と霊的な家族がいるので幸せです。また, エホバが約束してくださっている将来に注意を集中するよう努力しています。そして, 助けを求める自分の叫びは必ず喜びの叫びになる, と確信しています」。(詩 126:5) わたしたちは, 神がみ子を支配者として任命されたことに希望を置く必要があります。み子は, わたしたちを顧みてくださいます。—詩 72:13, 14。塔10 8/15 4:16-18

5月24日, 木曜日

霊が諸会衆に述べることを聞きなさい。—啓 2:29。

わたしたちは, 奴隷級を通して『時に応じた食物』を受けます。(マタ 24:45)「奴隷」は, 聖書的な資料を供給し, 集会と研究予定を取り決めることによって, 自分の務めを果たします。「仲間の兄弟全体」がある情報を考慮するよう, 十分な理由があって指示しています。(ペテ一 2:17。コロ 4:16。ユダ 3) わたしたちは, 与えられる提案に従うよう最善を尽くすとき, 聖霊に協力していることになります。クリスチャンの集会の予習をする時には, 引照聖句を調べ, 学んでいる事柄にそれぞれの聖句がどう当てはまるかを識別するよう努めましょう。それを習慣にするなら, 徐々に聖書の理解が深まります。(使徒 17:11,12) 聖句を調べると,聖句が思いに印象づけられ, 聖霊の助けによって思い起こすことができます。加えて, 聖書のページを開いて聖句を見ると, 聖句が目に印象づけられ, 必要な時に聖句を見つける助けになります。塔10 7/15 4:13, 14

5月25日, 金曜日

真に賢い女は自分の家を築き上げた。しかし,愚かな女は自分の手でこれを打ち壊す。—箴 14:1。

夫が本当に『信頼を置く』ことのできる「思慮深い妻」は, 夫にしてほしいと思うのと同じように, 夫の感情を思いやります。(箴 19:14; 31:11) 親と子どもも, 互いに慈しみのある仕方で話すべきです。(マタ 15:4) 年若い人に話す時, 思慮を働かせるなら,「いらいらさせ」たり「憤らせ」たりすることを避けられます。(コロ 3:21。エフェ 6:4, 脚注) 子どもを懲らしめなければならない場合でも, 親や長老は敬意をこめて話すべきです。そうするなら, 年若い人は歩みを正して神との関係を保ちやすくなります。このほうが, 見切りをつけたという印象を与えてしまうよりもはるかに良いでしょう。そういう印象を与えるなら, 子どもは自分自身に見切りをつけてしまうかもしれません。年若い人は, 受けた助言すべては覚えていないとしても, どのように話してもらったかは覚えているでしょう。塔10 6/15 4:16, 17

5月26日, 土曜日

あなた方は……地の最も遠い所にまで, わたしの証人となるでしょう。—使徒 1:8。

どれほど誠実に取り組んでいても,したいことやすべきことを行なうだけの時間はとてもないと思えるのではないでしょうか。そうであれば, 優先順位を吟味すべきです。レクリエーションなどを第一にすると, 大きなこと, つまり霊的なことをする時間が十分取れないように感じるでしょう。でも,「より重要な事柄を見きわめるように」という聖書の諭しに従うなら,王国の関心事とある程度のレクリエーションのための時間が取れることが分かるでしょう。(フィリ 1:10) 今あなたには, 人類史上最も興奮を誘う重要な業に参加する機会があります。宣べ伝えて教える世界的な業です。傍観者の立場を選んで, この業を他の人が行なうのを眺めていることもできます。その業を自ら行なうこともできます。自分の賜物を用いるのを差し控えることなく, 王国の関心事を推し進めましょう。塔10 11/15 3:18-20

5月27日, 日曜日

エホバの日は盗人のように来ます。
—ペテ二 3:10。

わたしたちはその日が来る正確な時は知りませんが, その日が近いことは知っています。残された短い時の間に徹底的な証しをすることによって, 自分と自分のことばを聴く人たちとを救うことになる, という神の言葉を信じています。(テモ一 4:16) わたしたちが認識しているとおり, 終わりはいつ来ても不思議ではありません。エホバが行動される時は,わたしたちが地上の一人一人に直接証言するかどうかには左右されません。(マタ 10:23) また, わたしたちは, 宣べ伝える業を効果的に果たす方法に関して良い指示を受けています。信仰のうちに, 自分の持つどんなものでも活用し,最善を尽くしてこの業に参加します。わたしたちはいつでも, 最も産出的な区域で宣べ伝えることができますか。そもそも, そうしたことがどうして事前に分かるでしょうか。(伝 11:5, 6) わたしたちの仕事は宣べ伝えることであり, わたしたちはエホバが祝福してくださることを信頼します。(コリ一 3:6, 7) エホバは, 何でも必要とする明確な指示を聖霊によって与えてくださいます。—詩 32:8。塔10 9/15 1:11, 12

5月28日, 月曜日

わたしは, 自分の忠誠のうちに歩みます。
—詩 26:11。

古代において, 物の重さを量るのにさおばかりがよく使われました。それは大抵, 水平のさおつまり横棒が中央の釘を支点として動き, 横棒の両端に皿がつり下げられていました。一方の皿に量る物を置き, 他方の皿におもりを置きました。神の民は, 正しいはかりとおもりを使うべきでした。(箴 11:1) 敬虔な人ヨブは, サタンの攻撃を受けて苦しんでいた時に, こう言いました。「神は正確なはかりでわたしを量り, 神はわたしの忠誠を知ってくださるであろう」。(ヨブ 31:6) この点に関して, ヨブは, 忠誠を保つ人を試すことになる幾つもの状況を挙げています。ヨブ 31章の言葉から分かるように,ヨブは, その試練を首尾よく通過しました。わたしたちは, ヨブと全く同じ苦しみを受けてはいません。とはいえ,忠誠を保つ者また神の主権を支持する者としての立場を強固にするには, 大小様々なことにおいて神に忠実でなければなりません。—ルカ 16:10。塔10 11/15 5:1-3

5月29日, 火曜日

すべて,労苦し,荷を負っている人よ,わたしのところに来なさい。そうすれば,わたしがあなた方をさわやかにしてあげましょう。
—マタ 11:28。

今日, 長老たちはイエスに倣って, 集会を, エホバがご自分の民に対して抱いておられる尽きない愛を信仰の仲間に確信させる機会とみなします。(ロマ 8:38, 39) ですから, 集会で自分の扱う部分において, 専ら兄弟たちの短所ではなく長所を取り上げます。兄弟たちの動機を疑うようなことは言いません。むしろ, 信仰の仲間を,エホバを愛している人, また正しいことを行ないたいと思っている人とみなしていることを言葉によって明らかにします。(テサ一 4:1, 9-12) もちろん, 会衆の人々全体に矯正のための助言を与えなければならないこともあるでしょう。しかし, もし再調整を必要としているのが少数の人なら, そのような助言は普通, 関係する人たちだけとの会話の中で与えるのが最善です。(ガラ 6:1。テモ二 2:24-26) 長老たちは, 会衆全体に対して話をする場合, 集会の終わりには出席者全員がさわやかにされ力づけられたと感じられるような話し方をするように努めます。—イザ 32:2。使徒 15:32。塔10 10/15 4:16

5月30日, 水曜日

わたしは多くの患難と心の苦もんから,多くの涙をもってあなた方に書いたのです。それはあなた方を悲しませるためではなく,わたしがあなた方に対して特に抱いている愛を知ってもらうためでした。—コリ二 2:4。

他の人に仕えるには, 勤勉な努力が必要であり, 自己犠牲の精神が求められます。クリスチャンの監督は霊的牧者なので, 群れの人々の抱える問題を非常に心配します。今日の聖句の言葉から, パウロが自分の務めに心を傾けて打ち込んだことは明らかです。昔から, 自己犠牲の精神は, エホバの僕たちのために労苦する男子の特徴でした。例えば, ノアが家族に,『箱船が完成したら教えてくれ。そしたら行くから』と言うところなど,とても想像できません。モーセはエジプトでイスラエル人に,『紅海で会いましょう。そこまでは頑張って来なさい』とは告げませんでした。ヨシュアは,『エリコの城壁が陥落したら教えてください』などとは言いませんでした。イザヤは別の人を指して,『そこに彼がおります! 彼をお遣わしください』と言ったりはしませんでした。—イザ 6:8。塔10 5/15 3:7, 8

5月31日, 木曜日

わたしたちは, キリストの思いを持っているのです。—コリ一 2:16。

次の点を覚えておくのはよいことです。魂をこめるとは, 宣教にどれほどの時間を費やすかということではありません。一人一人, 状況は異なります。野外奉仕に費やす時間が月に1時間か2時間だとしても, 健康の許す範囲で精一杯のものであるなら,エホバは大いに喜ばれるでしょう。(マルコ 12:41-44と比較。) ですから, 神への魂をこめた奉仕が自分の場合に何を意味するかを判断するには, 自分の能力や状況を正直に評価する必要があります。キリストの追随者であるわたしたちは, キリストと同じ見方を持ちたいと思っています。(ロマ 15:5) イエスは生活の中で何を第一にしたでしょうか。カペルナウムの人々に次のように言いました。「わたしは……神の王国の良いたよりを宣明しなければなりません。わたしはそのために遣わされたからです」。(ルカ 4:43。ヨハ 18:37) では, 宣教に対するイエスの熱意を念頭に置いて, 宣教を拡大できるかどうか自分の状況を吟味してみましょう。—コリ一 11:1。塔10 4/15 4:13

6月1日, 金曜日

聞くことに速く,語ることに遅く,憤ることに遅くあるべきです。—ヤコ 1:19。

子どもの皆さん,親の規則や矯正にもっと上手に対応したいと思いますか。それには, コミュニケーション能力を向上させる必要があります。どうしたらいいでしょうか。第一歩は, 耳を傾けることです。すぐに言い訳をするのではなく, 感情を抑えて親の言うことを理解するようにしましょう。言い方ではなく, 言われた内容に焦点を絞ってください。その後, 親の言ったことを自分の言葉に言い換えて, 敬意をこめて確認します。そうするなら, 話を聞いていたことが伝わるでしょう。自分の言葉や行動について説明したい場合は, どうでしょうか。たいていは, 親の望んでいることをやり終えるまで「唇を制する」のが賢明です。(箴 10:19) 親は, あなたが耳を傾けていたことが分かるなら, あなたの言うことをもっと聞こうとするでしょう。こうした円熟した態度は, あなたが神の言葉に導かれていることの証拠です。塔10 11/15 1:10

6月2日, 土曜日

人々が,「平和だ, 安全だ」と言っているその時, 突然の滅びが, ……彼らに突如として臨みます。—テサ一 5:3。

「平和だ, 安全だ」という叫びも, 悪霊の霊感によるうその一つです。しかし, エホバの僕たちをだますものとはなりません。パウロはこう書いています。「あなた方は闇にいるのではありませんから, 盗人たちに対するように, その日が不意にあなた方を襲うことはありません。あなた方はみな光の子であり, 昼の子なのです」。(テサ一 5:4, 5) ですから, サタンの世の闇から遠く離れて, 光のうちにとどまっていましょう。ペテロもこう書いています。「愛する者たちよ, あなた方はこのことをあらかじめ知っているのですから, 無法な人々[クリスチャン会衆内の偽教師たち]の誤りによって共に連れ去られ, 自分自身の確固たる態度から離れ落ちることのないように用心していなさい」。(ペテ二 3:17) エホバはここで,「用心していなさい」と告げるだけで済ませてはおられません。わたしたちの尊厳を認めて,ご親切にも,将来起きる事柄の概略を『あらかじめ知らせて』くださっているのです。塔10 7/15 1:12-14

6月3日, 日曜日

温和な答えは激しい怒りを遠ざけ, 痛みを生じさせる言葉は怒りを引き起こす。—箴 15:1。

怒りを静めるとは, 単に穏やかな表情をするということではありません。それで, 怒りを押し隠しておいて後で爆発させるということのないようにしましょう。有害な感情を心から取り除けるよう, エホバに助けを祈り求めてください。エホバの霊によって思いと心が変革されてご意志に沿ったものとなるようにしていただくのです。(ロマ 12:2。エフェ 4:23, 24) 実際的な手段を講じましょう。張り詰めた雰囲気になって, 自分の内で怒りがこみ上げてくるのを感じたなら, その場を去るのが助けになるかもしれません。そうすれば, 気持ちを落ち着かせる時間が取れます。(箴 17:14) 話している相手が怒り出したなら, いつも以上の努力を払って慈しみのある言葉を出しましょう。辛らつな言葉や好戦的な言葉は, たとえ優しい口調で言ったとしても, 火に油を注ぐだけです。(箴 26:21) ですから, 自制を試みられる状況では,「語ることに遅く, 憤ることに遅くあるべきです」。悪いことではなく良いことを語れるようエホバの霊の助けを祈り求めましょう。—ヤコ 1:19。塔10 6/15 4:18, 19

6月4日, 月曜日

まず子供たちを満ち足らせなさい。子供たちのパンを取って小犬に投げ与えるのは正しくないからです。—マル 7:27。

ある時, イエスと使徒たちは, ティルスとシドンの近くまで行きました。そして, そこにいた時,あるギリシャ人の女性から,娘をいやしてほしいと懇願されました。最初のうちイエスは無視していましたが, その女性が懇願しつづけると,今日の聖句の言葉を述べました。(マル 7:24-26) イエスが初めのうち助けようとしなかったのはなぜでしょうか。その女性を試して, どんな反応を示すかを探り,信仰を示す機会を与えていたのです。その時のイエスの口調は, 明記されていないとはいえ, 相手を失望させるものではなく, また「小犬」に例えたことで, 相手に与える印象を和らげたからです。親は子どもの願いを聞き入れるつもりでも, 子どもの真剣さを試すために, 聞き入れるそぶりを見せないことがあります。おそらくイエスは, そうした親のように振る舞っていたのでしょう。いずれにせよ, その女性がいったん信仰を表明すると, その願いを喜んでかなえました。—マル 7:28-30。塔10 10/15 1:10, 11

6月5日，火曜日

悪い交わりは有益な習慣を損なう。—コリ一 15:33。

世の友達と付き合っていたため重大な問題に陥った人の一人に，ヤコブの娘ディナがいます。創世記の記述を読むと，ディナが自分の家族の住んでいた地域のカナン人の女の子たちといつも付き合っていたことが分かります。カナン人は，エホバの崇拝者たちのような高い道徳規準を持っていませんでした。（出 23:23。レビ 18:2-25。申 18:9-12）地元の男性で，「その父の全家で最も尊ばれる者」であったシェケムが，ディナを「見かけてこれをとらえ，彼女と寝てこれを犯し」ました。（創 34:1, 2, 19）わたしたちはその記述から何を学べるでしょうか。それは，不信者と親しく付き合っても悪い結果にはならないなどと安易に考えてはいけない，ということです。一方，自分と同じ信念，高い道徳規準，エホバに対する愛を抱く人たちとの良い交わりは，身の守りとなり，賢く行動するための励みともなることでしょう。—箴 13:20。塔10 6/15 1:13-15

6月6日，水曜日

あなたの家に対する全き熱心がわたしを食い尽くし……ました。—詩 69:9。

宣教期間の初期，西暦30年の過ぎ越しの時期のことです。イエスと弟子たちはエルサレムに来て，神殿で「牛や羊やはとを売る者たちと，席に着いている両替人たち」を目にします。イエスはどんな反応を示したでしょうか。それは弟子たちにどんな印象を与えましたか。（ヨハ 2:13-17）この時のイエスの言動はいみじくも弟子たちに，今日の聖句にある預言的な言葉を思い起こさせました。なぜでしょうか。イエスの行動は大きな危険を伴うものだったからです。神殿でなされていた恥ずべき儲け仕事の背後には，神殿の権威者たち，祭司や書士などがいたのです。イエスはその企みを暴露し妨げることにより，当時の宗教体制に対抗していました。弟子たちが正しく見定めたとおり，『神の家に対する熱心』，真の崇拝に対する熱心がはっきり見られたのです。塔10 12/15 1:7, 8

6月7日，木曜日

女を見つづけてこれに情欲を抱く者はみな，すでに心の中でその女と姦淫を犯したのです。—マタ 5:28。

エホバへの忠誠を保つには，ヨブと同じく，エホバの道徳規準を固守しなければなりません。ヨブはこう述べています。「契約をわたしは自分の目と結んだ。それゆえ，どうしてわたしは自分が処女に対して注意深いことを示すことができようか。もし，わたしの心が女に誘われ，わたしがわたしの友の入り口で待ち伏せしていたなら，わたしの妻が他人のために臼をひくことをし，彼女の上にほかの人がかがみ込むように」。（ヨブ 31:1, 9, 10）ヨブは神への忠誠を保つことを決意しており，欲情を抱いて女性を見たりしませんでした。結婚していたヨブは，独身女性の気を引こうとしたり他人の妻との恋愛関係を求めたりしませんでした。イエスは山上の垂訓に含まれる今日の聖句で，性道徳に関して強い言葉を述べています。それは，忠誠を保つ人が銘記する必要のある言葉です。塔10 11/15 5:4, 5

6月8日, 金曜日

勤勉な者の計画は必ず益をもたら(す)。—箴 21:5。

不健全な活動に加わるようにという圧力を, エホバの僕だと言う若者から受ける場合もあります。例えば, そうした若者の企画したある集いに行って, 監督する大人がいないことが分かったとしたら, どうでしょうか。クリスチャンだと言う若者がアルコールを持ち込み, そこにいる人たちが飲酒できる年齢に達していないとしたら, どうですか。聖書によって訓練された良心に従う必要のある状況は, ほかにも生じるでしょう。ある十代のクリスチャンはこう言っています。「妹とわたしは, 汚い言葉が飛び交う映画を見るのをやめて, 出て行きました。一緒に見に行った子たちは残りました。両親はしたことを褒めてくれました」。何らかの集いに行くときには, 予想と異なる状況に備えてその場を去るための計画を立てておきましょう。電話をかければ予定より早く迎えに来てもらえるように親と決めておく若者もいます。—詩 26:4, 5。塔10 11/15 2:16, 17

6月9日, 土曜日

あなた方は……エルサレムでも, ユダヤとサマリアの全土でも, また地の最も遠い所にまで, わたしの証人となるでしょう。—使徒 1:8。

この業には, 世界的な教える活動が含まれます。その活動の目的は何でしょうか。終わりが来る前に, 弟子を作ること, つまり人々をキリストの追随者とすることです。(マタ 28:19, 20) キリストから与えられた任務を首尾よく果たすには, 何を行なう必要があるでしょうか。使徒ペテロの次の勧告に注目してください。「あなた方は, 聖なる行状と敬虔な専心のうちに, エホバの日の臨在を待ち, それをしっかりと思いに留める者となるべきではありませんか」。(ペテ二 3:11, 12) ペテロの言葉は, わたしたちがこの終わりの日の間しっかりと見張り続け, 敬虔な専心の行ないを中心とした生き方をすることの必要性を強調しています。その行ないには,良いたよりを宣べ伝えることが含まれます。キリストから与えられた宣べ伝える任務を世界中の兄弟たちが熱心に果たしており, それを見るのは本当に喜びです。塔10 4/15 4:3, 4

6月10日, 日曜日

よくやった, 善良で忠実な奴隷よ! —マタ 25:21。

収穫の業に十分に携わるのに必要な一つの特質は, 勤勉さです。この特質は, タラントに関するイエスのたとえ話に示されています。(マタ 25:14-30) あなたも, イエスのたとえ話の勤勉な奴隷のようでありたい, と心から願っているに違いありません。注目できる点として, たとえ話の主人は, それぞれの奴隷のできる事柄は異なっていることに気づいていました。それで, タラントを「各自の能力に応じてひとりひとりに」与えます。(マタ 25:15) 予想どおり, 1番目の奴隷は2番目の奴隷よりもかなり多くの利益を上げました。しかし, 主人は両者の勤勉な努力を認めて, 二人を「善良で忠実な」奴隷と評価し, 同じ報いを与えました。同様にエホバは, 神への奉仕においてあなたができることはあなたの事情によって変わってくるということをご存じです。そして, 神に仕えようとする魂をこめた努力を必ず認め, その努力に報いてくださいます。—マル 14:3-9。ルカ 21:1-4。塔10 7/15 3:8-10

6月11日, 月曜日

わたしたちは……愛により, すべての事において……成長してゆきましょう。—エフェ 4:15。

愛の道に従うなら, 淫行とみだらな行ないは排除されます。パウロは,『諸国民と同じように歩まない』よう強く勧めました。諸国民は,「いっさいの道徳感覚を通り越し, ……身をみだらな行ないにゆだね」ていました。(エフェ 4:17-19) 不道徳な世は, わたしたちの一致を脅かします。人々は淫行を,冗談の種にし,歌い,見て楽しみ, ひそかにあるいは公然と行ないます。とはいえ, 結婚する気がない相手に性的な魅力を感じているふりをするなど, 面白半分に異性の気を引こうとすることでさえ, 自分をエホバと会衆から引き離すことになりかねません。なぜでしょうか。容易に淫行に至りかねないからです。また, 既婚者が異性の気を引いたために姦淫に至るなら, 子どもは親から分かたれ, 無実な側は配偶者から分かたれるというひどい結果になりかねません。全くの分裂です。「あなた方は,キリストがそのようであるとは学びませんでした」とパウロが述べたのも当然です。—エフェ 4:20, 21。塔10 9/15 3:9, 10

6月12日, 火曜日

神は世を深く愛してご自分の独り子を与え, だれでも彼に信仰を働かせる者が滅ぼされないで,永遠の命を持てるようにされた。—ヨハ 3:16。

人類を請け戻す方としてのイエスの自己犠牲的な愛は, 感謝してこたえ応じるようわたしたちを動かすのではないでしょうか。長老として長く奉仕してきたある兄弟は, 群れに対する気持ちを次のように述べています。「わたしの小さな羊たちを牧しなさいとのペテロに対するイエスの言葉に,深く感動しています。ちょっとした優しい言葉や一つの親切な行ないが人をどれほど元気づけるかが分かるようになりました。わたしは, 牧羊をとても楽しんでいます」。(ヨハ 21:16) 会衆の献身した男子は, 神の群れに対してイエスと同じ態度を表わしたいと思うでしょう。イエスは,「わたしがあなた方をさわやかにしてあげましょう」と述べました。(マタ 11:28) クリスチャン男子は, 神への信仰と会衆への愛に動かされて, りっぱな仕事をとらえようと努めます。犠牲が大きすぎるとか, 要求が多すぎるなどと考えたりはしません。塔10 5/15 3:9, 10

6月13日, 水曜日

わたしはあなたに何も不当なことはしていない。—マタ 20:13。

ぶどう園の働き人に関する例えの中で, イエスは, 一人の家あるじのことを述べました。その人は, 雇った人すべてに, 丸一日働いたか1時間働いただけかにかかわらず,同じ額の賃金を払いました。(マタ 20:8-16) 公平だと思いますか。実のところ, 家あるじは働き人すべてを, 生きてゆく権利のある人として扱ったのです。働きたい人が大勢いたので, 雇う側に有利でしたが, 家あるじは, それをいいことに適正以下の賃金で雇うことはしませんでした。どの働き人にも, 自分の家族を養えるだけの賃金を与えて家に帰らせました。こうした点を考慮に入れると, 家あるじのしたことに対するわたしたちの見方は変わるかもしれません。家あるじの決定は愛によるものであり, 権威の乱用によるものではなかったのです。どんな教訓を学べるでしょうか。事実の一**部**しか把握していないなら, 早まって間違った結論を下しかねない, という教訓です。実のところ, このたとえ話で強調されているのは, 神の義のほうが勝っているということです。その義は, 単に法的な規定や人間の益だけを基準にして考えるべきものではないのです。塔10 10/15 2:12, 14

6月14日，木曜日

ヤコブの息子たちは……感情を害し，非常に怒り立っていた。―創 34:7。

ヤコブの息子であるシメオンとレビは，妹のディナを犯したシェケムに復しゅうしました。次いで，ヤコブの他の息子たちもシェケムの都市を襲撃し，その都市のものを強奪し，女と子どもをとりこにしました。これは，ディナのためだけではなく，おそらくプライド，面子の問題でもあったのでしょう。ヤコブは，ディナの身に生じた悲劇について深く悲しんだに違いありません。とはいえ，息子たちの復しゅうをとがめます。それでもシメオンとレビは自分たちの行動を正当化しようとし，「わたしたちの妹を遊女のように扱う者がいてもよいのですか」と言いました。（創 34:31）しかし，事はそれで終わりではありませんでした。エホバが不快に感じておられたのです。数十年後，ヤコブは，シメオンとレビの怒りにまかせた暴虐行為ゆえにその子孫がイスラエルの部族の間に散らされることを予告します。（創 49:5-7）怒りを制しなかったことは，神と父親双方の不興を招いたのです。塔10 6/15 3:7, 8

6月15日，金曜日

霊のためにまいている者は霊から永遠の命を刈り取ることになる。―ガラ 6:8。

神は聖霊によって，ご自分の民の愛，喜び，一致を促されます。（詩 133:1-3）ですから，有害なうわさ話をしたり，霊によって任命された牧者への敬意を損なうようなことを述べたりして，霊を悲しませることのないようにすべきです。（使徒 20:28。ユダ 8）むしろ，会衆内で一致と互いへの敬意を促進すべきです。神の民の間で派閥のようなものを作ったりすべきではありません。パウロはこう書いています。「兄弟たち，……あなた方に勧めます。あなた方すべての語るところは一致しているべきです。あなた方の間に分裂があってはなりません。かえって，同じ思い，また同じ考え方でしっかりと結ばれていなさい」。（コリ一 1:10）エホバは，わたしたちが霊を悲しませることを避けられるよう助けたいと思っておられ，そうすることがおできになります。では，引き続き聖霊を祈り求め，それを悲しませることのないよう決意しましょう。塔10 5/15 4:2, 19, 20

6月16日，土曜日

わたしの食物とは，わたしを遣わした方のご意志を行ない，そのみ業をなし終えることです。―ヨハ 4:34。

イエスは，神の王国について教えました。そして，奇跡によって病気の人を癒し，空腹の群衆に食べ物を与え，死んだ人をよみがえらせることさえして，その王国が人類のために成し遂げる事柄を示しました。（マタ 11:4, 5）イエスは，自分の教えや癒しの業を自身の誉れとはせず，謙遜にすべての賛美をエホバの受けるべきものとすることにより，際立った手本を残しました。（ヨハ 5:19; 11:41-44）また，祈るべき最も重要な事柄について教えました。エホバという神のお名前が『聖なるものとして扱われる』ことや，神の義なる主権がサタンの邪悪な支配に取って代わり，神の『ご意志が天におけると同じように，地上においてもなされる』ことを祈り求めるよう教えたのです。（マタ 6:9,10; 脚注）イエスはまた，『王国と神の義をいつも第一に求める』ことによりそのような祈りに調和した行動をするよう勧めました。―マタ 6:33。塔10 8/15 1:12, 13

6月17日, 日曜日

彼は征服しに, また征服を完了するために出て行った。―啓 6:2。

キリストは, 1914年にエホバのメシア王国の王として即位しました。「詩編」と「啓示」の書はキリストを, 馬に乗った精力的な王, 「征服しに, また征服を完了するために」乗り進み, 決定的な「成功」を収める王として描いています。(詩 2:6-9; 45:1-4) キリストは王に即位した後, まず「龍とその使いたち」に対する勝利を収めました。み使いの頭ミカエルとしてみ使いたちを指揮し, サタンと悪霊たちを聖なる天から投げ落として地上の近辺に閉じ込めたのです。(啓 12:7-9) その後, イエスはエホバの「契約の使者」として, み父と共に来て霊的神殿を検分しました。(マラ 3:1) 「大いなるバビロン」の最も責められるべき部分であるキリスト教世界を裁き, 流血およびこの世の政治体制との霊的姦淫ゆえに有罪としました。―啓 18:2, 3, 24。塔10 9/15 5:1, 2

6月18日, 月曜日

この世のありさまは変わりつつある。―コリ一 7:31。

今日, 極めて重要な劇が進行しています。それはあなたにも関係があります。そして, 特にエホバ神の主権の立証にかかわっています。この劇は, ある国で生じ得る状況を例にして説明できます。秩序を保つ正当に設立された政府がある一方で, 詐欺, 暴力, 殺人によって支配する犯罪組織があります。この非合法組織は, 主権を有する支配者に対する挑戦となっており, 政府への全市民の忠節が試みられています。同様の状況が宇宙的な規模で生じています。「主権者なる主エホバ」の正式に設立された政府が存在しています。(詩 71:5) しかし人類は, 「邪悪な者」を首領とする犯罪組織によって脅かされています。(ヨハ一 5:19) それは正当に設立された神の政府に対する挑戦となっており, 主権を有する支配者へのすべての人の忠節が試みられています。塔10 11/15 4:1-3

6月19日, 火曜日

彼は人々の賜物を与えた。―エフェ 4:8。

キリストの霊的な兄弟に対する態度は, 来たるべき大患難でどのように裁かれるかを決める大きな要素です。(マタ 25:34-40) ですから, 祝福を得る方法の一つは, 神の油そそがれた者たちを忠節に支持することです。さらに, 「人々の賜物」には, 支部委員, 旅行する監督, 会衆の長老も含まれます。皆, 聖霊によって任命された人たちです。(使徒 20:28) これらの兄弟の主要な責任は神の民を築き上げることです。そのようにして, 「ついに……皆, 信仰と神の子についての正確な知識との一致に達し, 十分に成長した大人, キリストの満ち満ちたさまに属する丈の高さに達するのです」。(エフェ 4:13) もちろん, それらの兄弟もわたしたちと同様, 不完全です。とはいえ, その愛ある牧羊に感謝してこたえ応じる時, 自らを祝福することになります。―ヘブ 13:7, 17。塔10 12/15 3:18-20

6月20日, 水曜日

おのおの自分の益ではなく, 他の人の益を求めてゆきなさい。—コリ一 10:24。

クリスチャンであるわたしたちは, 忙しい生活を送っており,会衆の数多くの重要な活動を行なってゆくのに多くの時間を要します。ですから当然, 時間を貴重なものとみなしています。自分のために兄弟姉妹に余分の時間を使わせるべきではない,とも思っています。また,感謝すべきことに, 会衆の人たちも, わたしたちに多くの時間を使わせてはいけないと思ってくれています。とはいえ, わたしたちは, 次のことも認めています。仕事の手を止めてでも信仰の仲間のために快く時間を割くなら,相手に敬意を抱いていることを示せる, ということです。そのようにするなら,『あなたはわたしの目にとても貴いので, 今している事柄を続けるよりも, あなたと共に時間を過ごすほうが重要なのです』と言っていることになるからです。—マル 6:30-34。塔10 10/15 3: 17, 18

6月21日, 木曜日

[エホバは]神の霊を彼に満たされました。—出 35:31。

神への奉仕において, 何であれ自分にある能力を向上させてくださるよう, エホバに聖霊を求めるべきです。(ルカ 11: 13) 神の霊は, 人がそれまでの境遇や経験にかかわらず業や奉仕の特権を行なえるようにすることができます。エホバの霊は様々な仕方で働きます。神の僕すべてがその霊を得ることができ,圧倒されそうな障害を乗り越えるよう助けられます。誘惑に負けそうに感じているなら, どうですか。ローマ 7章21, 25節, 8章11節のパウロの言葉から力が得られます。「イエスを死人の中からよみがえらせた方の霊」がわたしたちのために働き, 肉の欲望との闘いで勝利を収める力を与えてくれるのです。この言葉は, 霊によって油そそがれたクリスチャンにあてて書かれましたが, この原則は神の僕すべてに当てはまります。わたしたちは皆, キリストに信仰を働かせ, 間違った欲望を死んだものとするよう努め, 霊の導きに従って生活することにより, 命を得ます。塔10 9/15 1: 13, 15

6月22日, 金曜日

この幻を書き記し, それを……はっきりしたため(よ)。—ハバ 2:2。

今の複雑な世の中では, 待たされることがよくあります。読み切っていない出版物を持って行くなら, その時間に幾らか読めるかもしれません。最新の出版物が録音されたものを,歩いている時や乗り物に乗っている時に聞く人もいます。出版物すべては,入念な調査に基づいていますが, 普通の読者が楽しめるように書かれており,霊的な事柄に対するわたしたちの認識を深めてくれます。聖書や聖書に基づく出版物を読む時には, 時間を取って考えましょう。考えの流れを注意深く追ってゆくと, 疑問がわくことがあります。そうした疑問点をメモしておいて, 後から調査できます。わたしたちは, 興味を引かれた事柄を調べる時には, 深く探究するものです。そのようにして得た理解は, 必要な時に取り出せる自分の宝の一部となります。—マタ 13:52。塔10 7/15 4: 15, 16

6月23日，土曜日

地には穀物が豊かに実り，山々の頂であふれんばかりに実ります。—詩 72:16。

この表現は，地がいかに産出的になるかを強調するものです。穀物は普通，山の頂では生産されないからです。考えてもみてください。もはや食糧不足はなく，だれ一人として栄養不良になる人も飢える人もいません。すべての人が「油を十分に用いた料理の宴」を楽しむのです。（イザ 25:6-8；35:1，2）そうした祝福すべてをもたらす誉れは，だれのものでしょうか。それは専ら，とこしえの王であり宇宙の支配者であるエホバ神のものです。詩編 72編17-19節にはこう述べられています。「彼の名［王イエス・キリストの名］が定めのない時に至るまで続くように。太陽の前でその名が増し加わり，彼によって人々が自らを祝福し，すべての国の民が彼を幸いな者と言うように。エホバ神，イスラエルの神がほめたたえられますように。ただこの方だけがくすしい業を行なっておられるのです。その栄光あるみ名が定めのない時に至るまでほめたたえられるように。その栄光が全地に満ちるように。アーメン，アーメン」。塔10 8/15 4:19，20

6月24日，日曜日

見よ，今こそ特に受け入れられる時です。見よ，今こそ救いの日なのです。—コリ二 6:2。

過分のご親切のこの表明から最初に益を受けたのは，「キリストと結ばれている」人たちです。（コリ二 5:17，18）この人たちにとって，「救いの日」は西暦33年のペンテコステの時に始まりました。それ以来，「和解の言葉」をふれ告げるという務めをゆだねられています。今日でも，油そそがれたクリスチャンの残りの者が「和解の奉仕の務め」を果たしています。（コリ二 5:18，19）彼らが認識しているとおり，使徒ヨハネが預言的な幻の中で見た4人のみ使いは「地の四方の風をしっかり押さえて，地に……風が吹かないようにして」います。それで，今も「救いの日」，「特に受け入れられる時」です。（啓 7:1-3）このため，20世紀の初期から，油そそがれた残りの者は，地の隅々にまで「和解の奉仕の務め」を熱心に行なっています。塔10 12/15 2:10

6月25日，月曜日

エホバは，ご自分を呼び求めるすべての者……の近くにおられます。—詩 145:18。

意味深い祈りには言葉以上のものが関係しています。心の奥の感情も関係しているのです。あなたの祈りに，エホバを熱烈に愛し，深く敬い，エホバに全く依り頼んでいることを含めてください。エホバはあなたに近づいてあなたを強め，悪魔に立ち向かえるよう，また人生において正しい選択ができるようにしてくださいます。（ヤコ 4:7，8）シェリーという姉妹が，エホバとの親しい関係からどのように力を得たか，考えてみましょう。卒業する時に，高等教育のための奨学金をもらえるという話がありました。しかし，さらに上の教育を受けようとすれば，自分の時間の大半を勉強やスポーツ競技の練習に費やさざるを得なくなり，エホバに仕える時間がほとんどなくなることは目に見えていました。それで「エホバに祈った後，奨学金を断わり，正規開拓者としての奉仕を始めました」。シェリーはこう言っています。「少しも後悔していません。本当に，神の王国を第一にすれば，ほかの物はみな加えられるのです」。—マタ 6:33。塔10 4/15 1:12，13

6月26日，火曜日

[エホバ]は正確なはかりでわたしを量り，神はわたしの忠誠を知ってくださるであろう。―ヨブ 31:6。

エホバは，すべての人を「正確なはかり」で量られます。神は，ヨブの場合と同じく，公正に関するご自分の完全な規準を用いてわたしたち献身した僕の忠誠を評価されます。人を欺くねじくれた行動を取るようになるとしたら，神への忠誠を保っているとは言えません。忠誠を保つ人は，「恥ずべき隠れた事柄を捨て去ってしまい，こうかつに歩むこと」はありません。（コリ二 4:1，2）わたしたちのねじくれた言動によって，仲間の信者が神に助けを求めるようになるとしたら，どうでしょうか。わたしたちにとって悲惨な結果になります。詩編作者はこう歌っています。「わたしは苦難の中からエホバに呼びかけた。すると，神はわたしに答えてくださった。エホバよ，わたしの魂を偽りの唇から，こうかつな舌から救い出してください」。（詩 120:1，2）神がわたしたちの内奥まで調べることがおできになる，という点を覚えておくのはよいことです。わたしたちの「心と腎を試して」，本当に忠誠を保つ者かどうかを判断なさるのです。―詩 7:8，9。塔10 11/15 5:6，7

6月27日，水曜日

唇を制する者は思慮深く行動しているのである。―箴 10:19。

十分に意思を伝えるとは，考えたことや感じたことすべてをいつでもすぐに述べる，という意味ではありません。頭にきている時は特にそうです。聖書が示すとおり，怒りを制御せずに表わすことは強さではなく弱さのしるしです。（箴 25:28；29:11）モーセは，当時の人々のうちでも「とりわけ柔和な人物」でしたが，ある時，イスラエル国民の反逆にかっとなり，神に栄光を帰すのを怠りました。感じたことを非常にはっきりと伝えましたが，エホバは喜ばれませんでした。モーセは，イスラエル人を40年導いたのに，彼らを約束の地に導き入れるという特権にあずかることができませんでした。（民 12:3；20:10，12。詩 106:32）聖書は，話す時に，自己抑制，および思慮深さを示すよう勧めています。（箴 17:27）とはいえ，思慮深いとは，自分の考えや気持ちを決して言い表わさないという意味ではありません。「慈しみのある」言葉を発し，傷つけるのではなくいやすために舌を用いる，ということです。―箴 12:18；18:21。コロ 4:6。塔10 6/15 4:4-6

6月28日，木曜日

神は感謝しない邪悪な者にも親切であられる。―ルカ 6:35。

わたしたちは，真理を学んでそれに基づいて行動するようになる前から，エホバのご親切，つまり一般的な親切を受けていました。（マタ 5:45）しかし今では，エホバを崇拝する者として，エホバの忠節な愛を，その揺るぎない愛ある親切を受ける者となっています。（イザ 54:10）わたしたちはそのことを本当に感謝できます。だからこそ，言葉においても日常生活の他の面においても，愛ある親切をぜひとも表わすべきなのです。愛ある親切を培ううえで大変貴重な助けとなるのが，祈りの特権です。なぜなら，愛ある親切の構成要素である愛と親切は，エホバの聖霊の実の二つの面だからです。（ガラ 5:22）わたしたちは聖霊の影響下に入ることにより，自分の心に愛ある親切を植えつけることができます。エホバの聖霊を受ける最も直接的な方法は，祈りのうちにそれを求めることです。（ルカ 11:13）神の霊を繰り返し祈り求めてその導きを受けるのは，ふさわしいことです。塔10 8/15 3:9，10

6月29日, 金曜日

神の聖霊を悲しませることのないようにしなさい。—エフェ 4:30。

パウロは, 愛する仲間の信者が霊性を危険にさらさないようにと願っていました。霊を悲しませるなら, それが発端となって, クリスチャンの生活に神の活動力が全く影響を及ぼさなくなりかねません。そうなり得ることは, ダビデがバテ・シバに関係する罪を犯した後に述べた言葉から分かります。ダビデは悔い改めてエホバに次のように懇願しました。「あなたのみ顔の前からわたしを捨て去らないでください。あなたの聖霊を, どうかわたしから取り去らないでください」。(詩 51:11)「忠実であることを死に至るまで」示す油そそがれた者だけが, 天での不滅の命の「冠」を受けます。(啓 2:10。コリ一 15:53) 地的な希望を持つクリスチャンにとっても, 神への忠誠を保ち, キリストの贖いの犠牲に対する信仰に基づいて命の賜物を受けるには, 聖霊が必要です。(ヨハ 3:36。ロマ 5:8; 6:23) ですから, わたしたちは皆, エホバの聖霊を悲しませないように用心しなければなりません。塔10 5/15 4:3, 4

6月30日, 土曜日

このわたし……は, エホバの霊のもとに力に満たされ(た)。—ミカ 3:8。

エホバは, 来たるべき新しい世で, 聖霊をどのようにお用いになるでしょうか。聖霊は, その時に数々の新しい巻き物を開かせるための力となることでしょう。(啓 20:12) それらの巻き物には, どんなことが記されているのでしょうか。恐らく, その1,000年間にエホバがわたしたちにお求めになる詳細な事柄でしょう。あなたはその内容を調べることを楽しみにしていますか。わたしたちは切なる期待を抱いて, その新しい世を待ち望みます。エホバの目的は徐々に詳細が明らかにされてゆき, 必ず果たされる, ということを決して忘れないようにしましょう。エホバはそのために, 宇宙で最も強い力である聖霊を用いておられるからです。その目的にはあなたも関係しています。ですから, エホバに聖霊を祈り求めて聖霊の導きに調和した行動を取ることを固く決意しましょう。(ルカ 11:13) そうすれば, エホバが人間のために意図されたとおりに生きる, つまり地上のパラダイスで永久に生きる, という見込みを持てるのです。塔10 4/15 2:15, 17, 18

7月1日, 日曜日

王国と神の義をいつも第一に求めなさい。—マタ 6:33。

神の義を第一に求めるとは, どうすることでしょうか。簡単に言えば, 神に喜んでいただくために神のご意志を行なう, ということです。神の義を求めることには, 自分の価値規準ではなく神の完全な価値規準に従って生きるよう努めることも含まれます。(ロマ 12:2) この生き方には, エホバとの関係そのものがかかわっています。罰せられるのが怖いので神の律法に従う, ということではありません。そうではなく, 神に対する愛ゆえに, 独自の規準を定めるのではなく神の規準を支持することにより, 神に喜んでいただけるよう努力するのです。わたしたちが自ら認めるとおり, これこそ行なうべき正しい事柄, まさにわたしたち人間の造りにかなった事柄です。わたしたちは, 神の王国の王イエス・キリストと同じように, 義を愛さなければなりません。(ヘブ 1:8, 9) 神の義を第一に求めるなら, エホバとの調和の取れた関係を保つことができ, その関係がまさしくわたしたちの救いにつながるのです。—ロマ 3:23, 24。塔10 10/15 2:3, 4

7月2日, 月曜日

金(は)身の守りである。—伝 7:12。

神の言葉は, お金を大切にするように, しかし愛さないように, と勧めています。(テモ一 6:9, 10)「賢い者は聴いて, さらに多くの教訓を取り入れ, 理解のある者は巧みな指導を得る人である」とソロモンは書いています。(箴 1:5) ですから, お金を上手に管理できるようになりましょう。そうしないと, 衝動買いをしたり友達の注意を引くためにお金を使ったりして, すぐに負債を抱えてしまいかねません。お金の使い方の点で, 自分を訓練する必要があります。お金を稼いで管理するのは,生活の重要な一面です。とはいえイエスは, 真の幸福を得るのは「自分の霊的な必要を自覚している」人たちであると言いました。(マタ 5:3) そして,「富の欺きの力」などによって霊的な事柄に対する関心がふさがれてしまいかねないことを警告しました。(マル 4:19) それで, 神の言葉を導きとし, お金に対するバランスの取れた見方を保つのは, 本当に大切です。塔10 11/15 1:11-14

7月3日, 火曜日

わたしはあなた方にわたしの霊をほとばしり出させ……よう。—箴 1:23。

何の努力もしなくても神の活動する力を与えていただけると期待できるでしょうか。できません。神の活動力を祈り求めるとともに, 神の霊感による言葉で自分を勤勉に養わなければなりません。(箴 2:1-6) 加えて, 神の霊がとどまっているクリスチャン会衆の集会に定期的に出席することにより, わたしたちは「霊が諸会衆に述べることを聞き」たいという気持ちを表わせます。(啓 3:6) さらに, 学んだ事柄に謙遜にこたえ応じなければなりません。神は,「支配者としてのご自分に従う者たちに」聖霊を与えてくださるのです。(使徒 5:32) 一つ一つの割り当てを心をこめて行ないましょう。成功を求めていつでもエホバに頼りましょう。(マル 11:23, 24) その際,『だれでも探している者は見いだす』ことを確信してください。(マタ 7:8) 霊によって油そそがれた人たちは, 天で「命の冠」という祝福を受けます。(ヤコ 1:12) キリストの「ほかの羊」は, キリストの次の言葉を聞いて喜ぶことになります。「さあ, わたしの父に祝福された者たちよ, ……あなた方のために備えられている王国を受け継ぎなさい」。—ヨハ 10:16。マタ 25:34。塔10 9/15 1:16, 18

7月4日, 水曜日

あなた方はみな,互いに対してへりくだった思いを身に着けなさい。—ペテ一 5:5。

会衆内の任命された男子は, 神の羊の群れに接する際, 立派な特質を示します。ローマ 12章10節には,「兄弟愛のうちに互いに対する優しい愛情を抱きなさい。互いを敬う点で率先しなさい」と述べられています。長老や奉仕の僕は, 他の人たちを敬います。会衆内の他のクリスチャンと同じように,「何事も闘争心や自己本位の気持ちからするのではなく, むしろ, 他の人が自分より上であると考えてへりくだった思いを持(つ)」必要があります。(フィリ 2:3) 指導の任に当たっている人たちは, 他の人が自分より上である, とみなすべきです。そうするとき, パウロの次の助言に従っていることになります。「ですが, わたしたち強い者は, 強くない者の弱いところを担うべきであって, 自分を喜ばせていてはなりません。わたしたちは各々, 築き上げるのに良い事柄によって隣人を喜ばせましょう。キリストでさえ自分を喜ばせることはされませんでした」。—ロマ 15:1-3。塔10 5/15 1:13, 14

7月5日，木曜日

無価値なものを見ないよう，わたしの目を過ぎ行かせてください。—詩 119:37。

視覚は本当に貴重です。わたしたちは視覚を通して，美しさ，創造の驚異，神の存在と栄光の証拠を認識します。(詩 8:3, 4; 19:1, 2; 104:24。ロマ 1:20) そして視覚は，情報を脳に伝達する極めて重要な経路として，エホバについての知識を得てその方への信仰を築くうえで大きな役割を果たしています。(ヨシュ 1:8。詩 1:2, 3) とはいえ，目にするものがわたしたちの害となる場合もあります。視覚は思いと密接に結び付いているので，目で見るものによって，心に願望や欲望が生じたり，それが強くなったりします。わたしたちは，悪魔サタンの支配する堕落した利己的な世にいるので，ちらっと見るだけでも迷わされかねない画像や宣伝に頻繁にさらされています。(ヨハ一 5:19) 詩編作者が，今日の聖句の言葉に表わされているとおり，自分を助けてくださるように神に懇願したのも当然です。塔10 4/15 3:1, 2

7月6日，金曜日

わたしのなすままにし，わたしの怒りが彼らに対して燃え，わたしが彼らを滅ぼし絶やすにまかせよ。そして，あなたを大いなる国民となさせよ。—出 32:10。

エホバはしたいと**思っている**事柄を言い表わされましたが，それは最終的判断ではありませんでした。実のところ，この時エホバは，モーセを試しておられたのです。モーセはこれを機にエホバに，イスラエルのことは忘れてモーセ自身の子孫から強大な国民を作るよう勧めるでしょうか。モーセの返答は，エホバの公正さに対する信仰と信頼を明らかにするものでした。また，利己的な関心ではなく，エホバのみ名に対する気遣いを示すものでした。モーセは，み名の誉れに傷がつくことを望まなかったのです。その返答によって，自分がその件に関する「エホバの思い」を理解していることを示しました。(コリ一 2:16) 結果はどうなったでしょうか。エホバは特定の行動を取ることを固く思い定めていたわけではないので，『悔やまれるようになり』ました。ヘブライ語でこの表現は，エホバが国民全体のうえに，下したいと**思っている**と述べた災いを下さなかった，という意味にすぎません。—出 32:11-14。塔10 10/15 1:13, 15, 16

7月7日，土曜日

神の言葉は生きていて，力を及ぼ(す)。—ヘブ 4:12。

クリスチャン会衆は，汚れた習わしから身を清めるよう多くの人を助けてきました。使徒パウロは，コリントの会衆にあてた最初の手紙の中で，その地の人々が神の規準に沿って生きるように変化を遂げてクリスチャンになったことを褒めました。一部の人は，かつては淫行の者，偶像を礼拝する者，姦淫をする者，同性愛者，盗む者，大酒飲みなどでした。それらの人にパウロは，「しかし，あなた方は洗われて清くなったのです」と語りました。(コリ一 6:9-11) 信仰のない人々は，健全な指針を持っていません。自分勝手な生き方をするか，世間一般のように道徳規準のない生き方をするだけでしょう。古代のコリント会衆の一部の人たちも，信者となる前はそうでした。(エフェ 4:14) しかし，神の言葉と目的に関する正確な知識には，聖書の教えを当てはめる人すべての生活を良い方に変革する力があります。—コロ 3:5-10。塔10 6/15 1:16, 17

7月8日，日曜日

言い訳をして拒むことのないようにしなさい。―ヘブ 12:25。

神から与えられた責任を受け入れることを「言い訳をして」拒む傾向に対するこの警告は，今日のクリスチャンにも当てはまります。わたしたちは，クリスチャンの責任を軽く考えたり神への奉仕に対する熱意を弱めたりはすまいと決意している必要があります。（ヘブ 10：39）神聖な奉仕をささげるかどうかは，生死にかかわるのです。（テモ一 4：16）神への責務を果たすことを言い訳をして拒んだりしないために，何が助けになるでしょうか。そうした傾向と闘う重要な方法の一つは，献身の誓いの意味を定期的に思い巡らすことです。わたしたちは，神のご意志を行なうことを生活の中で第一にするとエホバに約束しており，その約束を守りたいと思っています。（マタ 16：24）ですから，時おり立ち止まってこう自問する必要があります。『神への献身にふさわしく生きるという自分の決意はバプテスマを受けた時と同じほど強いものだろうか。それとも，時たつうちに幾らか熱意が薄れてしまっただろうか』。塔10 4/15 4：5-7

7月9日，月曜日

あなたの家に対する全き熱心がわたしを食い尽くし……ました。―詩 69:9。

ダビデの詩編の「熱心」という語は，聖書の他の部分でしばしば「ねたむ」や「ねたみ」と訳されるヘブライ語から来ています。「新世界訳」では，「全き専心を要求する」と訳されている場合もあります。（出 20：5；34：14。ヨシュ 24：19）ある聖書辞典はこの語についてこう述べています。「結婚関係に関連してよく使われる。……夫や妻のねたみが独占権の強力な主張であるように，神は，ご自分だけの所有物である人たちに対する権利を主張し，立証なさる」。ですから，聖書的な意味での熱心とは，例えばスポーツファンが示すような，ある事柄への熱意や意気込み以上のものです。ダビデの熱心は良い意味でのねたみでした。対抗するものや非難を容認しないこと，良い名を守ったりそしりを取り除いたりしようとする衝動だったのです。塔10 12/15 1：8，10

7月10日，火曜日

わたし(は)もはや何の不足もないまでにあなた方の上に祝福を注ぎ出す。―マラ 3:10。

エホバは，生活を楽しめる者として人間を創造なさいました。そしてあなたの幸福を願っておられます。（伝 11:9）多くの若い人が経験しているのは「罪の一時的な楽しみ」に過ぎないことを忘れてはなりません。（ヘブ 11：25）まことの神は，あなたがそれよりはるかに勝ったものを得ることを願っておられます。永遠の幸福を願っておられるのです。ですから，神の目から見て悪いと分かっている事柄を行なうよう誘われる時には，長期的に見ればエホバの求めておられる事柄が必ず自分の最善の益になるということを思い起こしてください。若者として理解しておくべきことがあります。仲間に認めてもらえたとしても，何年もたったらほとんどの人はあなたの名前も覚えていないでしょう。対照的に，仲間の圧力に抵抗するなら，エホバはそれに目を留め，あなたのこともあなたの忠実さも決してお忘れになりません。さらに，あなたに足りないところがあるとしても，聖霊を寛大に与えて補ってくださいます。塔10 11/15 2：18，19

7月11日, 水曜日

あなた(は)心を調べられる方で(す)。—代一 29:17。

ダビデとバテ・シバとの姦淫に関する記述を考えてみてください。(サム二 11:2-5) モーセの律法によれば, 二人は処刑されて当然でした。(レビ 20:10。申 22:22) エホバは, 二人を罰しましたが, ご自分の律法を執行されませんでした。それはエホバが不公平だったということでしょうか。ダビデにえこひいきして, ご自身の義なる規準に反することをされたのでしょうか。姦淫に関するこの律法は, 心を読めない不完全な裁き人にエホバがお与えになったものでした。裁き人は, 能力に限界はあったものの, その律法に基づいて一貫した裁きを行なうことができました。一方, エホバは心を読むことができます。ですから, 不完全な裁き人のために設けた律法にエホバご自身も縛られる, と考えるべきではありません。エホバはダビデとバテ・シバの心を読んで, 二人の真の悔い改めを知ることができました。そのような要素を考慮に入れて, それに応じた憐れみ深い, 愛ある裁きを下されたのです。塔10 10/15 2:16, 17

7月12日, 木曜日

キリスト(は)あなた方のために苦しみを受け, あなた方がその歩みにしっかり付いて来るよう手本を残された。—ペテ一 2:21。

エホバは, 話し方にはっきりした制限を設けることによって会衆でも家庭でも敬意と一致を促進するように, と教えておられます。こうあります。「腐ったことばをあなた方の口から出さないようにしなさい。……すべて悪意のある苦々しさ, 怒り, 憤り, わめき, ののしりのことばを, あらゆる悪と共にあなた方から除き去りなさい」。(エフェ 4:29, 31) 侮辱的な言葉を避ける一つの方法は, 他の人に対していっそう敬意ある態度を身に着けることです。例えば, 妻に対してののしりのことばを発する夫は, 妻に対する態度を変化させるよう努力すべきです。特に, エホバがどのように女性に誉れを与えておられるかを学び, そうすべきです。神は, 女性たちにも聖霊で油をそそぎ, キリストと共に王として支配する見込みを与えておられます。(ガラ 3:28。ペテ一 3:7) また, 夫に対していつもわめく妻は, イエスが刺激された時にどのように自分を制したかを学び, 変化しようとの思いを持つべきです。—ペテ一 2:22, 23。塔10 9/15 3:13

7月13日, 金曜日

父よ, み名の栄光をお示しください。—ヨハ 12:28。

イエスは, 犠牲の死を遂げる時が近づくにつれ, 担っている責任の重さをますます意識するようになりました。み父の目的が達成されてその名誉が保たれるかどうかは, 自分が不公正な裁判にかけられて残酷な方法で殺されるのを耐えるかどうかにかかっていたのです。イエスは死ぬ五日前に, こう祈りました。「今わたしの魂は騒ぎます。何と言えばよいのでしょう。父よ, わたしをこの時から救い出してください。しかしやはり, わたしはこのゆえにこの時に至ったのです」。しかし, そのように人間として自然な感情を吐露したあとは, 自分のことを二の次にして, より重要な事柄に注意を向け, 今日の聖句の言葉を述べました。エホバは, すぐそれにこたえて,「わたしはすでにその栄光を示し, さらにまたその栄光を示す」と言われました。(ヨハ 12:27, 28) イエスは, それまでだれも直面したことのないほど大きな忠誠の試練を進んで受けようとしていましたが, 天の父の言葉を聞いて,『自分は首尾よくエホバの義を大いなるものとし, その主権を擁護できる』と強く確信したに違いありません。そして確かに, そのとおりに成し遂げました。塔10 8/15 1:14

7月14日, 土曜日

あなた方は, 聖なる行状と敬虔な専心のうちに, エホバの日の臨在を待ち, それをしっかりと思いに留める者となるべきではありませんか。—ペテ二 3:11, 12。

忠実な奴隷級とその統治体は, こうした真剣な勧めの言葉に, 決して無頓着になったりはしません。実のところ,『主人は遅れている』との結論を下すのは,「よこしまな奴隷」です。(マタ 24:48) そのよこしまな奴隷は, ペテロ第二 3章3, 4節で描写されている人々に含まれます。ペテロによれば,『終わりの日にはあざける者たちがやって来ます』。その者たちは「自分の欲望のままに」進み, 従順な態度でエホバの日をしっかりと思いに留めている人たちをあざけります。自分自身に, また自分の利己的な欲望に注意を集中するのです。わたしたちは決してそのような不従順で危険な態度を取らないようにしましょう。そして,『わたしたちの主の辛抱を救いと考える』ようでありたいものです。そう考えていることを, 王国を宣べ伝えて人々を弟子とする業に励むことにより, また事を起こすエホバ神のご予定の時について過度に思い煩わないことにより, 示してゆきましょう。—ペテ二 3:15。使徒 1:6, 7。塔10 7/15 1:15, 16

7月15日, 日曜日

まことの主がその神殿に……来る。そして……契約の使者が。—マラ 3:1。

エホバとイエスは, 霊的な神殿を検分するために来られた時, 忠実な油そそがれたクリスチャンが最善を尽くして信仰の家の者たちに時宜にかなった霊的食物を供給しているのをご覧になりました。彼らは1879年以来, 良い時も悪い時も,「ものみの塔」誌を用いて神の王国に関する聖書的な真理を広め続けていたのです。イエス自ら予告したように, イエスは「事物の体制の終結」の間に召使いたちを検分するために「到着し」,『時に応じた食物』を供給している奴隷を見つけることになっていました。そして, その奴隷のことを幸いな者と言い,「彼を任命して[地上における]自分のすべての持ち物をつかさどらせる」ことになっていました。(マタ 24:3, 45-47) キリストはクリスチャン会衆の頭として, この「忠実で思慮深い奴隷」を用い, 地上における王国の関心事を管理しています。統治体によって, 油そそがれた「召使いたち」と仲間の「ほかの羊」のために指示を与えています。—ヨハ 10:16。塔10 9/15 5:2, 4

7月16日, 月曜日

安心してあなたの家に上って行きなさい。ご覧なさい, わたしはあなたの声を聴き入れたので, あなたの身を考慮してあげよう。—サム一 25:35。

ダビデ王は復しゅうする機会が何度もありましたが, そうしませんでした。(サム一 24:3-7) しかし, ある時, 怒りに完全に負けそうになりました。ダビデの部下たちが, ナバルという富んだ人の羊の群れと羊飼いたちを守ったにもかかわらず, ナバルからののしられます。ダビデは, とりわけ部下のことで感情を傷つけられたのでしょう。暴力でやり返そうとします。ダビデと部下がナバルと家の者を襲いに行く間に, 若者がナバルの思慮深い妻アビガイルに, 起きたことを知らせ, 行動を促します。アビガイルは即座に多くの贈り物を用意し, ダビデに会いに行きます。ナバルの不遜な態度を謙遜に謝罪し, ダビデが持つエホバへの恐れに訴えます。ダビデは本心に立ち返り, こう言います。『この日にわたしが血の罪に陥るのを思いとどまらせたあなたがほめたたえられるように』。—サム一 25:2-34。塔10 6/15 3:9

7月17日，火曜日

あなた方の中に知恵の欠けた人がいるなら，その人は神に求めつづけなさい。神はすべての人に寛大に，またとがめることなく与えてくださるのです。そのようにすれば，それは与えられます。―ヤコ 1:5。

霊感によるこの言葉を信じていますか。あるクリスチャンの男子は，会衆内での責任を果たせるだけの知恵がないと考えるかもしれません。そうであれば，神の言葉および聖書に基づく出版物をいっそう勤勉に研究することによって知恵を得られるでしょう。『神の言葉を研究する時間を取り分けているだろうか。知恵を祈り求めているだろうか』と自問できます。神はソロモンの祈りにこたえて，「賢くて理解のある心」をお与えになり，ソロモンは，裁きを下す時に善悪をわきまえることができました。（王一 3:7-14）確かにソロモンの例は特別です。とはいえ，会衆の責任をゆだねられた男子が羊をふさわしく世話できるよう神が知恵を与えてくださる，ということを確信できます。―箴 2:6。塔10 5/15 3:12

7月18日，水曜日

わたしのある限りわたしの神に調べを奏でます。―詩 146:2。

ダビデは若い時に，ベツレヘムの近くの野で，父の羊の群れを見守りながら膨大な時間を過ごしました。羊の番をする間，満天の星空，「原野にいる獣」，「天の鳥」など，エホバの壮大な創造のみ業を観察することができました。ダビデは見たものに大いに心を動かされ，驚嘆すべき物の造り主を賛美する感動的な歌を作ります。ダビデの作った多くの詩が，詩編に収められています。（詩 8:3，4，7-9）神を恐れる人ダビデは演奏も作詞作曲も行ない，彼が作った歌は時の試練を耐え抜いています。考えてみてください。ダビデが生まれてから3,000年以上たつ今日，様々な背景を持つ世界中の大勢の人が常々，ダビデの詩編から慰めと希望を得ているのです。―代二 7:6。詩 34:7，8；139:2-8。アモ 6:5。塔10 12/15 4:1，2

7月19日，木曜日

主権者なる主エホバのもとに，わたしは自分の避難所を置きました。―詩 73:28。

主権とは，力や支配における至上性のことです。主権者は至上の権威を行使します。エホバ神を至上者と見るべき十分の理由があります。（ダニ 7:22）創造者であるエホバ神は，地球と全宇宙の主権者です。（啓 4:11）また，わたしたちの裁き主，法令授与者，王です。宇宙政府の司法，立法，行政を統御しておられるのです。（イザ 33:22）わたしたちは，自分の存在を神に負っており，神に依存しているので，神を主権者なる主と見るべきです。次の点を常に銘記しているなら，エホバの高い地位を擁護しようと思うでしょう。「エホバ自ら天にその王座を堅く立てられた。その王権はすべてのものの上に支配を行なった」。（詩 103:19。使徒 4:24）エホバの主権を支持するには，エホバへの忠誠を保たなければなりません。塔10 11/15 4:4-6

7月20日, 金曜日

互いを敬う点で率先しなさい。
—ロマ 12:10。

信仰の仲間に敬意を示す方法はいろいろあります。例えば, 仲間のために時間を割くときには, 相手に関心を払う必要もあります。エホバはこの点で手本を示しておられます。「エホバの目は義なる者たちに向けられ, その耳は助けを求める彼らの叫びに向けられる」と, 詩編作者ダビデは述べています。(詩 34:15) わたしたちは, 兄弟たちに, また特に助けを求めて近づいて来た人に, 目と耳を向ける, つまり十分な関心を払うことにより, エホバに倣うよう努力します。そうすることによって, 相手に敬意を示すのです。わたしたちはまた, 立場の低い人たちをも含め, すべての人に自分のほうから敬意を払う機会を目ざとくとらえたい, とも思います。そのようにすれば, 会衆内の兄弟愛と一致の絆を強めることができます。ですから, わたしたちすべては, 互いを敬うことだけでなく, 特に, 敬う点で**率先する**ことを続けてゆきましょう。あなたは, そうすることを心に決めていますか。塔10 10/15 3:2, 19, 20

7月21日, 土曜日

自分のために, よい時を買い取りなさい。
—コロ 4:5。

現在の状況ゆえに, 宣教に費やせる時間が限られているとしても, 産出性を高めることによっていっそう携わることができます。毎週の奉仕会で与えられる実際的な提案を注意深く当てはめるなら, 宣べ伝える技術を磨き, 新たな証言の機会を見つけることができます。(テモ二 2:15) また可能であれば, 予定を調整したり不必要な活動を削ったりして, 会衆の野外奉仕の取り決めを定期的に支持できるかもしれません。勤勉さは感謝に満ちた心から生まれる, ということを忘れてはなりません。(詩 40:8) ですからわたしたちは, エホバとの温かな関係を培い, 保つ必要があります。時間を取り分けて, 愛, 辛抱, 憐れみなど, エホバの魅力的な特質について研究し黙想しましょう。そうするなら, 神への奉仕において最善を尽くすよう心を動かされるでしょう。—ルカ 6:45。フィリ 1:9-11。塔10 7/15 3:12, 13

7月22日, 日曜日

わたしたちはまたあなた方に懇願します。神の過分のご親切を受けながらその目的を逸することがないようにしてください。
—コリ二 6:1。

神の過分のご親切の目的は, キリストによって『世をご自分と和解させる』ことです。(コリ二 5:19) わたしたちは, 今が「神と和解してください」という懇願を鳴り響かせるよういっそう熱心に励む時であることを認識しているでしょうか。(コリ二 5:20) わたしたちの務めは, 神に頼るならどんな問題でも助けが得られて気持ちが楽になるということを伝えるだけではありません。多くの人はそのことだけを求めて教会に行き, 教会はその願いを満たそうとしています。(テモ二 4:3, 4) それはわたしたちの宣教奉仕の目指すところではありません。わたしたちの伝える良いたよりとは, エホバが愛に動かされ, キリストによって罪過を進んで許してくださるということです。それで, 個々の人は, 神から疎外された状態を抜け出し, 神と和解することができます。(ロマ 5:10; 8:32) とはいえ, 「特に受け入れられる時」は尽きようとしています。—コリ二 6:2。塔10 12/15 2:13-15

7月23日，月曜日

我が子よ，賢くあって，わたしの心を歓ばせよ。わたしを嘲弄している者にわたしが返答するためである。—箴 27:11。

若い人たちは，進んで行なう心をもってエホバに仕えていることを行状によって示せます。エホバは，道徳的な清さを保つ若者を祝福されます。（詩 24:3-5）今の世には，パウロが述べたように，自分を愛する人や，ごう慢な人，親に不従順な人，感謝しない人，忠節でない人，粗暴な人，誇りのために思い上がる人，神を愛するより快楽を愛する人などがあふれています。（テモ二 3:1-5）ですから，こうした邪悪な環境の中にいながら模範的な行状を保つことは，非常に難しい場合があります。しかし，正しいことをし，不敬虔なことを退けるたびに，あなたは宇宙主権の論争でエホバの側にいることを実証できます。（ヨブ 2:3，4）さらに，エホバが是認してくださっていると思うと，エホバにお仕えしようという意欲も燃え立ちます。塔10 4/15 1:14，15

7月24日，火曜日

二人は一体となる。—エフェ 5:31。

エホバは，夫たちが忠節な態度で妻に堅く付き，常に愛ある親切を示すことを期待しておられます。それで夫は，人前で妻の落ち度を明かしたり，妻をけなしたりしません。むしろ，喜んで褒めます。（箴 31:28）二人の間に摩擦が生じていても，愛ある親切に促されて自分の舌を制し，妻に恥をかかせるようなことは言いません。妻も，愛ある親切によって自分の舌を制御するべきです。世の霊に影響された，物の言い方をしてはなりません。「夫に対して深い敬意」を持っている妻は，人前で夫のことを良く言い，夫に対する他の人の敬意が深まるようにします。（エフェ 5:33）父親に対する子どもたちの敬意を薄れさせたいとは思わないので，子どもの前で夫に逆らったり夫の意見に異議を唱えたりはしません。「真に賢い女は自分の家を築き上げた」と聖書は述べています。（箴 14:1）その家は，家族みんなにとって心地よい安らぎの場になります。塔10 8/15 3:11，12

7月25日，水曜日

わたしたちはみな何度もつまずくのです。—ヤコ 3:2。

家族や愛する霊的な兄弟姉妹も，最善を尽くしていても，時おり，傷つくようなことを口に出すかもしれません。すぐに腹を立てるのではなく，辛抱強くあって，なぜそんなことを言ったのかを分析しましょう。（伝 7:8，9）緊張や不安を感じていたり，具合が悪かったり，何らかの問題と闘っていたりしたのでしょうか。わたしたちは，こうした要素を認識すれば，なぜ人々がすべきでないことをしたり言ったりするのかが理解でき，快く許すよう動かされるでしょう。わたしたちのだれもが，他の人を傷つける言動をしたことがあり，慈しみ深く許してもらうことを願います。（伝 7:21，22）イエスは，神の許しを受けるには他の人を許さなければ**ならない**，と言いました。（マタ 6:14，15；18:21，22，35）それゆえ，すぐに謝り，すぐに許すべきです。そのようにして，家庭や会衆で，「結合の完全なきずな」である愛を保つのです。—コロ 3:14。塔10 6/15 4:20，21

7月26日, 木曜日

もし, わたしが……やもめの目を衰えさせたのなら, また, わたしのわずかばかりのものを独りで食べるのを常とし, 一方, 父なし子がそれを食べなかったなら……, わたしのこの肩甲骨がその肩から落ち……るように。—ヨブ 31:16, 17, 22。

今日の聖句にある詩的な表現から, 弟子ヤコブの次の言葉を思い起こすかもしれません。「わたしたちの神また父から見て清く, 汚れのない崇拝の方式はこうです。すなわち, 孤児ややもめをその患難のときに世話すること……です」。(ヤコ 1:27) イエスの次の警告も思い出すかもしれません。「じっと見張っていて, あらゆる強欲に警戒しなさい。満ちあふれるほどに豊かであっても,人の命はその所有している物からは生じないからです」。イエスはこの後で, 強欲な富んだ人の例えを語りました。その人は「神に対して富んでいない者」として死にました。(ルカ 12:15-21) 忠誠を保つ人となるには, 罪深い強欲や貪欲に屈してはなりません。強欲は偶像礼拝です。貪欲な人が慕い求める対象物は, エホバから注意をそらせて偶像となるからです。(コロ 3:5) 忠誠と貪欲とは相いれません。塔10 11/15 5:10, 11

7月27日, 金曜日

神はアブラハムの祝福をあなたに……与えて……くださるであろう。—創 28:4。

ヤコブは, アブラハムに対する神の約束がどのように実現するかを知りませんでしたが, 祖父の子孫をエホバが大いに殖やし, 彼らが大いなる国民となる, ということを信じていました。それで西暦前1781年, 妻を見つけにハランに向かいます。ただ共に楽しめる伴侶を見つけようとしていたのではありません。エホバの崇拝者である霊的な思いを持つ女性を探しました。ヤコブがふさわしい妻を見つけるために払った努力は, エホバの約束に対する確信の表われだったのです。ヤコブは, 家族を世話するための富を求めていたのではありません。彼の思いは自分が受け継いだものに向けられていました。エホバのご意志が成し遂げられることに焦点が合っていたのです。ヤコブは, 障害があっても神の祝福を得るためにできることを何でもする決意を持っていました。そして, その態度を晩年まで保ち, エホバに祝福されました。—創 32:24-29。塔10 9/15 1:8-10

7月28日, 土曜日

神の憤りは, ……あらゆる不敬虔……に対して,天から表わし示されている。—ロマ 1:18。

個々の人がサタンの支配下から抜け出して神の恵みのもとに入るにはもう遅すぎるでしょうか。いいえ,そのようなことはありません。エホバと和解する機会の扉は, まだ大きく開かれています。油そそがれたクリスチャンが,「キリストの代理をする大使」として, 先頭に立って公の宣教奉仕を行ない, すべての国の民に,「神と和解してください」と懇願しているからです。(コリ二 5:20, 21) 使徒パウロは, イエスが「来たらんとする憤りからわたしたちを救い出してくださる」と述べました。(テサ一 1:10) 罪を悔い改めない人々は, エホバの怒りが最終的に表明される時に, 永遠の滅びを被ります。(テサ二 1:6-9) その滅びをだれが免れるかについて, 聖書にはこう述べられています。「み子に信仰を働かせる者は永遠の命を持っている」。(ヨハ 3:36) そうです, この体制が終わる時に生きていて,イエスと贖いに信仰を働かせている人は皆, 神の憤りが最終的に臨む日に, 滅びを免れることができるのです。塔10 8/15 2:5-7

7月29日, 日曜日

祈りを聞かれる方よ, あなたのもとに, すべての肉なる者は来るのです。—詩 65:2。

イスラエルが神の契約の民であった時代でさえ, エホバの神殿に来る異国の人々は, 祈りによってエホバに近づくことができました。(王一 8:41, 42) 神は不公平な方ではありません。神のおきてを守り行なう人には, 神に祈りを聞いていただけるとの保証があります。(箴 15:8)「すべての肉なる者」の中に若い皆さんも含まれていることは, 言うまでもありません。ご存じのように, 真の友情の基盤となるのは, 十分な意思の疎通です。きっとあなたも, 親友には自分の考えや関心事や気持ちを話すでしょう。それと同じように, 心からの祈りをささげて, 偉大な創造者と意思を通わせることができます。(フィリ 4:6, 7) 自分の心の内を, 愛情深い親あるいは親友に打ち明けるかのように, エホバに話しかけてください。実際, “どのように祈るか” と “エホバについてどう感じているか” とには, 密接な関係があります。あなたがエホバの友となり, その関係が強くなればなるほど, 祈りもいっそう意味深いものになるはずです。塔10 4/15 1:10, 11

7月30日, 月曜日

あなたは……まさに神についての知識をも見いだすことであろう。—箴 2:5。

晩の家族の崇拝の時に, 何を研究していますか。聖書を読んで, 疑問を感じた聖句について調べ, 聖書に簡潔に書き込む人もいます。学んだ点を家族でどう当てはめられるかを考える家族も少なくありません。家族の頭の中には, 家族で考慮する必要があると思う資料や, 取り上げてほしいと家族から言われた論題や疑問点を扱った資料を用いる人もいます。イエスは, 霊が助け手としての役割を果たすと言いました。ですから, 神の言葉のより深い真理の研究を避けようとしてはなりません。そうした真理の数々は, 貴重な「神についての知識」の一部であり, わたしたちはそうした真理を究めるよう促されています。(箴 2:1-5) それは,「神がご自分を愛する者たちのために備えられた事柄」について多くを明らかにしています。エホバの言葉についてさらに学ぶ努力を払うなら, 聖霊が助けてくれます。「霊がすべての事, 神の奥深い事柄までも究めるのです」。—コリ一 2:9, 10。塔10 7/15 4:17, 18

7月31日, 火曜日

すべての男の頭はキリスト……です。—コリ一 11:3。

クリスチャン会衆内のすべての人, 特に男性は, キリストの特質に倣うよう絶えず努力するべきです。キリストが自分の頭であるまことの神に見倣ったのと同じく, クリスチャンの男子は自分たちの頭であるキリストに倣うよう努めるべきです。使徒パウロは, クリスチャンになるとすぐにそうしました。そして, 仲間のクリスチャンに,「わたしがキリストに見倣う者であるように, わたしに見倣う者となりなさい」と勧めました。(コリ一 11:1) また, 使徒ペテロもこう述べています。「あなた方はこうした道に召されたのです。キリストでさえあなた方のために苦しみを受け, あなた方がその歩みにしっかり付いて来るよう手本を残されたからです」。(ペテ一 2:21) キリストに倣うようにという勧めは, 男性にとって, さらに別の理由でも特に関心を引かれる事柄です。長老や奉仕の僕になるのは男性だからです。イエスがエホバに見倣うことを喜びとしたのと同じく, クリスチャンの男子は, キリストとその特質に倣うことを喜びとするべきなのです。塔10 5/15 1:11

8月1日, 水曜日

全地を裁く方は正しいことを行なわれるのではありませんか。―創 18:25。

エホバの側に不公平があると思える場合は, 聖書の記述を読んでいる時であれ, 自分自身がそのような経験をしている時であれ, 決して義に関する自分の規準で神を裁くことがないようにしましょう。わたしたちはいつでも事実すべてを把握しているわけではなく, ゆがんだ見方や狭い見方をしているかもしれない,ということを覚えておきましょう。「人の憤りは神の義の実践とはならない」ということを忘れてはなりません。(ヤコ 1:19, 20) そうすれば, わたしたちの心が「エホバご自身に向かって激怒する」ことはないでしょう。(箴 19:3) イエスと同じようにわたしたちも, 何が義にかなっていて良いことかに関する規準を定める権利を持っているのはエホバだけである, ということを常に認めましょう。(マル 10:17, 18) 神の規準に関する「正確な知識」を得るように努めましょう。(ロマ 10:2。テモ二 3:7) わたしたちは, 神の規準を受け入れて自分の生活をエホバのご意志に合わせることにより,「神の義」を第一に求めていることを示すのです。―マタ 6:33。塔10 10/15 2:17-19

8月2日, 木曜日

我が子よ, 賢くあって, わたしの心を歓ばせよ。―箴 27:11。

学校や仕事場にいる時は, 霊的な防備を固めているでしょう。潜んでいる霊的な危険に注意深くなっています。リラックスして警戒心を緩めている時こそ, 道徳規準に対する攻撃を受けやすくなります。独りでいる時でもエホバに従おうという思いを持つべきなのはなぜですか。忘れないでください。あなたは, エホバに痛みを覚えさせることもできれば, エホバの心を歓ばせることもできます。(創 6:5, 6) あなたの行動はエホバに影響を与えます。『あなたを顧みておられる』からです。(ペテ一 5:7) エホバは, あなたがご自分に聴き従って自分を益することを願っておられます。(イザ 48:17, 18) 古代イスラエルのエホバの僕の中には, 神の助言を無視して神に痛みを与えた人もいました。(詩 78:40, 41) 一方, エホバは預言者ダニエルに深い愛情をお感じになりました。み使いはダニエルを「大いに望ましい人」と呼んでいます。(ダニ 10:11) なぜでしょうか。ダニエルは, 公の場にいる時だけでなく独りの時にも神への忠節を保ったからです。―ダニ 6:10。塔10 11/15 1:15, 16

8月3日, 金曜日

わたしは大きな会衆の中であなたをたたえます。―詩 35:18。

かつてクリスチャン会衆を自ら離れ, 今では離れたことを非常に後悔している人もいます。ある姉妹がそうです。ここではターニャと呼ぶことにしましょう。ターニャは「真理のうちに育てられました」が, 16歳のときに会衆を離れて「世の魅惑的なものを追い求めました」。その結果, 望んではいなかったのに妊娠してしまい, 中絶しました。今ではこう言っています。「会衆から離れて過ごした3年間に, わたしの感情には, 消えることのない醜い傷が付きました。お腹の赤ちゃんを殺してしまったという事実が, 絶えず脳裏をよぎります。……わたしは, ほんのしばらくの間だけ世を“味わう”ことができればと思っている若い人すべてに,『だめ!』と言いたいです。初めのうちは良い味がするとしても, 後ですごく苦い味になるのです。世から得られるものと言えば, 惨めさしかありません。わたしは知っています。それを味わったからです。エホバの組織にとどまってください。幸福になれる生き方はそれしかありません」。塔10 6/15 1:18, 19

8月4日，土曜日

聖霊があなた方の上に到来するときにあなた方は力を受け……るでしょう。―使徒 1:8。

イエスは，自分の命じた事柄すべてを弟子たちが自分たちの力で守り行なうことはできない，と分かっていました。宣べ伝える任務の大きさ，敵対者たちの強さ，人間の肉の弱さを考えると，人間を超えた力が必要なことは明らかでした。それでイエスは，昇天の直前，神から力を受けられることを弟子たちに保証し，こう付け加えました。「あなた方は，エルサレムでも，ユダヤとサマリアの全土でも，また地の最も遠い所にまで，わたしの証人となるでしょう」。この約束は，西暦33年のペンテコステの日に成就し始めます。イエス・キリストの追随者は，宣べ伝える業でエルサレムを満たせるよう聖霊によって力を与えられます。どんな反対もその業を止めることはできませんでした。（使徒 4:20）イエスの忠実な追随者は，わたしたちも含め，「事物の体制の終結の時までいつの日も」，神が与えてくださるその強さを切に必要とします。―マタ 28:20。塔11 1/15 4:1, 2

8月5日，日曜日

わたしに聴き従う者は安らかに住み，災いの怖れによってかき乱されることはない。―箴 1:33。

明日がどうなるかはだれにも分かりません。「時と予見しえない出来事」はすべての人に臨むからです。（伝 9:11）とはいえ，わたしたちは，明日のことが不確かだからといって思いの平安を奪われたりはしません。神との温かな関係から来る安心感を抱いていない人たちは，そういうことがよくあるのです。（マタ 6:34。フィリ 4:6, 7）目前に迫った「エホバの憤怒の日」に，サタンの世が信頼を寄せているものはみな崩れ去ります。金や銀などの貴重な品は少しも安全をもたらしません。（ゼパ 1:18。箴 11:4）避難所となるのは唯一，「定めのない時に至る岩」である方だけです。（イザ 26:4）ですから，今，エホバへの全幅の信頼を表わしましょう。エホバの義の道を従順に歩み，無関心や反対に直面しても王国の音信をふれ告げ，思い煩いをすべて神にゆだねるのです。塔11 3/15 2:17, 20

8月6日，月曜日

その木(は)目に慕わしいもので……あった。―創 3:6。

禁じられた実を食べたいというエバの気持ちが強くなったのは，「見て，その木が食物として良く，……眺めて好ましいもの」であるのを知った時でした。エバはその木を慕わしいものとして見たため，神の命令に背くことになりました。夫のアダムも背き，全人類に悲惨な結果がもたらされます。（創 2:17；3:2-6。ロマ 5:12。ヤコ 1:14, 15）ノアの時代，一部のみ使いたちも，見たものに影響されました。彼らについて，創世記 6章2節にはこう述べられています。「まことの神の子らは人の娘たちを見，その器量の良いことに気づくようになった。そして彼らは自分たちのために妻を，すべて自分の選ぶところの者をめとっていった」。この反逆的なみ使いたちは，人の娘たちをみだらな思いで見つめたため，人間と性関係を持ちたいという不自然な欲望を抱きました。そして，暴力的な子孫をもうけました。人の悪の結果として，ノアとその家族を除く当時の人すべてが滅びました。―創 6:4-7, 11, 12。塔10 4/15 3:3, 4

8月7日，火曜日

キリストの持たれる愛がわたしたちに迫るのです。―コリ二 5:14。

キリストは，神のご意志に沿って自分の命をわたしたちのためになげうつことによって，愛を示してくださいました。その愛は卓越しているので，わたしたちは認識が深まるにつれ，心を強く動かされます。パウロはキリストの愛に大いに感化されました。キリストの愛ゆえに，利己的な行動を控え，会衆の内外で神と人々に仕えることに注意を集中できたのです。キリストが人々に抱く愛について黙想すると，感謝の気持ちが沸き起こります。その結果，利己的な目標を追い求めておもに自分を喜ばせる生き方をし，『肉のためにまき』つづけるのは，全くふさわしくないということに気づきます。それゆえ，事情を調整し，神から与えられた業を第一にするようになります。愛の気持ちで兄弟たちに『奴隷として仕える』よう動かされます。（ガラ 5:13）自分のことを，エホバに献身した僕たちのために謙遜に働く奴隷と見ているなら，兄弟たちの尊厳を重んじ，敬意を示すでしょう。塔10 5/15 3:13, 14

8月8日，水曜日

成し遂げられた！ ―ヨハ 19:30。

イエスは，バプテスマを受けてから死ぬまでの3年半の間に，神の助けを得て，実に偉大な事柄を成し遂げることができました。死んだ時には，激しい地震が起き，処刑を担当していたローマの士官は心を動かされて，「確かにこれは神の子であった」と言いました。（マタ 27:54）その士官は，イエスが神の子だと言ったことであざけられるのを見ていたものと思われます。イエスは，そうした苦しみを受けたにもかかわらず，忠誠を保ち，サタンがひどいうそつきであることを証明しました。サタンは，神の主権を支持する人すべてに関して，「人は誰でも自分のいのちを護るためなら，持ち物すべてを差し出します」と主張していたのです。（ヨブ 2:4，「岩波版旧約聖書」，旧約聖書翻訳委員会）イエスは忠実を保つことによって，それよりはるかに簡単な試練を受けたアダムとエバも，忠実を実証しようと思えばできたはずだ，ということを示しました。そして何よりも，地上で生まれて死ぬことによって，エホバの主権の義を擁護し，大いなるものとしました。―箴 27:11。塔10 8/15 1:15

8月9日，木曜日

体は一つであっても多くの肢体に分かれており，また体の肢体は多くあっても，その全部が一つの体を成しますが，キリストもそれと同じなのです。―コリ一 12:12。

エホバは，人間を相互に依存するものとして創造なさいました。人の外見，性格，能力は本当に多種多様です。さらにエホバは，最初の人間に敬虔な特質を授け，互いに協力し依存し合うことができるようにしました。（創 1:27; 2:18）とはいえ，人類の世一般は神から疎外されており，全体として一致して行動できたことがありません。（ヨハ一 5:19）それで，1世紀のクリスチャン会衆が，エフェソス人奴隷，著名なギリシャ人女性，教育のあるユダヤ人男性，偶像を崇拝していた人など，様々な人から成っていたことを考えると，そうした人々の一致は奇跡のように思えたに違いありません。（使徒 13:1; 17:4。テサ一 1:9。テモ一 6:1）人々は真の崇拝によって，体の肢体と同じように調和よく協働することができます。―コリ一 12:13。塔10 9/15 2:2, 3

8月10日，金曜日

わたしの打撃の仕方は空を打つようなものではありません。—コリ一 9:26。

よく知らない山道を歩くとしたら，地図とコンパスを持って行きたいと思うことでしょう。地図があれば，現在地を確認し，進路を考えることができます。コンパスがあれば，正しい方角に進めます。とはいえ，自分がどこに向かうのかを知らなければ，地図もコンパスもほとんど役に立ちません。あてどもなくさまよわないためには，明確な目的地が必要です。大人へと成長する時にも，同様の状況に直面します。信頼できる地図も，コンパスもあります。聖書という地図によって，どの道を選んだらよいかを知ることができます。（箴 3:5，6）良心は，きちんと訓練されていれば，正しい道を歩み続けるうえで大きな助けになります。（ロマ 2:15）コンパスの役目を果たすのです。とはいえ，人生を成功させるには，自分がどこに向かうのかを知っている必要があります。明確な目標が必要です。塔10 11/15 3:1，2

8月11日，土曜日

自分に力を与えてくださる方のおかげで，わたしは一切の事に対して強くなっているのです。—フィリ 4:13。

正直に自己吟味して，幾らか手を緩めていることが分かったなら，預言者ゼパニヤが語った次の力づける言葉を思い起こすのはよいことです。「あなたの手を垂れ下がらせてはいけない。あなたの神エホバがあなたの中におられる。強大な方であり，救いを施してくださる。歓びを抱いてあなたのことを歓喜される」。（ゼパ 3:16，17）励みとなるこの言葉は，もともと，バビロン捕囚からエルサレムに帰還した古代イスラエル人に向けて語られたものです。とはいえ，この保証の言葉は，今日の神の民にも当てはまります。わたしたちが行なっているのはエホバの業なので，神から与えられた責任を十分に果たせるようエホバとみ子が支えて強めてくださる，ということを思いに留めるべきです。（マタ 28:20）熱意をもって神の業を行ない続けるよう努力するなら，神はわたしたちを祝福し，霊的に前進してゆけるよう助けてくださいます。塔10 4/15 4:8

8月12日，日曜日

神に仕えても無駄なことだ。そして，神への務めを守ったからといって，……何の益があるだろうか。—マラ 3:14。

今日，多くの人は同じように結論しています。物質的な欲望に欺かれて，神の目的は達成できず，神の律法はもはや適用できないという見方をしているのです。その人たちにとって，良いたよりを宣べ伝えることは時間の浪費であり，いら立ちの原因です。こうした考え方の背後にある大きな力は，エデンの園の時から存在していました。エホバが与えてくださった素晴らしい命の真の価値とエホバの是認を軽視するようエバをけしかけたのは，サタンでした。今日，サタンは，神のご意志を行なっても何も得るものはないと人々に信じ込ませようとしています。しかし，エバとその夫が気づいたように，神の恵みを失うことは命を失うことを意味します。いま二人の悪い手本に従う人は，間もなく同じ苦い真実を悟ることになります。—創 3:1-7，17-19。塔11 2/15 2:18，19

8月13日, 月曜日

エホバの大いなる日は近い。—ゼパ 1:14。

現在, 人類の生存を脅かすあらしが近づいています。比喩的な『あらしの日』です。この「エホバの大いなる日」はすべての人に影響を及ぼしますが, 必要な避難所を見いだすことができます。(ゼパ 1:15-18) エホバの日は, 地上の偽りの宗教体制すべての滅びをもって始まります。どのように避難できるかについて, 古代の神の民の歴史の中に答えを見いだせます。西暦前607年のエルサレムに対するエホバの大いなる日によって暗示されていたように, 現代の背教したキリスト教世界に裁きが臨みます。さらに, 偽りの宗教の世界帝国である「大いなるバビロン」の他の部分が滅ぼされます。その後, サタンの邪悪な事物の体制の残りの部分が絶滅させられます。しかし, 神の民はグループとして生き残ります。エホバのもとに避難しているからです。—啓 7:14; 18:2, 8; 19:19-21。塔11 1/15 1:2, 3, 5

8月14日, 火曜日

わたしたちは皆, 一時は自分の肉の欲望にしたがって生活し, 肉と考えとの欲するところを行なって, ほかの人々と同じく生まれながらに憤りの子供でした。—エフェ 2:3。

悪から遠ざかることは, 思いの中から始まります。(ロマ 8:5) では, どうすれば, 悪い考えを退けようとの決意を強められるでしょうか。五つの方法を挙げましょう。1. 祈りによって神の助けを求める。(マタ 6:9,13) 2. エホバに聴き従わなかった人と聴き従った人に関する聖書中の例を黙想する。そして, どんな結果になったかに注目する。(コリ一 10:8-11) 3. 罪が自分と家族とにもたらしかねない精神的また感情的な害についてよく考える。4. ご自分の僕が由々しい罪に陥った時に神がどうお感じになるかを思い巡らす。(詩 78:40, 41) 5. 忠節な崇拝者が人前でも独りの時でも悪を退けて正しいことを行なう時にエホバの心がどれほど喜びで満たされるかを想像する。(詩 15:1, 2。箴 27:11) あなたもエホバへの信頼を示せます。塔11 3/15 2:6

8月15日, 水曜日

人の洞察力は確かにその怒りを遅くする。—箴 19:11。

仲間のクリスチャン,特に会衆内で特権を与えられている人が, 無思慮なことを言ったりクリスチャンらしくない行動を取ったりすると, 傷ついたり怒りを覚えたりすることもあるでしょう。『エホバの民の間でどうしてこんなことが起きるのだろう』と思うかもしれません。でも, そうした事柄は使徒たちの時代の油そそがれたクリスチャンたちの間でも起きました。(ガラ 2:11-14; 5:15。ヤコ 3:14, 15) そのような事態に直面したら,どう反応すべきでしょうか。ある姉妹はこう述べています。「自分の感情を傷つける人のために祈るようになりました。それはいつでも助けになります」。エホバは, ご自分の地上の僕たちが仲良くやってゆくことを願っておられます。わたしたちは, 永遠に平和と幸福のうちに共に生きる時を待ち望んでおり, エホバは, 現在そうするよう教えておられます。わたしたちが協力して神の偉大な業を行なうことを願っておられます。ですから, 問題を解決するか違犯をただ「ゆるす」かして共に前進しましょう。問題が起きた時に兄弟たちから遠のくのではなく, 神の民の間にとどまれるよう助け合うべきです。—申 33:27。塔10 6/15 3:12, 13

8月16日, 木曜日

ユダヤにいる者は山に逃げはじめなさい。—ルカ 21:21。

西暦66年にローマの軍隊がユダヤに侵入すると, 忠実なクリスチャンたちは, イエスの訓戒に従ってエルサレムの都から即刻逃げ去りました。(ルカ 21:20-23) エホバは決してご自分の忠節な者たちをお見捨てにならない, ということを知っていたのです。(詩 55:22) わたしたちも, エホバに全幅の信頼を置いていなければなりません。現在の体制が人類史上最大の患難に遭遇する時にわたしたちの救いとなってくださるのは, エホバだけだからです。大患難が始まって, エホバが世の残りの部分に裁きを執行する前のある時点で, 人々は「人の住む地に臨もうとする事柄への恐れと予想から気を失います」。神に敵対する者たちは恐れおののきますが, エホバの忠節な僕たちは恐れたりしません。それどころか, 自分たちの救出が近づいていることを知っているので歓びます。—ルカ 21:25-28。塔10 7/15 1:17, 18

8月17日, 金曜日

その人は自分の望むことを行ないなさい。—コリ一 7:36。

今日, 会衆の多くの若者が, 独身ゆえに「気を散らすことなく絶えず主に仕えられる」ことを理解しています。(コリ一 7:35) これは, 本当に利点です。開拓奉仕, 王国伝道者の必要が大きな所での奉仕, 外国語の習得, 王国会館や支部の建設の援助, 独身の兄弟のための聖書学校への出席, ベテル奉仕など, 様々な機会があります。まだ若くて結婚していないなら, その機会を最大限に生かしていますか。ほとんどの若い人がいずれは結婚したいと思うとしても, 急いで結婚しないほうがよい十分の理由があります。パウロは若者たちに, 性的な欲求が非常に強くなる「若さの盛り」を過ぎるまでは待つよう勧めています。自分自身を理解し, ふさわしい相手を選ぶのに必要な人生経験を積むには, 時間がかかります。結婚の誓いをするというのは, 重大な決定であり, 生涯続くべきものです。—伝 5:2-5。塔11 1/15 3:9, 11

8月18日, 土曜日

恐れてはならない。わたしはあなたと共にいるからである。周りを見回すな。わたしはあなたの神だからである。わたしはあなたを強くする。わたしはあなたを本当に助ける。わたしはわたしの義の右手であなたを本当にしっかりととらえておく。—イザ 41:10。

真のクリスチャンは戦っています。敵は強く, こうかつで, 戦い慣れしています。非常に効果的な武器を意のままに用いて, 人類の大多数を従わせてきました。しかし, わたしたちは, 無力だと感じたり勝ち目はないと思ったりする必要はありません。わたしたちには, どんな攻撃をも防ぎ止めることのできる強力な武具があります。この戦いは文字どおりのものではなく, 霊的なものです。敵は悪魔サタンで, その主な武器は「世の霊」です。(コリ一 2:12) わたしたちの主要な防御用の武具は, 神の霊です。この戦いを生き残り, 霊的に活発であり続けるには, 神の霊を求め, 生活の中で霊の実を表わす必要があります。—ガラ 5:22, 23。塔11 3/15 1:1, 2

8月19日, 日曜日

刈り取る時が来(ました)。地の収穫物はすっかり熟しているのです。—啓 14:15。

ヨハネに与えられた幻の成就として,イエスは世界的な収穫の業を行なってきました。「地の収穫物」の刈り入れは,イエスのたとえ話の「小麦」である14万4,000人の「王国の子たち」のうちの残っている者たちを集めることから始まりました。(マタ 13:24-30,36-41) 真のクリスチャンと偽りのクリスチャンの違いは, 第一次世界大戦後にいっそう明白になりました。そのことは,「地の収穫物」の刈り入れの第2の部分, つまりほかの羊を集め入れることに寄与しています。それらの人々は,「王国の子たち」ではなく, その王国の進んで従う臣民の「大群衆」です。「もろもろの民, 国たみ, もろもろの言語の者」から収穫され,メシア王国に服しています。その王国は, キリスト・イエス, およびその天の政府でキリストと共になる14万4,000人の「聖なる者たち」から成ります。—啓 7:9, 10。ダニ 7:13, 14, 18。塔10 9/15 5:5, 7

8月20日, 月曜日

義なる者の父は必ず喜びに満ち, 賢い者の父となる者もその子を歓ぶ。—箴 23:24。

エホバの世界的な組織に属するわたしたちは皆, 真の崇拝に加わっている幾十万人もの熱心な若者たちを見て, 感動しています。それら若い人たちは, 聖書を毎日読み, 祈り, 神のご意志に調和した行状を保つことにより, エホバを崇拝しようという意欲を燃え立たせています。そうした模範的な若者たちは, 親にとっても, エホバの民すべてにとっても, さわやかな存在です。(箴 23:25) 勇気をもって聖書の原則に付き従う, 今日の若い皆さんは, 心の正直な人がエホバを知るためのきっかけになれるかもしれません。将来, 忠実な若者たちは, 神の約束しておられる新しい世に入る人々の中にいることでしょう。(啓 7:9, 14) そしてその新しい世では, 数えきれないほどの祝福を経験してエホバへの感謝の念を深くし, 定めのない時までもエホバを賛美することができるのです。—詩 148:12, 13。塔10 4/15 1:16-18

8月21日, 火曜日

憤り, 怒り, 悪, ののしりのことば, またあなた方の口から出る卑わいなことばを, ことごとく捨て去りなさい。—コロ 3:8。

夫婦は, 家に自分たちだけでいる時でも, 互いに敬意を抱いていることが分かるような物の言い方をしなければなりません。子どもたちは, いつも愛のある親切な言葉を聞いていると, 健やかに育つだけでなく, 親の話し方に倣うようになることでしょう。詩編作者はエホバに呼びかけて,「あなたの愛ある親切が, どうか, **わたしを慰める**ものとなりますように」と書きました。(詩 119:76) エホバはご自分の民を慰め, 支える際に, 説き勧めて導くという際立った方法をお用いになります。(詩 119:105) 家族の頭は, 世話をゆだねられている人たちを, 天の父の手本に倣ってどのように慰め, 支えることができるでしょうか。必要な導きや励ましを与えることによってです。そのような霊的に大切なものを与えるうえで, 晩の家族の崇拝のひとときは, なんと良い機会なのでしょう。—箴 24:4。塔10 8/15 3:13, 14

8月22日, 水曜日

夫たちよ, 同じように, 知識にしたがって妻と共に住み, 弱い器である女性としてこれに誉れを配しなさい。―ペテ一 3:7。

人に誉れを配するとは, その人を大いに尊重するということです。そのような人の意見や, 必要としている事柄, また欲求であれば, それを考慮して, 拒むべきもっともな理由がない限り,受け入れることでしょう。夫は妻に, そのように接するべきなのです。ペテロは,『妻に誉れを配しなさい』と夫に告げた時,「そうするのは, あなた方の祈りが妨げられないためです」という警告を付け加えています。その言葉は, 妻に対する夫の接し方をエホバがどれほど重く見ておられるかをはっきり示しています。妻に誉れを配さないなら, 祈りが妨げられることにもなりかねないのです。それに, 妻は大抵, 夫から尊ばれることに良い反応を示すのではないでしょうか。神の言葉には, 妻を愛することに関して, 次のような助言が記されています。「夫は自分の体のように妻を愛すべきです」。―エフェ 5:28。塔10 5/15 1:15-17

8月23日, 木曜日

あなた方が集まるとき, ……すべては築き上げることを目ざして行ないなさい。―コリ一 14:26。

『本当にいい集会だった!』王国会館での集会に出席して, そのような感想を口にしたことはありませんか。きっとあるでしょう。会衆の集会では,確かに励まされます。それも当然です。初期クリスチャンの時代と同様, 今日でも, 集会を開く重要な目的は, 出席者全員を霊的に強めることにあるからです。使徒パウロが強調しているのは, 会衆の集会での教えはすべて同じ目標をもって,すなわち,「会衆を**築き上げる**」ことを目ざして行なわれるべきである, ということです。(コリ一 14:3, 12) 集会が人を築き上げる啓発的なものとなるのは, まず第一に神の霊の働きによります。それゆえに,会衆のどの集会も, エホバに心からの祈りをささげることによって始めます。天の父に, その集いを聖霊によって祝福してくださるよう願い求めるのです。塔10 10/15 4:1, 2

8月24日, 金曜日

人は自分の魂のためなら, 持っているすべてのものを与えます。―ヨブ 2:4。

約6,000年前,ある霊の被造物がエホバの主権の正当性に挑戦しました。その反逆者の言動の根底には, 崇拝されたいという利己的な欲望がありました。神の主権に不忠節になるよう最初の人間夫婦アダムとエバを唆すとともに, エホバがうそをついていると主張してエホバのみ名を汚そうとしました。(創 3:1-5) その反逆者は, 大敵対者, サタン(抵抗者), 悪魔(中傷する者), 蛇(欺く者), 龍(むさぼり食う者)となりました。(啓 12:9) サタンは, うそをついてアダムとエバを神に背かせることにより, 人類に従順を求めるエホバの権利に疑問を投げかけました。さらに, 最初の人間夫婦を唆して神に不従順にならせることにより,理知ある被造物すべての忠節にも疑問を投げかけました。エホバの主権に忠節な人ヨブの場合に明らかになったように, サタンは, すべての人を神に背かせることができると主張しました。塔10 11/15 4:7, 9

8月25日, 土曜日

エホバがわたしをあなた方のもとに遣わされた。—出 3:15。

モーセは, 幼いころに両親から受けた訓練によって, エジプト人の行なっていた偶像崇拝の愚かさを悟ることができたようです。(出 32:8) エジプトの教育や王室での物質的な華やかさゆえに真の崇拝を捨てたりはしませんでした。父祖たちに対する神の約束を深く思い巡らしたに違いありません。神のご意志を行なう用意ができていることを示したいとの強い願いを抱いていました。時たつうちに, モーセは何度も失望を経験します。それでも, エホバを尊ぶ機会に目ざとくあり, 仲間のイスラエル人がそうするよう心から励ましました。(申 31:1-8) なぜでしょうか。エホバのみ名と主権を自分の名よりも愛していたからです。(出 32:10-13。民 14:11-16) わたしたちも, 失望や挫折を経験しても, 神の支配権を支持し続けなければなりません。神の物事の行ない方は他のどんな方法よりも賢明で, 義にかない, 優れているということを確信して, そうするのです。(イザ 55:8-11。エレ 10:23) あなたもそう確信していますか。塔11 3/15 3:13, 15

8月26日, 日曜日

惑わしの言葉を信頼してはならない。—エレ 7:4。

イスラエル人の中には, 神殿について, 敵から保護してくれるお守りのように考える人がいました。(エレ 7:1-4) それ以前にもイスラエル人は, 契約の箱を, 戦いで保護してくれるお守りのようにみなしました。(サム一 4:3, 10, 11) コンスタンティヌス大帝は, 戦いで兵士が保護されることを願って,「キリスト」という称号の最初の2文字, つまりギリシャ語のキーとローを, 兵士の盾に描きました。また, 三十年戦争を戦ったスウェーデン王グスタフ・アドルフ2世は, イエホワ(Iehova)という名がはっきり記されている武具を身に着けたと考えられています。神の民の中で悪霊の攻撃を受ける人が, エホバのみ名を呼ぶことによってエホバのもとに避難することはあります。とはいえ, 神のみ名の記された物品にまるで保護する魔力があるかのように, そうした物をお守りと考えたり, 日常生活でお守りのように用いたりすべきではありません。そうすることは, エホバの名に避け所を得ることではありません。塔11 1/15 1:14, 15

8月27日, 月曜日

あなたはエホバに無上の喜びを見いだ(す)。—イザ 58:14。

エホバはイスラエル国民に次のようにお命じになりました。「六日の間あなたは自分の仕事をする。しかし七日目にはそれを行なわない。あなたの牛やろばが休み, あなたの女奴隷の子や外人居留者が身をさわやかにするためである」。(出 23:12) 愛あるエホバは律法下の人たちへの配慮から, 休みの日の取り決めを設け, ご自分の民が「身をさわやかに」できるようにされたのです。安息日は単なるくつろぎの日だったのでしょうか。そうではありません。それはエホバに対するイスラエル人の崇拝の不可欠な部分でした。安息日を守ることによって, 家族の頭は,『エホバの道を守って義を行なう』よう家族を教える時間を持てました。(創 18:19) また, 家族や友人が集まって, エホバのみ業について深く考え, 喜ばしい交友を持つことができました。さらに重要な点として, 安息日は, キリストの千年統治を通して真のさわやかさがもたらされる時を預言的に指し示すものでした。—ロマ 8:21。塔10 6/15 5:1, 2

8月28日，火曜日

あなた方は聖なる者でなければならない。わたしは聖なる者だからである。—ペテ一 1:16。

わたしたちは，いわば洗われて清くなる手段を講じることにより，この重要な要求を満たせます。どうすれば清められるのでしょうか。神の真理の言葉の助けを得ることです。神の真理の言葉は，清めをもたらす水に例えられています。例えば，使徒パウロは，油そそがれたクリスチャンの会衆が神から見て清いということを書きました。その会衆はキリストにとって貞潔な花嫁のようであり，キリストはその会衆が「神聖できずのないものとなる」よう，「み言葉による水の洗いをもって」清めました。（エフェ 5:25-27）イエスも，自分がふれ告げた神の言葉の清める力について語っていました。弟子たちに，「あなた方は，わたしが話した言葉のゆえにすでに清いのです」と述べています。（ヨハ 15:3）ですから，神の言葉の真理には，道徳的また霊的に清める力があります。神の真理によってこのように清められて初めて，わたしたちの崇拝は神に受け入れられるのです。塔10 7/15 3:14，15

8月29日，水曜日

怒りやすい者は口論をかき立てる。すぐに激怒する者は多くの違犯をおかす。—箴 29:22。

怒りは互いに結びついている人を引き離しかねません。怒りは火のようです。容易に制御不能になり，災いを引き起こします。不満を表わすのがもっともな場合でも，貴重な関係を損なわないように，注意深く怒りを制御しなければなりません。クリスチャンは，恨みを宿したり事を言い立てたりするのではなく，進んで許すよう努めるべきです。（詩 37:8；103:8，9。箴 17:9）パウロはエフェソス人に次のように忠告しています。「憤っても，罪を犯してはなりません。あなた方が怒り立ったまま日が沈むことのないようにしなさい。悪魔にすきを与えてもなりません」。（エフェ 4:26，27）怒りを制御しないなら，会衆に不一致や争いの種をまく機会を悪魔に与えてしまうのです。塔10 9/15 3:14

8月30日，木曜日

もしわたしがわたしを激しく憎む者の消滅を歓ぶのを常とし，または，害悪が彼を見いだしたゆえに興奮を覚えたなら ― そしてわたしは自分の上あごに罪を犯すことを許さなかった。彼の魂に不利な誓いを求めることによって。—ヨブ 31:29，30。

ヨブは悪意を抱いたり残酷だったりしませんでした。そうした特性は忠誠の欠如を示すものであることを知っていました。廉直なヨブは，自分を憎む人に災いが臨んでも決して歓んだりしませんでした。後代の箴言は次のような警告を与えています。「あなたの敵が倒れるとき，歓んではならない。彼がつまずくとき，あなたの心が喜ぶことのないように。エホバがご覧になって，それがその目に悪となり，み怒りをその者から引き戻すことのないためである」。（箴 24:17，18）エホバは心を読めるので，わたしたちが他の人の災いをひそかに歓んでいるかどうかをご存じであり，そうした態度を決して是認なさいません。（箴 17:5）神はわたしたちをしかるべく扱われるでしょう。「復しゅうはわたしのもの，また応報を加えることも」と言っておられます。—申 32:35。塔10 11/15 5:14，15

8月31日，金曜日

［彼らは］重い荷をくくって人の肩に載せます。―マタ 23:4。

今日の宗教的な状況は，イエスの時代より悪くはないとしても，大して変わりません。一つの点として，イエスが祈り求めるよう追随者たちに教えた最初の事柄は，神のみ名に関することでした。「あなたのお名前が神聖なものとされますように」という祈りです。（マタ 6:9）宗教指導者，特にキリスト教世界の僧職者は人々に，神をその名によって知るよう，またみ名を神聖にし，尊ぶよう教えているでしょうか。いいえ，それどころか彼らは，三位一体，人間の魂の不滅，地獄の火などの偽りの教えによって神を偽り伝え，神を謎めいた理解しがたい方，非情で残虐な方であるかのように見せています。さらに，自分たちの醜聞や偽善によって神に非難をもたらしています。（ロマ 2:21-24）そして，あらゆる手を尽くして神の固有の名を隠し，聖書翻訳からそれを取り除くことまでしています。このようにして，人々が神に近づいて個人的な関係を培うのを妨げているのです。―ヤコ 4:7，8。塔10 12/15 1:11，12

9月1日，土曜日

［エホバ］は疲れた者に力を与えておられる。活動力のない者にみなぎる偉力を豊かに与えてくださる。―イザ 40:29。

疲れている時や圧力を受けている時，ストレスに対処する方法は霊的な活動を削ることだ，などと考えてはなりません。それは，行ない得る最悪の事柄です。なぜでしょうか。個人や家族での聖書研究，野外奉仕，集会への出席は，活力を吹き込む聖霊を受ける手段だからです。クリスチャンの活動は常にさわやかさをもたらします。（マタ 11:28，29）集会に来る時には疲れ切っていた兄弟姉妹が，家に帰る時には，新たなエネルギーを得て，霊的な電池を充電されたかのようになっているというのは，よくあることではないでしょうか。もちろん，キリストの弟子であるという荷は全く重さがないわけではありません。忠実なクリスチャンであるには努力が求められます。（マタ 16:24-26。ルカ 13:24）とはいえ，エホバは聖霊によって，疲れた者に強さを与えてくださいます。塔11 1/15 4:14，15

9月2日，日曜日

彼らはみな一様に言い訳をして断わり始めました。―ルカ 14:18。

神の民は皆，ルカ 14章16-21節にあるイエスのたとえ話から教訓を学べます。どんな教訓でしょうか。わたしたちは，イエスの例えに出てきたような個人的な事柄を重視しすぎて，神への奉仕が脇に押しやられるということが決してあってはなりません。個人的な事柄をふさわしい位置にとどめておかないなら，徐々に宣教への熱意が弱まってしまいます。（ルカ 8:14）わたしたちは，そうならないよう，「王国と神の義をいつも第一に求めなさい」というイエスの訓戒に沿って生活します。（マタ 6:33）神の僕たちが老いも若きもこの肝要な助言を当てはめているのを見ると，励まされるのではないでしょうか。実際，生活を簡素にして宣教により多くの時間を充てられるようにした人も少なくありません。それらの人は，熱心に王国を第一に求めるなら真の幸福と大きな満足が得られることを経験しています。塔10 4/15 4:9，10

9月3日，月曜日

あなた方一人一人も，それぞれ自分を愛するように妻を愛しなさい。―エフェ 5:33。

夫はどれほど妻を愛するべきでしょうか。パウロはこう書いています。「夫たちよ，妻を愛し続けなさい。キリストが会衆を愛し，そのためにご自分を引き渡されたのと同じようにです」。（エフェ 5:25）そうです，夫は，キリストが他の人々のために命をなげうったのと同じように，妻のために自分の命をさえなげうつつもりでいるべきなのです。クリスチャンである夫が妻を，無私の気持ちで，優しく扱い，思いやり，いたわるなら，妻は頭の権に一層服しやすくなります。妻にそのように誉れを配するべきであると言うのは，夫に対する過大な要求でしょうか。いいえ，エホバが夫に，能力以上の行ないをお求めになることはありません。それに，エホバを崇拝する人は，宇宙内で最も強い力，すなわち神の聖霊を得ることができます。夫は祈りの中で，自分が妻や他の人に接する際にエホバが聖霊によって助けてくださるよう，お願いすることができます。―使徒 5:32。塔10 5/15 1:17, 18

9月4日，火曜日

互いに慰め，互いに築き上げることを……続けてゆきなさい。―テサ一 5:11。

わたしたちは，クリスチャン会衆の一員であるゆえに，本当に大きな祝福を得ています。例えば，エホバとの良い関係を享受しています。み言葉を指針として信頼するゆえに，キリスト教精神に反する生き方の悪い結果を身に招かないよう守られています。また，力になってくれる真の友に囲まれています。そうです，祝福は数多くあるのです。とはいえ会衆内のほとんどの人は，いろいろな問題を抱えています。神の言葉のより深い事柄を理解できるよう助けてもらう必要のある人もいれば，病気の人や憂いに沈んでいる人もいることでしょう。あるいは，愚かな決定をした結果に苦しんでいる人もいるかもしれません。それに，わたしたちは皆，不敬虔な世で生活しなければなりません。仲間のクリスチャンが苦悩したり苦労したりするのを見たいと思う人はいません。使徒パウロは会衆を人体になぞらえて，『一つの肢体が苦しめば，ほかのすべての肢体が共に苦しむ』と言いました。（コリ一 12:12, 26）それで，兄弟姉妹が苦しんでいる場合，わたしたちはその人を支えるよう努めるべきです。塔10 6/15 2:1, 2

9月5日，水曜日

善良な人は自分の心の良い宝の中から良いものを取り出し，邪悪な人は自分の邪悪な宝の中から邪悪なものを取り出します。心に満ちあふれているものの中から人の口は語るからです。―ルカ 6:45。

自分独りの時に神への忠節を保つには，「知覚力」を培って「正しいことも悪いことも見分けられるように」なり，そして，正しいと知っている事柄に沿って行動し，「使うことによって」，その力を訓練しなければなりません。（ヘブ 5:14）例えば，聴く音楽，見る映画，アクセスするサイトを選ぶ際，正しいことを選んで悪いことを避けるうえで，次のように自問するのは助けになります。『これは，優しい同情心を示すよう促すものだろうか。それとも，「他人の災難」を歓ぶよう唆すものだろうか』。（箴 17:5）『「善を愛する」助けになるだろうか。それとも，「悪を憎む」ことを難しくさせるだろうか』。（アモ 5:15）独りでいる時の行動によって，あなたが何を宝のように大切にしているかが明らかになります。塔10 11/15 1:17

9月6日, 木曜日

わたし(は)思い出させるためにあなた方を奮い立たせるのは正しいことであると思います。—ペテ二 1:13。

使徒ペテロが霊感による第二の手紙を書いた時, クリスチャン会衆はすでに多くの迫害を耐え忍んでいましたが, そのために熱意が薄れたり成長が鈍ったりすることはありませんでした。それで悪魔は, 別の戦術, すなわち以前に何度も成功した戦術を用いました。ペテロが明らかにしたとおり, サタンは,「姦淫に満ちた目」と「強欲さの面で鍛えられた心」を持つ偽教師たちによって神の民を腐敗させようとしたのです。(ペテ二 2:1-3, 14。ユダ 4) それゆえに, ペテロの第二の手紙は, 忠実を保つよう心から勧めるものとなっています。ペテロは自分の与える時宜にかなった諭しが語り継がれることを願っていました。(ペテ二 1:15) その願いどおり, それらの諭しは聖書の一部となり, 今日のわたしたちのだれもが読めるものとなりました。わたしたちにとってペテロの第二の手紙の3章は特に関心のあるところです。その章にはおもに, 現在の事物の体制の「終わりの日」と比喩的な天と地の滅びのことが書かれているからです。—ペテ二 3:3, 7, 10。塔10 7/15 2:1, 2

9月7日, 金曜日

神の聖霊を悲しませることのないようにしなさい。—エフェ 4:30。

クリスチャン会衆の一致は, 皆が神への愛に動かされて他の人に愛をもって接することの結果です。わたしたちは, エホバの親切に対する感謝を動機として, 次の助言を適用するよう真剣な努力を払います。「必要に応じ, どんなことにせよ築き上げるのに良いことばを出して, 聞く人たちに恵みとなるようにしなさい。……互いに親切にし, 優しい同情心を示し, 神がキリストによって惜しみなく許してくださったように, あなた方も互いに惜しみなく許し合いなさい」。(エフェ 4:29, 32) エホバは, わたしたち不完全な人間を親切に許してくださっています。わたしたちも, 他の人の不完全さを目にする時, 同じように許すべきではないでしょうか。神の民の一致はエホバの栄光となります。エホバの霊は, 一致を促進するよう様々な仕方でわたしたちを動かします。霊の導きに抵抗したいとは決して思いません。一致は守る価値のある宝です。それを享受しているすべての人に喜びをもたらし, エホバに栄光をもたらします。塔10 9/15 3:16, 17

9月8日, 土曜日

わたしたちは, 初めにフィリピで苦しみに遭って不遜にあしらわれた後でしたが(あなた方が知っているとおりです), わたしたちの神によって大胆さを奮い起こし, 非常な苦闘の中であなた方に神の良いたよりを語ったのです。—テサ一 2:2。

反対や無関心など, 難しい状況に直面し, 時おり失意を感じるのは, 自然なことです。(コリ二 1:8) それでも, エレミヤのように, 宣べ伝え続けましょう。くじけてはなりません。わたしたち一人一人が神に祈願し, 神に頼り, 神からの助けを求めつつ「大胆さを奮い起こし」てゆけますように。わたしたちは真の崇拝者として, 引き続き, 神から与えられた責務に目覚めていなければなりません。キリスト教世界の滅びについてたゆみなく宣べ伝え続けるよう決意する必要があります。その滅びは不忠実なエルサレムの滅びによって予表されていました。エレミヤ級は,「エホバの側の善意の年」だけでなく「わたしたちの神の側の復しゅうの日」をも告げ知らせます。—イザ 61:1, 2。コリ二 6:2。塔11 3/15 4:11

9月9日，日曜日

主の奴隷は争う必要はありません。むしろ，すべての人に対して穏やかで(あることが必要です)。—テモ二 2:24。

サタンと悪霊たちは，幸福な家族や会衆を崩壊させようと働きかけています。内部での分裂が破壊的であることを知っており，仲たがいを生じさせようとします。(マタ 12:25) その邪悪な影響力に抵抗するために，パウロの上の助言に従うのは良いことです。わたしたちの闘いが「血肉に対するものではなく……邪悪な霊の勢力に対するもの」であることを忘れてはなりません。この闘いで勝利を収めるには，「平和の良いたよりの装備」を含め，霊の武具を身に着ける必要があります。(エフェ 6:12-18) 会衆外からは，エホバの敵たちが平和な民に激しい攻撃をしかけてきます。エホバの証人を身体的に痛めつける敵もいれば，メディアを通して，また法廷で，中傷する敵もいます。イエスは，そうした事柄を予期するよう追随者たちに告げました。(マタ 5:11, 12) わたしたちは，どう対応すべきでしょうか。言葉でも行動でも，決して「悪に悪を返してはなりません」。—ロマ 12:17。ペテ一 3:16。塔10 6/15 3:14, 15

9月10日，月曜日

神は……あなた方がそれを忍耐できるよう，……逃れ道を設けてくださるのです。—コリ一 10:13。

エホバの民は，誘惑，失意，迫害，仲間の圧力に面しても驚きません。この世は基本的にわたしたちに敵対しています。(ヨハ 15:17-19) とはいえ，聖霊は，わたしたちが神への奉仕において直面するどんな困難な状況をも乗り越えられるよう助けてくれます。エホバは，わたしたちが耐えられる以上に誘惑されるままにはなさいません。決してわたしたちを離れたり見捨てたりはされません。(ヘブ 13:5) 霊感による神の言葉に従順であれば，保護され，強められます。さらに神の霊は，わたしたちが最も助けを必要とする時にその助けを差し伸べるよう，仲間の信者を動かすこともできます。わたしたちは皆，祈りと聖書の研究を通して聖霊を求めてゆきましょう。これからも，「あらゆる力をもって神の栄光ある強大さのほどにまで強力にされ，十分に耐え忍ぶ者，また喜んで辛抱する者」として歩んでゆけますように。—コロ 1:11。塔11 1/15 5:18, 19

9月11日，火曜日

わたしの生まれた日はのろわれよ! —エレ 20:14。

多くの兄弟たちは，とりわけ忍耐が求められる区域で奉仕しています。預言者エレミヤもそうした状況で仕えました。ユダ王国の騒然とした終わりの日に奉仕したのです。神の裁きの音信を従順にふれ告げたために毎日信仰の試みに直面しました。忠節な書記官バルクが疲れ果てて不満を述べたこともありました。(エレ 45:2, 3) エレミヤは失意に屈してしまったでしょうか。確かに，落ち込んだ時もあります。「わたしはどうしてその胎から出て，骨折りと悲嘆を見ることになり，わたしの日はただ恥のうちに終わりを迎えなければならないのか」と言いました。(エレ 20:15, 18) しかし，エレミヤは奉仕をやめませんでした。エホバに依り頼み続けました。結果として，忠実な預言者エレミヤは，エホバご自身の次の言葉の成就を経験します。エレミヤ 17章7節にこうあります。「エホバに依り頼み，エホバがその確信のよりどころとなってくださった強健な者は祝福される」。塔11 3/15 2:7, 8

9月12日, 水曜日

神はわたしの答えるべき, わたしのような人間ではない。わたしたちが一緒に裁きに臨むべきわたしのような人間でもない。—ヨブ 9:32。

エホバを限界のある人間と同じようにみなして自分の規準や考えで裁く, ということを決してすべきではありません。わたしたちもヨブと同じように, エホバの思いを理解するようになると, 声を大にしてこう言わざるを得ません。「見よ, これらは神の道の外縁。何とかすかなささやき事が神について聞かされたのだろう。しかしその力のある雷についてはだれが理解力を示せようか」。(ヨブ 26:14) わたしたちは, 聖書を読んでいて, ある文章が理解しにくく思えたなら, またそれが特にエホバのお考えに関する事柄であるなら, どうすべきでしょうか。いろいろ調べても答えがはっきり分からない場合は, エホバを信頼しているかどうかを試されている時とみなせます。忘れないでください, 特定の記述を読んでいる時が, エホバの様々な特質に対する信仰を表明する機会となることもあるのです。わたしたちは神の行なわれる事柄をすべて理解できるわけではありません。そのことを謙遜に認めましょう。—伝 11:5。塔10 10/15 1:19, 20

9月13日, 木曜日

わたしの走り方は目標の不確かなものではありません。わたしの打撃の仕方は空を打つようなものではありません。—コリ一 9:26。

使徒パウロは, 目標を定めてその達成に向けて努力することの利点を短くまとめ, 上のように記しています。目標があれば, 確かな走りができます。崇拝, 仕事, 結婚, 家族などについて最善の決定ができます。選択肢が多すぎてどの道を行ったらよいか分からないと感じる時があるかもしれません。しかし, 前もって進路を考え, 神の言葉に収められた真理と原則に基づいて決定するなら, 間違った方向に向かう気にはならないでしょう。(テモ二 4:4, 5) 神を喜ばせたいとの願いに基づいて人生における選択をすべきなのは, なぜでしょうか。一つの理由として, エホバはあらゆる良いものを与えてくださっています。(ヤコ 1:17) 実のところ, すべての人がエホバに恩義があります。(啓 4:11) エホバを思いに留めて目標を定める以上に, 感謝を示す良い方法があるでしょうか。塔10 11/15 3:3, 5

9月14日, 金曜日

わたしはあなたの愛のゆえに多くの喜びと慰めを得たのです。—フィレ 7。

初期クリスチャンは, 互いに励ましたり愛のうちに築き上げたりすることによって大いに支えられました。(コリ一 16:17, 18。エフェ 4:11, 12, 16) テトスが兄弟たちに仕えるためにコリントに行った時のことについて,「彼の霊はあなた方すべてによってさわやかにされた」とパウロは書いています。(コリ二 7:13) 今日でも, エホバの証人は, クリスチャンどうしの築き上げる交友から真のさわやかさを得ています。あなたも, 会衆の集会から大きな喜びが得られることを経験しているでしょう。集会では,「各々互いの……信仰によって, 相互に励まし合う」ことができます。(ロマ 1:12) クリスチャンの兄弟姉妹は, 時々会って表面的な付き合いをするだけの単なる知り合いではありません。愛し尊敬する真の友です。わたしたちは, 集会に定期的に集まり合うことによって, 多くの喜びと慰めを得ています。塔10 6/15 5:3, 4

9月15日，土曜日

愚鈍な者たちの安易さが彼らを滅ぼすものとなる……。わたしに聴き従う者は安らかに住み，災いの怖れによってかき乱されることはない。―箴 1:32, 33。

わたしたちは今日，神の民が全体として享受している霊的安全の中に避難所を見いだしています。（詩 91:1）「忠実で思慮深い奴隷」と会衆の長老を通して，その安全を脅かしかねない世の傾向に注意を喚起されます。（マタ 24:45-47。イザ 32:1, 2）物質主義についてどれほど警告されてきたか，またそうした警告によって霊的な災いからどのように保護されてきたかを考えてみてください。のんきで安易な態度を持つようになることの危険については，どうでしょうか。そうした態度はエホバの奉仕における無活動につながりかねません。道徳的清さを保つよう努力することも，霊的安全を保つ助けになります。また，人の住む全地で王国の良いたよりを宣べ伝えなさいというイエスの命令に従うよう，忠実な奴隷から与えられる励ましについても考えてみてください。―マタ 24:14; 28:19, 20。塔11 1/15 1:16, 17

9月16日，日曜日

見よ，兄弟たちが一致のうちに共に住むのは何と良いことであろう。それは何と快いことであろう。―詩 133:1。

真のクリスチャンも不完全ですが，互いを愛することを学んでいるので，一致して共に崇拝します。エホバは，ほかのだれにもできない仕方で愛を教えておられます。（ヨハ一 4:7, 8）この一致が真の崇拝の際立った特色であることを，あなたも自分の経験を通して知っているのではないでしょうか。（ヨハ 13:35。コロ 3:14）真の崇拝者たちが一致している別の理由は，人類の唯一の希望として神の王国を待ち望んでいることです。神の王国が間もなく人間の政府に取って代わり，従順な人類に永続する真の平和をもたらす，ということを知っています。（イザ 11:4-9。ダニ 2:44）それでクリスチャンは，イエスが追随者について述べた次の点に留意します。「わたしが世のものではないのと同じように，彼らも世のものではありません」。（ヨハ 17:16）真のクリスチャンは世の争いにおいて中立を保ち，それゆえ，周囲の人々が戦争をしている時でさえ一致を享受できます。塔10 9/15 2:4-6

9月17日，月曜日

義にかなった者が……わたしを戒めるとしても，それは頭の上の油であり，わたしの頭はそれを拒もうとはしません。―詩 141:5。

聖書の原則に反する方向へ進んでいるクリスチャンを見た場合，どうすべきでしょうか。愛ある親切心を抱いているなら，その人を正そうとするのではないでしょうか。信仰の仲間が重大な罪を犯したことを知った場合は，忠節な愛に促されてその悪行者に，『会衆の年長者たちを自分のところに呼んで，エホバの名において油を塗ってもらい，自分のために祈ってもらう』ように勧めます。（ヤコ 5:14）悪行者が長老に告白しないとき，わたしたちがその問題を報告しないとしたら，それは愛のあることでも親切なことでもありません。また，信仰の仲間の中に，気落ちしている人や，寂しさを感じている人，『自分はだめな人間だ』と思って悩んでいる人，失意に打ちひしがれている人がいる場合，『憂いに沈んだ魂に慰めのことばをかける』なら，愛ある親切の律法が自分の舌にあることを実証できます。―テサ一 5:14。塔10 8/15 3:16

9月18日，火曜日

わたし(は)腎と心を探る者である……。そしてわたしは，あなた方一人一人にその行ないにしたがって与えよう。—啓 2:23。

イエスは，古代のテアテラ会衆に次のような音信を送りました。『わたしは，あなたの行ないを知っている』。(啓 2:18，19) その会衆の成員を不道徳で放縦な生き方ゆえに叱責し，今日の聖句の言葉を告げます。この言葉から分かるように，キリストは各会衆の全体的な行ないだけでなく，個々の成員の生き方も観察しています。「『サタンの奥深い事柄』を知るようにならなかった」テアテラのクリスチャンを褒めています。(啓 2:24) 今日でも，若い人であれ年長の人であれ，「サタンの奥深い事柄」に，インターネットや暴力的なテレビゲームによってかかわったりも，何でも許容する人間の推論に流されてかかわったりもしないという人たちがおり，イエスは，そうした人たちを是認しています。今日の大勢のクリスチャンが生活のあらゆる面でキリストの指導に従おうと最善を尽くし，努力と自己犠牲を払っているのを観察して，大いに喜んでいることでしょう。塔10 9/15 5:9

9月19日，水曜日

兄弟愛のうちに互いに対する優しい愛情を抱きなさい。互いを敬う点で率先しなさい。—ロマ 12:10。

使徒パウロは，ローマ人への手紙の中で，クリスチャンであるわたしたちが会衆内で愛を示すことの大切さを強調しており，その愛が「偽善のないもの」でなければならないことを思い起こさせています。また，「兄弟愛」にも言及し，その愛を「優しい愛情」と共に示すべきであると述べています。(ロマ 12:9) もちろん，この兄弟愛は，他の人に対して温かい気持ちをただ抱くだけのことではありません。わたしたちはそのような気持ちを行動によって示す必要があります。なぜなら，愛や愛情は，見える形で示さなければ，だれにも分からないからです。パウロが，「互いを敬う点で」つまり互いに敬意を示す点で「率先しなさい」という訓戒を付け加えているのは，そのためです。聖書中で「誉れ」と訳されている，敬意と関係するギリシャ語には，尊重，価値，貴さといった意味があります。(ルカ 14:10) そうです，わたしたちが敬う人は，わたしたちにとって貴い，価値ある人なのです。塔10 10/15 3:1-3

9月20日，木曜日

我が子よ，賢くあって，わたしの心を歓ばせよ。わたしを嘲弄している者にわたしが返答するためである。—箴 27:11。

幾世紀もの時が経過し，サタンは強力な犯罪組織を作り上げました。エホバはやがて，その組織とサタンを滅ぼし，神の正当な主権の圧倒的な証拠をお示しになります。エホバ神は，良い結果になることを全く確信していたので，エデンで反逆が生じた時にそのことを予告なさいました。(創 3:15) エホバの主権が立証されみ名が神聖なものとされることに関して，多くの人が信仰を働かせ，忠誠を保ってきました。その中には，アベル，エノク，ノア，アブラハム，サラ，モーセ，ルツ，ダビデ，イエス，キリストの初期の弟子たち，忠誠を保つ今日の幾百万もの人たちがいます。神の主権を擁護する人たちは，サタンが偽り者であると証明すること，またエホバのみ名に対する非難をぬぐい去ることの一端にあずかります。悪魔は，全人類を神に背かせることができると豪語して，み名に非難を浴びせてきたのです。—ヨブ 2:1-5。塔10 11/15 4:10，11

9月21日, 金曜日

男はその父と母を離れて自分の妻に堅く付(く)のである。—創 2:24。

夫婦間の信頼関係が崩れると,愛が衰え始めます。忠節は, 家の周囲の塀のようなものです。それは, 不健全な人や脅威から家族を保護し, ある程度の安心感を与えてくれます。ですから, 夫と妻が互いに忠節であるなら, 共に安心して暮らし, 互いに心を打ち明け, 愛をはぐくむことができます。確かに, 忠節は重要です。今日の聖句が示しているように, 友人や親族との結びつきに調整を加えなければなりません。夫と妻はそれぞれ, 自分の時間と注意をまず配偶者に向ける必要があります。もはや, 新しい家族を犠牲にして友人や親族を優先することはできません。家族の決定や不和に親が口出しすることも, 許すべきではありません。夫婦は互いに堅く付かなければならないのです。それが神の指示です。塔11 1/15 2:8, 9

9月22日, 土曜日

わたしの言葉(は)わたしがそれを送り出したことに関して確かな成功を収める。—イザ 55:11。

二人の男性がそれぞれ車で旅行に出かけるために準備しているところを想像してみてください。一人は, 目的地までの一つの詳細なルートの地図をかいています。もう一人は, 目的地を頭の中にはっきり描いていますが, 多くの別ルートも知っていて, 不測の事態が生じたらそれに応じて進路を調整するつもりでいます。二つの取り組み方は, ある意味で, 予定と目的との違いを示す良い例です。予定を立てることは, 一つの詳細なルートの地図をかくようなものです。一方, 目的を定める場合, 目指すところは一つですが, 達成する方法は必ずしも一つではありません。エホバは,ご自分の意志を遂行する場合, 詳細な予定を決めてしまうのではなく, 目的を定めて徐々にその詳細を明らかにしてゆかれます。(エフェ 3:11) その目的には, 人類と地球に関して当初意図しておられた事柄 — この地球を楽園にして, 完全な人間がそこで平和と幸福のうちに永久に生活できるようにすること — が含まれます。—創 1:28。塔10 4/15 2:1, 2

9月23日, 日曜日

あなたの王国が来ますように。—マタ 6:10。

キリスト教世界の宗教指導者はこの祈りをよく唱えますが, 政治組織などの人間の組織を支持するよう人々に勧めています。そのうえ, この王国を宣べ伝えて証ししようと努力する人たちをさげすみます。イエスは神への祈りの中で,「あなたのみ言葉は真理です」と明言しました。(ヨハ 17:17) そして, 地上を去る前に示したとおり, 自分の民に霊的食物を供給するために「忠実で思慮深い奴隷」を任命します。(マタ 24:45) キリスト教世界の僧職者は, 神の言葉の家令であると主張したがりますが, 主人から託された事柄に忠実であることを実証してきたでしょうか。いいえ, 聖書の内容を寓話や神話とみなす傾向があります。霊的食物で群れを養って慰めや啓発を与えるのではなく, 人間の哲学で信者の耳をくすぐっています。加えて,神の道徳規準をあいまいにし, いわゆる新しい道徳に迎合しています。—テモ二 4:3, 4。塔10 12/15 1:13, 14

9月24日，月曜日

外で外人居留者は夜を過ごしはしなかった。わたしの扉をわたしは道筋に向けて開けていた。―ヨブ 31:32。

ヨブは人をよくもてなしました。（ヨブ 31:31，32）わたしたちは，裕福でなくても『人をもてなすことに努める』ことができます。（ロマ 12:13）「野菜の料理とそこに愛があれば，肥やし飼いにした牛とそれに憎しみが伴うのに勝る」ということを思いに留め，簡単な食事に招くことができます。（箴 15:17）忠誠を保つ仲間と愛ある雰囲気の中で食事をするなら，簡単な食事でも楽しく，きっと霊的な益が得られます。ヨブのもてなしを受けるのは霊的に築き上げられる一時だったに違いありません。ヨブは偽善的ではなかったからです。1世紀の会衆に忍び込んで「自らの利益のために人物を称賛」する不敬虔な人々のようではありませんでした。（ユダ 3，4，16）またヨブは，人に知られたら軽蔑されるのではないかと考えて，自分の違犯を覆ったり「とがを自分の肌着のポケットに隠し」たりする，ということもありませんでした。進んで神に調べていただこうとしました。―ヨブ 31:33-37。塔10 11/15 5:16，17

9月25日，火曜日

あなた方は洗われて清くなったのです。―コリ一 6:11。

神の収穫の働き人となるために，わたしたちはまず，道徳的また霊的に汚れた習慣すべてをやめます。（ヨハ 4:35）収穫の働き人という特権にあずかる資格を保つには，エホバの高い道徳的また霊的な規準を守る点で模範的でなければなりません。（ペテ一 1:14-16）体の衛生にいつも気を配るように，神の真理の言葉の浄化作用を定期的に受けなければなりません。これには，聖書を読むことやクリスチャンの集会に出席することが含まれます。神の諭しを当てはめるために真剣に努力することも必要です。そうするなら，自分の罪深い傾向と闘い，この世の汚染作用に抵抗することができます。（詩 119:9。ヤコ 1:21-25）神の真理の言葉の助けを得て，重大な罪からでさえ「洗われて清く」なれるというのは，本当に慰めとなります。―コリ一 6:9-11。塔10 7/15 3:16

9月26日，水曜日

奉仕の僕たちは一人の妻の夫であり，子供と自分の家の者たちをりっぱに治めているべきです。―テモ一 3:12。

結婚している兄弟の家族の霊性や評判は，会衆における任命に直接関係します。これは，奉仕の僕や長老として会衆のために仕えようと努める夫また父親を支える，という家族の役割の重要性を強調しています。（テモ一 3:4，5）家族の頭が，会衆内での様々な責任を担うとともに，自分の家の者を「りっぱに」治めるには，平衡を取る必要があります。それで，長老や奉仕の僕が妻や子どもと一緒に聖書を研究して，皆が毎週の家族の崇拝から益を得られるようにすることは，肝要です。また，家族の頭は定期的に家族と共に野外宣教に参加すべきです。ここでもやはり，一家の頭の努力に家族が協力することは重要です。塔10 5/15 3:15，16

9月27日, 木曜日

イスラエルは罪をおかした。……また, 滅びのためにささげられたものの中から取り, また盗(んだ)。―ヨシュ 7:11。

アカンは, 自分の目にたぶらかされて, 攻略した都市エリコから幾らかの物を盗みました。神は, エホバの宝物庫に入れるべき物以外はその都市の物を滅ぼし尽くすよう命じておられました。イスラエル人は,「滅びのためにささげられたものからは離れているように」と警告されていました。「欲望を起こして」その都市から物を取ることのないためです。アカンが背いたため, イスラエルの民はアイで敗北を喫し, 数十人が亡くなりました。アカンは盗みを暴露された時に初めて認め, こう言います。「見た時, わたしはそれが欲しくなって取りました」。目の欲望によって,アカンも「彼に属するすべての物」も滅びる結果になりました。(ヨシュ 6:18,19; 7:1-26) アカンは心のうちで, 禁じられていたものを欲しました。塔10 4/15 3:5

9月28日, 金曜日

すべての事を神の栄光のためにしなさい。―コリ一 10:31。

今日の多くの人にとって, 重要なのは自分自身の幸せだけです。しかし, エホバの僕の見方は異なります。結婚は神がご自分の目的を推し進めるためにお与えになった賜物であることを知っているからです。(創 1:26-28) アダムとエバがこの賜物を尊んでいたなら, 全地は楽園となり, 幸福で義にかなった神の僕たちで満たされていたでしょう。何よりも, 神の僕は結婚を, エホバに栄光をもたらす機会と見ます。忠節, 一致, 霊性は, エホバを喜ばせ, 結婚のきずなを強化します。ですから, 結婚に備えている人も, 結婚のきずなを強めている人も, 結婚生活の危機を乗り越えようとしている人も, まずは, 結婚を正しく見なければなりません。神による神聖な取り決めと見るのです。この真理を思いに留めるなら, 神の言葉に基づいて結婚生活に関する決定を下すよう, 最善を尽くそうと思うのではないでしょうか。そのようにして, 結婚の賜物に対して, さらにはその与え主であるエホバ神に対して, 敬意を示すのです。塔11 1/15 2:19, 20

9月29日, 土曜日

神は[イエス・キリスト]を, その血に対する信仰によるなだめのための捧げ物として立てられました。―ロマ 3:25。

エホバはイエスに報いをお与えになりました。イエスを復活させて, 地に来る前に持っていた地位よりさらに上の地位に高めたのです。イエスは今や, 栄光ある霊の被造物として不滅性を与えられています。(ヘブ 1:3) 大祭司であり王でもある主イエス・キリストは, 今もなお, 自分の追随者たちが神の義を大いなるものとするよう助けています。その助けを受け入れ, み子に倣って忠節に仕えるなら, 天の父エホバは必ず報いてくださいます。わたしたちはそのことを心から感謝しています。(詩 34:3。ヘブ 11:6) 遠い昔のアベル以来, 忠実な人々は, 約束の胤に信仰を働かせ, 預言の成就を確信していたゆえに, エホバとの親しい関係を享受しました。エホバは, み子が忠誠を保ち, その死によって「世の罪」を完全に覆うことを知っておられたのです。(ヨハ 1:29) イエスの死は, 今日生きている人々にも益をもたらします。―ロマ 3:26。塔10 8/15 1:16-18

9月30日，日曜日

聖霊があなた方の上に到来するときにあなた方は力を受け……るでしょう。—使徒 1:8。

イエスは弟子たちに，『**聖霊**があなた方の上に到来するときにあなた方は**力**を受ける』と約束しました。「霊」と「力」という語には，はっきりした意味の違いがあります。神の活動力である神の霊とは，ご意志を成し遂げるために送り出されて人もしくは物に対して働くエネルギーのことです。一方，力は，「行動したり結果を生じさせたりする能力」と定義できます。それは，一定の結果を生じさせるのに必要になるまで，人や物の中にとどまっています。ですから，聖霊は，充電可能な電池にエネルギーを送り込む電流に例えられ，力は，電池に蓄えられるエネルギーのようなものです。エホバが聖霊を通してご自分の僕に与えてくださる力によって，わたしたち各自は，クリスチャンの献身を全うすることができ，必要な時には，わたしたちに働く良くない影響力に抵抗できます。—ミカ 3:8。コロ 1:29。塔11 1/15 4:3

10月1日，月曜日

ラッパを吹く者と歌うたいたちが一人のようになって一つの声を聞かせ，エホバを賛美し，これに感謝し(た)。—代二 5:13。

ソロモンの治世中，音楽は清い崇拝において際立った仕方で用いられました。神殿の奉献式の際，大規模なオーケストラがあり，金管セクションでは120人がラッパを吹きました。(代二 5:12) 喜ばしい音楽と声が響くや，「エホバの家が雲で満たされ」ます。これはエホバの是認のしるしでした。すべてのラッパの音と何千人もの歌うたいの声が一つに溶け合うのを聞くのは，どんなに感動的で，畏怖の念に打たれる経験だったでしょう。音楽は，初期クリスチャンの崇拝でも用いられました。もちろん，1世紀の崇拝者は，幕屋や神殿ではなく個人の家で集まりました。迫害などのために，いつも良い状況で集まり合えたわけではありません。それでも，確かに歌で神を賛美しました。塔10 12/15 4:9, 10

10月2日，火曜日

幸いなるかな，……その人の喜びはエホバの律法にあ(る)。—詩 1:1, 2。

信仰を強めるために，短期的な目標を定めるのはどうですか。毎日祈ることを目標にできるかもしれません。いつも新鮮で具体的な祈りをささげるために，祈りに含めたいその日の出来事を記憶しておいたり書き留めておいたりするとよいでしょう。直面した問題だけでなく楽しんだ事柄も述べるようにしてください。(フィリ 4:6) また，聖書を毎日読むことも目標にできます。1日に四，五ページほど読めば1年間で聖書全体を読み通せることを知っていましたか。短期的な目標にできる三つ目の点は，毎回の会衆の集会のために答えを準備しておくことです。答えや聖句を読むことから始められるかもしれません。その後，自分の言葉で答えることを目標にできます。あなたは答えるたびに，エホバに供え物をささげているのです。—ヘブ 13:15。塔10 11/15 3:7, 8

10月3日, 水曜日

あなた方は, 聖なる行状と敬虔な専心[を保つ]者となるべきではありませんか。—ペテ二 3:11, 12。

ペテロのこの言葉は問いかけではなく, 熱烈な勧めの言葉でした。ペテロは, エホバのご意志を行なって敬虔な性向を表わし示す者たちだけが, 来たるべき「復しゅうの日」を生き残れる, ということを知っていました。(イザ 61:2) ですから, 次のようにも述べました。「したがって, 愛する者たちよ, あなた方はこのことをあらかじめ知っているのですから, 無法な人々[偽教師たち]の誤りによって共に連れ去られ, 自分自身の確固たる態度から離れ落ちることのないように用心していなさい」。(ペテ二 3:17) ペテロは,『あらかじめ知っていた』人たちの一人なので, 終わりの日のクリスチャンは忠誠を保つために特に用心しなければならない, ということを知っていました。なぜ用心すべきなのかについては, 後に使徒ヨハネがはっきり説明しました。ヨハネは, サタンが天から放逐されて,「神のおきてを守り行ない, イエスについての証しの業を持つ者たち」に対して「大きな怒り」を抱くさまを, あらかじめ見たのです。—啓 12:9, 12, 17。塔10 7/15 2:3, 4

10月4日, 木曜日

[エホバの]魂は暴虐を愛する者を必ず憎む。—詩 11:5。

サタンは, わたしたちの心の内に暴力への愛をかき立てることによって, わたしたちを神から引き離そうとしています。暴虐を愛する者をエホバが憎まれることを知っているのです。それゆえ, 読み物, 映画, 音楽, コンピューターゲームなどを用いて肉の欲望に訴えかけてきます。ゲームの中には, 甚だしい不道徳や残虐行為のまねごとをするものもあります。悪を助長しているサタンは, わたしたちの心の一部が悪を愛していれば, 他の部分で義を愛していても気にしません。(詩 97:10) 一方, 神の霊は, それを受ける人を動かして, 貞潔で, 平和を求め, 憐れみに満ちる者とならせます。こう自問するのはよいことです。『自分の選ぶ娯楽は, 良い特質をはぐくむものだろうか』。上からの知恵は「偽善的でありません」。(ヤコ 3:17) 神の霊の影響を受ける人は, 貞潔さや平和を人に説きながら, 家で残虐な暴力シーンや不道徳な映像を楽しんだりはしません。塔11 3/15 1:7, 8

10月5日, 金曜日

満ちあふれる活動力のゆえに, その方はまた力が強く, それらの一つとして欠けてはいない。—イザ 40:26。

想像を絶するほど広大なこの宇宙には, エホバの力とエネルギーには限りがないことを示す証拠があります。現代科学では, 物質をエネルギーに, またエネルギーを物質に変えられることが分かっています。恒星である太陽は, 物質がエネルギーに変換されることの一例です。太陽は毎秒, 約400万㌧の物質を太陽光などの放射エネルギーに変換しています。地上の生命を維持するには, 地球に届くそのエネルギーのほんの一部で十分です。太陽だけでなく他の無数の恒星すべてを創造するには, 途方もない力とエネルギーが必要でした。エホバは, その必要だったエネルギーはもちろん, それをはるかに上回るエネルギーをお持ちです。わたしたちの周囲には, 神が聖霊を非常に秩序正しく用いられたことを示す証拠があります。塔11 2/15 1:5, 6

10月6日, 土曜日

彼らは諸都市を回って旅行を続けながら, エルサレムにいる使徒や年長者たちの決めた定めを守り行なうようそこの人たちに伝えるのであった。—使徒 16:4。

1世紀のクリスチャンは, 全員が同じ源から励ましを受けていたので, 一致を享受できました。イエスが統治体を通して会衆を教え導いておられることを認めていました。統治体はエルサレムの使徒や年長者たちから成っており, それら献身的な男子は, 神の言葉に基づいて決定を下し, 旅行する監督を用いて各地の会衆に指示を伝達しました。(使徒 15:6, 19-22) 今日でも, 霊によって油そそがれたクリスチャンから成る統治体は, 世界的な会衆の一致に寄与しています。霊的に励みとなる文書を多くの言語で出版しています。その霊的な食物は神の言葉に基づいています。それゆえ, その教えは人間からではなくエホバからのものです。—イザ 54:13。塔10 9/15 2:7, 8

10月7日, 日曜日

あなた方の発することばを常に慈しみのあるもの(とし)なさい。—コロ 4:6。

「戸別伝道をしている時に,ある男性が怒り出し,唇を震わせ,そして体を震わせるほどになりました」と, ある兄弟は語っています。「聖書から筋道立てて穏やかに話そうとしましたが, 男性の怒りは激しくなるばかりでした。その人の奥さんと子どもたちものの しり出したので, 立ち去ったほうがいいと思いました。議論するために来たのではないので平和のうちに去りたいと述べ,愛,温和,自制,平和が挙げられているガラテア 5章22, 23節を見せてから, 去りました。その後, 道の反対側の家々を訪問していると, その家族が玄関先に腰掛けています。わたしを呼んだので,『今度は何だろう』と思いました。さっきの男性が水差しを持っていて, 冷たい水を一杯くれました。そして, 先ほどの無礼な態度を謝り, わたしの信仰の強さを褒めてくれたんです。良い関係で別れることができました」。兄弟が自分を制して慈しみのある言葉を発したので, 良い結果になったのです。塔10 6/15 4:1-3

10月8日, 月曜日

男は……自分の妻に堅く付き, ふたりは一体となるのである。—創 2:24。

使徒パウロは,親友のアクラとプリスキラについて述べる際, 一方だけに言及することはありませんでした。この一致した夫婦は, 夫と妻が「一体」となるべきであるという神の言葉が意味するところを示す良い例です。二人は, 家庭で, 世俗の仕事で, クリスチャン宣教で, 常に一緒に物事を行ないました。例えば, パウロが初めてコリントに来た時, アクラとプリスキラは自分たちの家に滞在するよう彼を親切に招きました。パウロはその後しばらく二人の家を活動の拠点としたようです。後に二人はエフェソスで, 自分たちの家を会衆の集会場所とし, アポロのような新しい人が霊的に成長するのを共に助けました。(使徒 18:2,18-26) この熱心な夫婦はそれからローマに行き, そこでも家を会衆の集会場所として提供します。そして, エフェソスに戻り, 兄弟たちを強めました。—ロマ 16:3-5。塔11 1/15 2:11

10月9日，火曜日

それを受け入れることのできる人は，受け入れなさい。―マタ 19:12。

結婚は，紛れもなく神から人類への極めて貴重な賜物の一つです。（箴 19:14）とはいえ，イエス・キリストも使徒パウロも，結婚と同じく，独身が神からの賜物であると述べています。（マタ 19:11，12。コリ一 7:7）独身者はたいてい，既婚者よりも時間や自由に恵まれています。（コリ一 7:32-35）この独特の利点を生かして，宣教奉仕を拡大し，他の人への愛の点で自分を広くし，エホバにいっそう近づくことができます。それゆえ，多くのクリスチャンが，独身のメリットを認識するようになり，当面は「それを受け入れる」という決定を下しています。また，ある人たちは，当初は独身でいるつもりはなかったものの，事情が変化した時に，祈りのうちに自分の状況を考慮して，エホバの助けがあれば自分も心の中でしっかりと定めることができると気づきました。それで状況の変化に順応し，独身を受け入れました。―コリ一 7:37，38。塔11 1/15 3:1-3

10月10日，水曜日

わたしたちはその謀りごとを知らないわけではない。―コリ二 2:11。

サタンが人類を惑わすのに用いる「謀りごと」の中で，「目の欲望」に訴える方法は特に強力です。（ヨハ一 2:16）現代の商業広告業者は，視覚に訴えるという昔からの手法の効力をよく知っています。ヨーロッパの権威あるマーケティング専門家はこう述べています。「視覚はどの感覚よりも誘惑的である。しばしば他の感覚を圧倒し，あらゆる論理に反して行動させる力がある」。それで当然，広告業者は，最大の視覚効果を狙って商品やサービスへの欲求を刺激するよう仕組まれた画像を浴びせかけます。ある学者は，広告は「情報を認識してもらうだけでなく，より重要なこととして，特定の感情や行動を引き起こすことを狙っている」と述べています。よく使われるのは，挑発的な性的イメージです。「セックスは売れる」という言葉もあるほどです。ですから，見るものや思いと心に入れるものを制御することは本当に大切です。塔10 4/15 3:6，7

10月11日，木曜日

気をつけなさい。もしかすると，……あなた方をえじきとして連れ去る者がいるかもしれません。―コロ 2:8。

今日，根拠がなく欠陥のある推論に基づいた無神論的で進化論的な論説が急速に増えています。そうした間違った考えがはん濫しても混乱したりおびえたりしてはなりません。クリスチャンは皆，そうした攻撃やそれに関係する仲間の圧力に抵抗できるよう備えをしておかなければなりません。聖書および神への信仰は，創造を支持する証拠を誠実に調べることによって確実に強められます。宇宙や人類の起源について考える際に，物質界以外の力の影響を排除しようとする人が少なくありません。そうした観点で論議するとしたら，すべての証拠を公平に考慮しているとは言えません。そのうえ，目的を持つ秩序立った「無数の」創造物の明白な存在を無視することになります。―ヨブ 9:10。詩 104:25。塔11 2/15 1:17，18

10月12日, 金曜日

互いを敬う点で率先しなさい。—ロマ 12:10。

他の人を敬うことには, 何が関係しているでしょうか。まずは, 敬意を抱くことです。事実,「敬う」と「敬意」は類語であり, 同じ文脈で用いられる場合が少なくありません。敬うことには, 敬意を行動で示すことも含まれます。言い換えれば, 敬意を抱くとは主に, 兄弟たちをどう**見る**かということであるのに対し, 敬うとは兄弟たちにどう**接する**かということなのです。クリスチャンは, 信仰の仲間に心からの敬意を抱いていないなら, どうして仲間を純粋に敬えるでしょうか。(ヨハ三 9, 10) 植物が良い土壌に根を下ろしてはじめて, 繁茂し存続するのと同じように, 敬うという行為も, 心からの敬意に根ざしてはじめて, 純粋で長続きするものとなります。それが口先だけで, 純粋の敬意から出ていないなら, 植物が枯れてしまうように, 遅かれ早かれなくなってしまいます。ですから, パウロが, 敬うようにとの訓戒を与える前に,「あなた方の愛を偽善のないものにしなさい」と言明したのも当然です。—ロマ 12:9。ペテ一 1:22。塔10 10/15 3:4, 5

10月13日, 土曜日

エホバの名を呼び求める者はみな救われる。—ロマ 10:13。

中世のヨーロッパでは, 神の固有の名がかなり広く知られていました。み名は, テトラグラマトンと呼ばれる四つのヘブライ文字で表わされ, たいていYHWH(あるいはJHVH)と翻字されますが, それが当時, 硬貨や家の正面, 多くの書物や聖書に記され, カトリックやプロテスタントの一部の教会にも見られました。ところが,最近では,神のみ名を聖書翻訳などから除く傾向があります。その一例は, 2008年6月29日付の「神の名」に関する司教協議会への手紙です。ローマ・カトリック教会はその中で, 様々に訳されているテトラグラマトンを「主」に置き換えるよう, またカトリックの礼拝における賛美歌や祈りの中で神の固有の名を用いないよう勧告しました。キリスト教世界内外の他の宗教の指導者たちも, だれがまことの神であるかを非常に大勢の崇拝者から隠しています。塔11 1/15 1:6, 9

10月14日, 日曜日

そうしたことを考え続けなさい。—フィリ 4:8。

イエスは, 信仰に対するサタンの直接攻撃に抵抗する際, 聖句を引用しました。(ルカ 4:1-13) 宗教上の反対者たちに立ち向かう際, 神の言葉を権威として用いました。(マタ 15:3-6) 神の律法を知り,それを成就することがイエスの生活の中心となっていました。(マタ 5:17) わたしたちも, 信仰を強める神の言葉で自分の思いを養い続けたいと思います。(フィリ 4:9) 個人研究や家族研究の時間を見いだすのが難しいという場合もあるでしょう。とはいえ, 時間を**見いだす**というよりも,時間を**作りだす**必要があるかもしれません。(エフェ 5:15-17)「忠実で思慮深い奴隷」は, 毎週の晩の家族の崇拝という取り決めを設けることによって, わたしたちが個人研究や家族研究の時間を持てるようにしています。(マタ 24:45) この取り決めを有効に活用していますか。キリストの思いを得られるように, そうした研究の時間の一部を使えるでしょうか。自分の関心のある論題についてイエスが教えた事柄を系統的に考慮するのです。塔11 3/15 1:20, 21

10月15日，月曜日

父は，わたしにあって実を結んでいない枝をみな取り去り，実を結んでいるものをみな清めて，さらに実を結ぶようにされます。—ヨハ 15:2。

あなたは生活の中で，神の真理の言葉の浄化作用を喜んで受け入れているでしょうか。例えば，この世の堕落した娯楽の危険について注意を促される時，どう反応しますか。（詩 101:3）エホバの証人でない学校の友達や職場の仲間との不必要な交友を避けていますか。（コリ一 15:33）エホバの目に汚れた者とならないよう，自分の弱さを克服するために真剣な努力を払っていますか。（コロ 3:5）この世の政治論争や，スポーツ競技でよく見られる国家主義の精神から離れていますか。（ヤコ 4:4）こうした点において忠実で従順であるなら，素晴らしい結果がもたらされます。イエスは，油そそがれた弟子をぶどうの木の枝になぞらえ，今日の聖句の言葉を述べました。清さをもたらす水である聖書の真理に従うなら，さらに実を生み出せるでしょう。塔10 7/15 3:17, 18

10月16日，火曜日

兄弟より固く付く友人もいる。—箴 18:24。

忠節な愛は，エホバを崇拝する仲間に対する接し方すべてにはっきり表われているべきです。難しい状況下でも，愛ある親切の律法を自分の舌から離すべきではありません。エホバは，イスラエルの子らの愛ある親切が『早く消えてゆく露のように』なったとき，不快に思われました。（ホセ 6:4, 6）一方，わたしたちが愛ある親切を常に示すとき，喜ばれます。その親切を追い求める人をエホバがどのように祝福されるか，考えてみてください。箴言 21章21節には，「義と愛ある親切とを追い求めている者は，命，義，そして栄光を見いだす」とあります。そのような人が経験する祝福の一つは，命を見いだすことです。それも，短い命ではなく，終わりのない命です。エホバはその人が「真の命をしっかりとらえる」ようにされるのです。（テモ一 6:12, 19）ですから，ぜひとも『互いに対して愛ある親切を実行して』ゆきましょう。—ゼカ 7:9。塔10 8/15 3:17-19

10月17日，水曜日

人の子の臨在はちょうどノアの日のようだからです。—マタ 24:37。

ノアがどんな困難に直面したかを想像してみてください。反逆したみ使いたちが肉体を着けて人間の姿で現われ，魅力的な女性と一緒に暮らしています。その不自然な結合によって超人間的な子孫が生み出され，それら「力ある者たち」は，腕力に物を言わせて他の人たちを苦しめます。（創 6:4,5,11,12）行く先々で狼藉を働き，暴力を助長します。結果として悪が増え広がり，人間の考えや振る舞いはすっかり堕落してしまいました。イエスは，今日の状況がノアの日に似たものとなると預言しました。わたしたちも，邪悪な霊者が地上の物事に干渉していることの目撃証人です。彼らは人々の心と思いに，残忍な態度を植えつけます。（啓 12:7-9, 12）例えば，米国で生まれる子どもの142人に一人が殺人の犠牲になっています。まん延している見境のない暴力に，エホバがノアの時代ほどには注意を向けられないと思いますか。エホバは行動されないでしょうか。塔11 3/15 3:3-5

10月18日, 木曜日

ここにわたしがおります! わたしを遣わしてください。—イザ 6:8。

神の是認を得るには,自由意志を正しく行使する必要があります。エホバは,ご自分に仕えるよう無理強いなさらないからです。イザヤの時代, こうお尋ねになりました。「わたしはだれを遣わそうか。だれがわたしたちのために行くだろうか」。エホバは, 預言者イザヤの決定する権利を認めることにより, 尊厳を重んじられたのです。今日の聖句の言葉のように答えたイザヤの満ち足りた気持ちを想像してみてください。人間には, 神に仕える自由もそうしない自由もあります。エホバは, わたしたちが進んで仕えることを望んでおられます。(ヨシュ 24:15) いやいや神を崇拝する人は, 神に喜ばれません。また, 他の人を喜ばせることだけを願って行なう崇拝は神に受け入れられません。(コロ 3:22) 世の関心事が崇拝の妨げとなるのを許して「惜しみつつ」神聖な奉仕をささげるとしたら, 神の是認は得られません。(出 22:29) エホバは, 魂をこめて仕えることがわたしたちの益になることをご存じです。モーセはイスラエル人に,「神エホバを愛し,その声に聴き従い,これに堅く付く」ことによって命を選ぶよう勧めました。—申 30:19, 20。塔11 2/15 2:8, 9

10月19日, 金曜日

わたしたちも, あらゆる重荷……を捨て, 自分たちの前に置かれた競走を忍耐して走ろうではありませんか。—ヘブ 12:1。

使徒パウロは,クリスチャンの人生を長距離走になぞらえ,上のように勧めています。要点は,疲れ果ててしまう不必要な活動, 不必要な重荷を避けなければならない, ということです。すでに忙しい生活に, あまりに多くのことを詰め込もうとしている人がいるかもしれません。疲れていたり圧力を感じていたりすることが多いのであれば, 次のような点を考えるのは有益です。世俗の仕事上の要求にどのように応じるか, 楽しみの旅行にどれほど頻繁に出かけるか, スポーツその他の気晴らしにどれほど打ち込むか, といった点です。わたしたちは皆, 道理をわきまえ, 慎み深さを示して, 自分の限界を認め, 必要でない事柄を最小限にとどめるべきです。疲労のゆえにとこしえの祝福を得損なってはなりません。誘惑, 疲労, 失意によって生じる試練はどれも, 今すぐではないとしても, 神の新しい世では消え去ります。塔11 1/15 4:16, 18

10月20日, 土曜日

義に飢え渇いている人たちは幸いです。その人たちは満たされるからです。—マタ 5:6。

わたしたちの住む世界は, 邪悪な者に支配されています。(ヨハ一 5:19) どの国の新聞を見ても, 残虐行為や暴力行為がかつてないほど載っています。義なる人は, 人間が人間に行なう非人道的行為に心を痛めています。(伝 8:9) エホバを愛するわたしたちは, 義を学ぶことを願う人の霊的な飢えと渇きを満たせるのはエホバだけであることを知っています。不敬虔な人たちは間もなく除かれ, 義を愛する人たちが無法な人々やその悪行に苦しむことはなくなります。(ペテ二 2:7, 8) 本当にほっとすることでしょう。ですから, このサタンの世で虐げや暴力によって義が奪い取られていることで, 落胆したり驚き惑ったりしないようにしましょう。(伝 5:8) 至高者であられるエホバは, 起きている事柄をご存じであり, 義を愛する人たちを間もなく救い出されます。塔11 2/15 3:14-16

10月21日, 日曜日

その時わたしはもろもろの民に清い言語への変化を与える。—ゼパ 3:9。

この清い言語とは何でしょうか。それは, 霊感による神の言葉に収められている, エホバ神とその目的についての真理です。あなたは, いわばその言語を用いています。神の王国に関する正確な理解を伝え, 王国によってみ名がどのように神聖なものとされるかを語る時, 神の主権の立証を強調する時, 忠実な人々が享受する永遠の祝福について喜びに満ちて話す時, その言語を用いているのです。この比喩的な言語が多く語られている結果として,「エホバの名を呼び求め, 肩を並べて神に仕える」人の数は増加しています。世界中で幾百万もの人がエホバのもとに避難しているのです。(詩 1:1, 3) 今日のどんな政治国家も国際連合機構も, 人類の諸問題を完全に解決することはできません。では, どうして政治組織や同盟を避難所と見るべきでしょうか。—イザ 28:15,17。塔11 1/15 1:17-19

10月22日, 月曜日

女を見つづけてこれに情欲を抱く者はみな, すでに心の中でその女と姦淫を犯したのです。—マタ 5:28。

サタンはポルノによって性の不道徳を助長しています。ポルノを見る人は, 不道徳な場面を脳裏からなかなか消し去ることができません。ポルノ中毒になるおそれもあります。あるクリスチャンに起きたことを考えましょう。兄弟はこう語っています。「ひそかにポルノを見ていました。空想の世界を作り上げ, それはエホバに仕えている世界とは切り離されていると考えていました。悪いと分かっていましたが, 神への奉仕は受け入れられていると自分に言い聞かせていました」。何が兄弟の考えを変えたのでしょうか。こう述べています。「これまでで一番難しいことでしたが, 自分の問題を長老に話すことにしました」。兄弟は, やがてこの汚れた習慣から自由になりました。「自分の生活からこの罪を取り除いて, ようやく, 本当に清い良心を抱いていると感じました」。不法を憎む人は, ポルノを憎むようにならなければなりません。塔11 2/15 4:9, 10

10月23日, 火曜日

女の頭は男……です。—コリ一 11:3。

エデンの園におけるその完全な状態は, わたしたち人類の最初の二親が反逆したために, 失われてしまいました。(ロマ 5:12) とはいえ, 頭の権の取り決めは今でも有効です。正しくその取り決めどおりにしてゆくなら, 結婚生活は非常に有意義で幸福なものになります。人間の不完全さゆえに, 男性はもはや完全な頭となることができず, 女性も完全な柔順を示すことができません。それでも, 頭の権の取り決めに従い, 夫また妻として引き続き最善を尽くしてゆくなら, 現在においても結婚生活から最大限の満足を味わうことができます。結婚生活を成功させるうえで重要なのは, 夫婦がクリスチャンすべてに対する聖書のこの助言, すなわち「兄弟愛のうちに互いに対する優しい愛情を抱きなさい。***互いを敬う***点で率先しなさい」という言葉を当てはめることです。(ロマ 12:10) また, 夫も妻も,『互いに親切にし, 優しい同情心を示し, 互いに惜しみなく許し合う』ことに努めるべきです。—エフェ 4:32。塔10 5/15 2:4, 5

10月24日, 水曜日

人にとって, 食べ, まさしく飲み, 自分の骨折りによって魂に良いものを見させることに勝るものは何もない。—伝 2:24。

イスラエル人は毎年, 三つの祭りにおける崇拝のためにエルサレムへ旅をしました。(出 34:23) 神殿に上ると,「大いなる歓び」がありました。そこにいる人たちは「エホバに賛美をささげ」ていたのです。(代二 30:21) 今日も, 多くのエホバの僕は, 家族で旅行してエホバの証人の支部施設, ベテルを訪問すると大きな歓びがある, ということに気づいています。次回, 家族で休暇を過ごす時に, そうした訪問を行なえるでしょうか。親睦を深めるために家族や友人と集まることも, 励みとなります。親睦の集いは魂をさわやかにするだけでなく, 仲間のクリスチャンを一層よく知って愛のきずなを強める機会ともなります。しかし, そうした集いは規模を小さくし, ふさわしく監督されるようにするのが最善です。アルコールが出される場合は特にそう言えます。塔10 6/15 5:6, 7

10月25日, 木曜日

自分の違犯を覆い隠している者は成功しない。しかし, それを告白して捨てている者は憐れみを示される。—箴 28:13。

悪いと分かっていることをひそかに行なっているとしたら, どうすべきでしょうか。上の聖句を銘記してください。悪い歩みを続けて「神の聖霊を悲しませる」のは, 決して賢明なことではありません。(エフェ 4:30) この点で,「会衆の年長者たち」は大きな助けになってくれます。弟子ヤコブはこう述べています。「エホバの名において油を塗ってもらい, 自分のために祈ってもらいなさい。そうすれば, 信仰の祈りが病んでいる人をよくし, エホバはその人を起き上がらせてくださるでしょう。また, その人が罪を犯したのであれば, それは許されるでしょう」。(ヤコ 5:14, 15) 確かに, そうするならきまりの悪い思いをしたり, 不快な結果になったりするかもしれません。とはいえ, 勇気を出して助けを求めるなら, それ以上痛手を受けずに済み, 汚れのない良心を取り戻して安らかな気持ちになれます。—詩 32:1-5。塔10 11/15 1:18

10月26日, 金曜日

神はあなた方を顧みてくださる。—ペテ一 5:7。

あなたは, かつて長老か奉仕の僕だったものの, 今はその立場で仕えていないかもしれません。もちろんエホバを愛しており, エホバが顧みてくださっていると確信できます。あなたがそうした状況にあるとしても, 落胆してはなりません。エホバが自分の宣教奉仕や家族をどのように祝福してくださっているかを熟考しましょう。家族を霊的に築き上げ, 病気の人を訪問し, 弱い人を励ましてください。何よりも, エホバの証人として神を賛美し王国の良いたよりを宣べ伝えるという特権を大切にしてください。(詩 145:1, 2。イザ 43:10-12) 現在, 監督や奉仕の僕の必要はかつてなく大きくなっています。それで, バプテスマを受けた男子は次のように自問できるでしょう。『自分が, 奉仕の僕や長老でないとしたら, その理由を分析してみるべきではないだろうか』。この肝要な事柄に正しく注意を向けられるよう神の霊の助けを得ましょう。塔10 5/15 3:17-19

10月27日，土曜日

常に賛美の犠牲を神にささげましょう。—ヘブ 13:15。

エレミヤは，命を維持する「水」の源エホバを離れず，その方の言われることすべてを心に留めました。(詩 1:1-3。エレ 20:9) エレミヤは本当に立派な手本です。難しい区域で神に仕えている人たちにとっては，特にそう言えます。あなたもそうした区域で奉仕しているなら，引き続きエホバに全く頼ってください。エホバは，「そのみ名を公に宣明する」あなたに，忍耐する力を与えてくださいます。エホバは，わたしたちがこの終わりの日における生活に対処できるよう，本当に青々とした霊的地所を与えてくださっています。何よりも，全巻揃った神の言葉があり，その正確な翻訳がますます多くの言語で出されています。またエホバは，忠実で思慮深い奴隷級を通して時に応じた霊的食物を豊かに備えてくださっています。さらに，集会や大会で，大勢の兄弟姉妹という支えになる仲間との交友を与えてくださっています。こうした備えを十分に活用していますか。塔11 3/15 2:9，10

10月28日，日曜日

「指導者」と呼ばれてもなりません。あなた方の指導者はキリスト一人だからです。—マタ 23:10。

キリスト教世界の教会には人間の指導者がいます。ローマ法王，東方正教会の総主教や府主教，その他の宗派の首長です。エホバの証人は，いかなる人間をも指導者と認めることはありません。人間の弟子や追随者ではないのです。これは，み子に関するエホバの次の預言的な言葉と一致しています。「見よ，わたしは彼を国たみに対する証人，国たみに対する指導者また司令官として与えたのである」。(イザ 55:4) 油そそがれたクリスチャンとその仲間の「ほかの羊」から成る国際的な会衆は，エホバが与えてくださったその方以外，ほかのどんな指導者も望んでいません。(ヨハ 10:16)『あなた方の指導者はキリスト一人です』というイエスの言葉に同意します。塔10 9/15 4:1

10月29日，月曜日

神の名はあなた方のために……冒とくされている。—ロマ 2:24。

邪悪な事柄のゆえに，しかもそれらが聖書の神の名においてなされてきたゆえに，多くの誠実な人は幻滅し，神と聖書に対する信仰をすっかり失っています。そしてサタンとその邪悪な事物の体制のえじきになっています。毎日のようにそうした事柄が生じるのを見聞きする時，どんな気持ちになりますか。エホバの僕として，神のみ名に非難や冒とくが浴びせられるのを見る時，間違いを正すためにできることをぜひしたいと思うのではないでしょうか。誠実で心の正直な人が欺かれ搾取されるのを見る時，抑圧されている人たちに慰めを与えるよう動かされるのではありませんか。イエスは当時の人々が「羊飼いのいない羊のように痛めつけられ，ほうり出されて」いるのを見た時，哀れみを感じただけではありませんでした。「彼らに多くのことを教え始められた」のです。(マタ 9:36。マル 6:34) わたしたちには，イエスのように真の崇拝に熱心であるべき十分の理由があります。塔10 12/15 1:12，15

10月30日，火曜日

わたしにとってあなたの言葉はわたしの心の歓喜となり，歓びとなります。—エレ 15:16。

エレミヤは自分の仕事に喜びを覚えました。エレミヤにとって，まことの神を代表してみ言葉を宣べ伝えるのは特権でした。興味深いことに，エレミヤは民からのあざけりに注意を向けた時，喜びを失いました。しかし，音信の麗しさと重要性に目を向けた時，喜びが炎のように再び燃え上がりました。(エレ 20:8，9) 今日，宣べ伝える業において喜びを保つには，「固い食物」，神の言葉の深い真理で自分を養う必要があります。(ヘブ 5:14) より深い研究によって信仰が築かれます。(コロ 2:6，7) 自分の行動が本当にエホバの心に影響を与えるということが印象づけられます。聖書を読んで研究する時間を見いだす点で苦労しているなら，自分の予定を吟味し直すべきです。毎日わずかの時間の研究と黙想でも，エホバにいっそう引き寄せられ，エレミヤの場合のように，『心の歓喜と歓び』が得られます。塔11 3/15 4:12，13

10月31日，水曜日

わたしたちを誘惑に陥らせないで，邪悪な者から救い出してください。—マタ 6:13。

エホバは，この願いをささげる忠実な僕を見捨てたりはされません。イエスは別の時に，「天の父は，ご自分に求めている者に聖霊を与えてくださる」と言いました。(ルカ 11:13) エホバは，義を行なう助けを与えると約束してくださっているのです。なんと心強いことでしょう。もちろん，誘惑されないようエホバが守ってくださるということではありません。(コリ一 10:13) とはいえ，誘惑に直面する時は，いっそう熱烈に祈るべき時です。(マタ 26:42) イエスは，悪魔の誘惑に対して聖句を引用しました。イエスの思いには神の言葉がしっかり入っており，次のように答えています。「……と書いてあります」。「……とも書いてあります」。「サタンよ，離れ去れ! ……と書いてあるのです」。イエスは，エホバとみ言葉に対する愛に動かされて，誘惑者による誘いを退けました。(マタ 4:1-10) イエスが繰り返し誘惑に抵抗した後，サタンはイエスを離れます。塔11 1/15 4:5，6

11月1日，木曜日

だれがこれらのものを創造したのか。それは，その軍勢を数によって引き出しておられる方であり，その方はそれらすべてを名によって呼ばれる。—イザ 40:26。

目や望遠鏡を天に向けると，銀河，恒星，惑星すべてが極めて正確に動き，非常に秩序正しい巨大なシステムを成していることが分かります。これは偶然の産物，無計画の制御されない作用によって生じたものとは思えません。それで，次のように問う必要があります。この秩序正しい宇宙を生み出すのに，当初どんな力が用いられたのでしょうか。わたしたち人間の限られた能力では，科学的な観察や実験だけでその力を特定することはできません。しかし聖書は，その力を神の聖霊と特定しています。それは宇宙で最も強い力です。詩編作者はこう歌いました。「エホバの言葉によって天が造られ，み口の霊によってその全軍が造られた」。(詩 33:6) わたしたちが夜空を眺めて見ることができるのは，星の「全軍」のごく一部に過ぎません。塔11 2/15 1:5，7

11月2日, 金曜日

それらはその人の想像の中で保護の城壁なのである。—箴 18:11。

世の霊は, 貪欲と物質本位の見方を奨励して「目の欲望」を助長します。(ヨハ一 2:16) 富もうと思い定めるよう多くの人を動かしています。(テモ一 6:9, 10) わたしたちに, 物質的な所有物がたくさんあればずっと安心して暮らせると思わせようとします。こう自問すべきです。『物質的な安楽や楽しみの追求が生活の中心になっていないだろうか』。他方, 神の霊感による言葉は, 金銭に対して平衡の取れた見方をし, 自分と家族に必要物を備えるために一生懸命働くよう勧めています。(テモ一 5:8) 神の霊は, それを受ける人がエホバの寛大さを反映するよう助けます。そのような人は, 受けることより与えることで知られます。物よりも人を重視し, 持っているものを分け合える時には喜んでそうします。(箴 3:27, 28) 金銭の追求が神への奉仕より優先されることを決して許しません。塔11 3/15 1:10, 11

11月3日, 土曜日

人は……救いのために口で公の宣言をする。—ロマ 10:10。

集会が1世紀にどのように行なわれていたかについては, パウロがクリスチャンの集会に関してコリント第一 14章26-33節で述べている事柄から, 洞察することができます。初期のクリスチャンは会衆の集会を自分の信仰を表明する機会とみなしていました。集会で自分の信仰を言い表わすなら,「会衆を築き上げる」ことに大いに寄与できます。(コリ一 14:12) これまで長年集会に出席してきた方でも, 兄弟姉妹の注解を聴くのは本当に喜びである, ということに同意なさるでしょう。年老いた忠実な仲間の心のこもった答えには感動を覚え, 優しい長老の示唆に富む言葉には元気づけられ, またエホバへの純粋な愛を表わす子どもの自発的な注解には思わずほほえんでしまうものです。そうです, わたしたちは皆, 注解によって, クリスチャンの集会を築き上げるものにすることができるのです。塔10 10/15 4:10, 11

11月4日, 日曜日

常に賛美の犠牲を神にささげましょう。すなわち, そのみ名を公に宣明する唇の実です。—ヘブ 13:15。

若い人はどんな長期的な目標を持つことができますか。時おり, あまり奉仕されていない区域がある会衆を援助できるかもしれません。体力と健康を生かして補助開拓奉仕や正規開拓奉仕を行なえるかもしれません。幾万人もの幸福な開拓者は, 全時間奉仕が若い時に創造者を覚えるための報いの多い方法であることを話してくれるでしょう。こうした目標は, 家で生活している間に達成できます。地元の会衆も, あなたが目標を達成することから益を受けます。長期的な目標の中には, 自分の育った会衆から出て達成するものもあります。例えば, 必要の大きな地方や国での奉仕を計画できます。外国における王国会館や支部施設の建設を援助したいと思うかもしれません。ベテル奉仕をしたり宣教者になったりすることもできるかもしれません。塔10 11/15 3:8, 10, 11

11月5日，月曜日

あなた方はいつまでもエホバに依り頼め。—イザ 26:4。

今の世で，大勢の人は，だれに，あるいは何に頼ってよいのか分からなくなっています。幾度となく傷つけられたり失望させられたりしたからでしょう。エホバの僕たちは全く対照的です。敬虔な知恵に導かれているので，この世や「高貴な者」に信頼を置いたりすることはありません。（詩 146:3）むしろ，生活や将来をエホバのみ手にゆだねています。エホバが愛してくださっていること，ご自分の言葉を必ず果たされることを知っているからです。（ロマ 3:4；8:38，39）古代のヨシュアは神の信頼性について証言しました。晩年，同胞のイスラエル人にこう述べました。「あなた方は心をつくし魂をつくして知っているはずです。すなわち，あなた方の神エホバの話されたすべての良い言葉は，その一言といえ果たされなかったものはありません。それはあなた方にとってすべてそのとおりになりました」。（ヨシュ 23:14）エホバが約束を果たされるのは，僕たちへの愛ゆえ，そして特にご自分のみ名のためです。—出 3:14。サムー 12:22。塔11 3/15 2:1-3

11月6日，火曜日

ですから，王国と神の義をいつも第一に求めなさい。—マタ 6:33。

神の義を求めることには，王国の良いたよりを宣べ伝える業に時間を費やす以上のことが関係しています。神聖な奉仕がエホバに受け入れられるには，日々の行動がエホバの高い規準に調和していなければなりません。エホバの義を求めている人は皆，何をする必要があるでしょうか。「神のご意志にそいつつ真の義と忠節のうちに創造された新しい人格を着け」なければなりません。（エフェ 4:24）神の義の規準に沿って生活するよう努力する中で，自分の至らなさに失望することがあるかもしれません。失望に負けずに立ち直り，義を愛して実践するのに，何が助けになりますか。（箴 24:10）定期的に祈り，「信仰の全き確信のうちに，真実の心を抱いて」エホバに近づく必要があります。わたしたちは，イエス・キリストの贖いの犠牲と偉大な大祭司としての奉仕とに信仰を働かせます。—ロマ 5:8。ヘブ 4:14-16；10:19-22。塔11 2/15 3:4，5

11月7日，水曜日

エホバは……ご自分のもとに避け所を求めて来る者たちを知っておられる。—ナホ 1:7。

エホバの証人は，他の宗教が行なっている事柄とは著しく対照的に，神のみ名に誉れと栄光を帰しています。み名を品位ある仕方で用いることにより，神聖なものとしています。エホバは，ご自分を信頼する者たちを喜ばれ，ご自分の民を祝福し保護するうえで必要などんなものにでもなってくださいます。（使徒 15:14）古代ユダでは大多数の人が背教しましたが，「エホバの名に避け所を得る」人もいました。（ゼパ 3:12，13）神はバビロニア人が不忠実なユダの地を征服してその民をとりこにするのを許し，ユダを罰しましたが，エレミヤ，バルク，エベド・メレクのように，それを免れた人もいました。彼らは背教した国民の「中」で生活していました。捕囚のあいだ忠実を保った人もいます。西暦前539年，キュロス配下のメディア人とペルシャ人がバビロンを征服します。キュロスは程なくして布告を出し，ユダヤ人の残りの者が故国に戻るのを許します。塔11 1/15 1:10，11

11月8日, 木曜日

彼はさげすまれ, わたしたちは彼を取るに足りない者とみなした。—イザ 53:3。

あなたもきっと, “仲間の圧力” という言葉を聞いたことがあるだけでなく, それを実際に経験したことがあるに違いありません。悪いと分かっている事柄をするよう強く勧められたことがあるでしょう。そういう時, どんな気持ちになりますか。14歳のクリストファーは, こう言っています。「逃げ出したい, でなければ目立たなくていいようにみんなと同じようにしていたい, と思う時があります」。仲間は, あなたに強力な影響を及ぼしているでしょうか。そうだとしたら, それはなぜですか。受け入れてもらいたいと思っているからでしょうか。その願い自体は悪いものではありません。大人でも, 仲間から受け入れてもらいたいと思います。年齢に関係なく, だれも, 拒否されるつらさを味わいたくはありません。とはいえ現実的に見て, 正しいことを貫くと, いつでも称賛されるわけではありません。イエスでさえ, その現実に直面しました。それでもイエスは常に, 正しいことを行ないました。塔10 11/15 2:1, 2

11月9日, 金曜日

わたしは, すべての人がわたしのようであればと願います。しかしやはり, 人はそれぞれ, ある人はこのように, 他の人はかのようにと, 神から自分の賜物を受けています。—コリ一 7:7。

イエスは結婚しませんでした。割り当てられた奉仕の務めのために準備をし, それを果たさなければなりませんでした。広範囲に旅し, 朝早くから夜遅くまで働き, 最後には自分の命を犠牲としてささげました。イエスの場合, 独身でいることは利点でした。使徒パウロは何千キロも旅行し, 宣教奉仕で大きな困難に幾度も直面しました。(コリ二 11:23-27) パウロは, 結婚したことがあったかもしれませんが, 使徒に任命されてからは独身を保ちました。(コリ一 9:5) イエスもパウロも, 奉仕の務めのために, 可能であれば自分の手本に倣うよう他の人に勧めています。とはいえ, 独身を奉仕者の条件にはしていません。(テモ一 4:1-3) 今日でも, 奉仕の務めをより良く果たせるようあえて独身を保つという選択をする人がいます。塔11 1/15 3:16, 17

11月10日, 土曜日

神のご意志は, あらゆる人が救われて, 真理の正確な知識に至ることなのです。—テモ一 2:4。

神は, 人々が真理の知識に至り, それらの人も神を崇拝し神に仕えるようになって祝福を受けることを願っておられます。宣教奉仕に精力的に励みたいという気持ちになるのは, ただ期日があるからではなく, 神のみ名を尊びたい, 神のご意志を知るよう人々を助けたいと願うからです。わたしたちは真の崇拝に対する熱心さを抱いています。(テモ一 4:16) エホバの民であるわたしたちは, 人類と地球に対する神の目的に関する真理を知るという祝福を得ています。人々が幸福と将来への確かな希望を見いだすのを助ける手段を持っています。サタンの事物の体制に滅びが臨む時に安全に守られる方法を教えることができます。(テサ二 1:7-9) エホバの日が遅れているように思えるために落胆したり失望したりするのではなく, 真の崇拝に熱心である時が残されていることを喜ぶべきです。—ミカ 7:7。ハバ 2:3。塔10 12/15 1:16, 17

11月11日, 日曜日

あなたのみ名を知る者たちはあなたに依り頼みます。—詩 9:10。

間もなく, エホバの日の比喩的な雹のあらしが地上を襲います。人間の企ては保護にはなりません。核シェルターも富も役に立ちません。イザヤ 28章17節にあるとおり,「雹は必ず偽りの避難所を一掃し, 水も激しい勢いで隠れ場所を押し流す」のです。神の民は, 現在も, 将来の物事の進展においても, 自分たちの神エホバのもとに真の安全を見いだします。ゼパニヤという名は,「エホバは隠してくださった」という意味があり, 隠れ場を確実に備えてくださる方を指し示しています。それで,「エホバの名に避け所を得る」という賢明な助言は適切です。(ゼパ 3:12) 今でさえ, わたしたちはエホバに全く依り頼んでエホバの名に避け所を得ることができます。そして, そうすべきです。では, 霊感による次の保証の言葉を日々, 思いに留めましょう。「エホバのみ名は強固な塔。義なる者はその中に走り込んで保護される」。—箴 18:10。塔11 1/15 1:20, 21

11月12日, 月曜日

神の聖霊を悲しませることのないようにしなさい。—エフェ 4:30。

若者の中には, 友達が聖書に反する行ないをしたと知った時, ジレンマに直面する人がいるかもしれません。間違った忠節心ゆえにその件について話そうとしないことがあります。悪行を犯した人から, 罪を隠しておくよう圧力を受けることさえあるでしょう。もちろん, この種の問題に直面するのは若者だけではありません。大人でも, 友達や家族の悪行について会衆の長老に知らせることに難しさを覚える人がいるでしょう。しかし, 真のクリスチャンはそうした圧力にどのように応じるべきでしょうか。わたしたちの最高の友エホバを喜ばせるのはいつでも正しいことです。エホバを第一にするとき, エホバを愛する人たちはあなたの忠節に敬意を払い, 真の友になってくれます。クリスチャン会衆内で決して悪魔にすきを与えてはなりません。もしすきを与えるなら, エホバの聖霊を悲しませることになってしまいます。わたしたちはクリスチャン会衆を清く保つように努めることによって, 聖霊と調和して行動できます。—エフェ 4:27。塔11 1/15 5:10, 12

11月13日, 火曜日

彼ら(は)世のものではありません。—ヨハ 17:16。

人類とエホバの主権に関する事柄は聖書全体を通して詳しく伝えられています。最初の三つの章は, 創造および人間の罪への堕落について述べており, 最後の三つの章は, 人類の回復を扱っています。その間の部分には, 主権者なる主エホバが人類と地球と宇宙に対するご自分の目的を成し遂げるために取られた行動が詳述されています。創世記では, サタンと悪が世に入り込んだ経緯が示されており,「啓示」の書の最後の部分では, 悪が根絶され, 悪魔が滅ぼされ, 神のご意志が天におけると同じように地においてもなされる様子が明らかにされています。聖書は, 罪と死の原因を明らかにするとともに, それらが地上の舞台から除き去られ, あふれんばかりの喜びと永遠の命が忠誠を保つ人たちにもたらされることを示しています。しかし, それから益を受け, 神の言葉に予告されている数々の祝福を楽しむには, 今, エホバの主権を擁護しなければなりません。塔10 11/15 4:13-15

11月14日, 水曜日

[エホバ]はわたしの岩, わたしの救い, わたしの堅固な高台。—詩 62:6。

予告されていたとおり, 災いが次々と洪水のように人類に押し寄せています。(マタ 24:6-8。啓 12:12) 文字どおりの洪水の場合, たいていの人は, 高台に走って逃げたり建物の屋根に上ったり, 少しでも高い場所へ行こうとします。同じように, 世界の諸問題が増大するにつれ, 大勢の人々が, 高等に思える政治や経済や宗教の組織に, あるいは科学やテクノロジーに助けを求めています。とはいえ, どれも真の安全をもたらしてはいません。(エレ 17:5, 6) 一方, エホバの僕には, 確かな避難所があります。「定めのない時に至る岩」, エホバがおられるのです。(イザ 26:4) この岩なる方をどのように避難所とできるでしょうか。わたしたちは, み言葉に留意することによってエホバに固く付きます。み言葉と人間の知恵とは相いれない場合が少なくありません。(詩 73:23,24) 例えば, イエスは, 王国の関心事をいつも第一にして絶対に安全な「天に宝を」蓄えるように勧めました。—マタ 6:19,20。塔11 3/15 2:11, 12

11月15日, 木曜日

酒に酔ってはなりません。そこに放とうがあるのです。むしろ, いつも霊に満たされ(ていなさい)。—エフェ 5:18。

アルコールの誤用は他の重大な罪につながりかねません。それで使徒パウロは今日の聖句にある言葉を書いています。また, 会衆内の年取った婦人に,「大酒の奴隷となったり」しないようにと訓戒しています。(テト 2:3) アルコールを飲むのであれば, 次の点を自問すべきです。『飲み過ぎについてイエスと同じ態度を持っているか。(ルカ 21:34) この点に関して他の人に助言する必要があるとき, はばかりなく語れるか。飲むのは, 心配から逃れたりストレスを和らげたりするためか。毎週どれぐらいの量を飲むか。飲み過ぎではないかとほのめかされたら, どう反応するか。弁解したり憤ったりするか』。大酒の奴隷となるなら, 物事をきちんと論理的に考えたり賢明な決定を下したりする能力が影響を受けかねません。キリストの追随者は, 思考力を守るように努めます。—箴 3:21, 22。塔11 2/15 4:4, 5

11月16日, 金曜日

詩と, 神への賛美と, 慈しみのこもった霊の歌とをもって互いに……訓戒し……なさい。—コロ 3:16。

パウロとシラスは獄に入れられた時, 歌の本はありませんでしたが,「祈ったり, 歌で神を賛美したりし」始めました。(使徒 16:25) もし投獄されたとしたら, 王国の歌を何曲, そらで歌えますか。音楽には崇拝における誉れある役割があることを考えると, 次のように自問するのはよいことです。「音楽に対するふさわしい認識を示しているだろうか。気持ちをこめて大きな声で歌っているだろうか。神権宣教学校と奉仕会の間の歌や, 公開講演と『ものみの塔』研究の間の歌を, 休憩のようなもの, 席を離れ, ちょっと歩いて足をほぐすような機会と見たりしないよう, 子どもを教えているだろうか」。歌うことは崇拝の一部です。わたしたちは皆, 声を合わせてエホバを賛美することができます。そして, そうすべきです。塔10 12/15 4:11, 12

11月17日，土曜日

わたしはあなた方の上に見張りの者たちを立てた。―エレ 6:17。

エレミヤは，見張りの者としての使命をエホバから受けた時，25歳ぐらいだったかもしれません。(エレ 1:1，2) エレミヤは，痛烈な糾弾と恐るべき裁きをふれ告げなければなりませんでした。しかも，祭司，偽預言者，支配者たちに対して，それに，「みんなの道」を歩んで「いつまでも続く不忠実さ」を示す人たちに対して，ふれ告げるのです。(エレ 6:13；8:5，6) 明らかに，エレミヤが伝えるよう命じられた音信は，緊急なものでした。現代，エホバは愛をもって人類に，油そそがれたクリスチャンの一団を備えておられます。比喩的な見張りの者として行動し，この世の裁きについて警告する人たちです。このエレミヤ級は幾十年にもわたり，今がどんな時代であるかに注意を払うよう人々に促してきました。聖書が強調しているように，偉大な時間厳守者エホバは遅くなることはありません。エホバの日は時間どおりに，人が予期していない時刻に来ます。―ゼパ 3:8。マル 13:33。ペテ二 3:9，10。塔11 3/15 4:4，5

11月18日，日曜日

エホバの霊がわたしの上にある。―ルカ 4:18。

イエスは聖霊によって油そそがれました。『貧しい者に良いたよりを宣明するため，捕らわれ人に釈放を，盲人に視力の回復を宣べ伝え，打ちひしがれた者を解き放して去らせ，エホバの受け入れられる年を宣べ伝えるため』でした。(ルカ 4:18，19) イエスはバプテスマを受けた時，聖霊によって，人間となる以前に学んだ事柄を知ったようです。それには，メシアとしての地上での宣教期間中に成し遂げるようにと神が願っておられる事柄も含まれていました。(イザ 42:1。ルカ 3:21，22。ヨハ 12:50) イエスは，聖霊によって力を与えられ，身体も知能も完全だったので，史上最も偉大な人だっただけでなく，最も偉大な教え手でもありました。(マタ 7:28) その理由の一つとして，イエスは，人類の抱える様々な問題の根本原因，つまり罪，不完全さ，霊的な無知に注意を向けることができました。さらに，人々が心の中で本当はどのような人かを見抜き，それに応じて接することもできました。―マタ 9:4。ヨハ 1:47。塔10 12/15 3:7，8

11月19日，月曜日

二人は一人に勝る。彼らはその骨折りに対して良い報いを得るからである。―伝 4:9。

目標と活動が一致しているなら，結婚のきずなは強まります。(伝 4:10) 残念なことに，今日，多くの夫婦はあまり一緒に時間を過ごしません。別々の仕事を長い時間行ないます。世俗の仕事のためにほうぼうを飛び回る人や，外国に単身赴任して家族に仕送りする人もいます。家にいても，互いに孤立している夫婦もいます。テレビ，趣味，スポーツ，テレビ・ゲーム，インターネットに時間を費やしているためです。これはあなたの家庭にも当てはまりますか。そうであれば，もっと一緒に時間を過ごすよう調整できるでしょうか。食事の準備や後片付け，庭仕事など，日常の事柄を共に行なうのはいかがですか。子どもの世話や老齢の親の援助に一緒に取り組めるでしょうか。何より重要な点として，エホバの崇拝に関連した活動を定期的に一緒に行ないましょう。塔11 1/15 2:13，14

11月20日, 火曜日

神は愛……です。—ヨハ一 4:8。

神への信仰また愛や深い畏敬の念を抱くのに, 創造のすべてを知る必要はありません。人間の友情と同様, エホバへの信仰は単なる事実以上のものに基づいています。互いをよく知るにつれて友人との関係が深まるように, 神について学ぶにつれて神への信仰が深まります。神が祈りに答えてくださり, 生活に神の原則を当てはめることの益に気づくと, 神の存在が印象づけられます。エホバが歩みを導き, 保護し, 神への奉仕における努力を祝福し, 必要なものを備えてくださっている, という証拠を数多く目にするにつれ, いっそうエホバに引き寄せられます。こうした事柄すべては, 神の存在と聖霊の働きを強力に裏づけるものです。聖書を注意深く研究すると, すべてのものを創造した方である神への信仰を築くことができます。(啓 4:11) エホバは, 愛という魅力的な特質の表明として創造を行なわれました。塔11 2/15 1:19, 20

11月21日, 水曜日

[ノアは]まさにそのとおりに行なった。—創 6:22。

神は, 地に大洪水をもたらして肉なるものすべてを滅ぼすという決定をノアにお告げになります。(創 6:13, 17) そして, 巨大な箱の形をした船を造るよう命じます。ノアとその家族は仕事に取りかかります。指示に従い, 神の裁きが到来する時に用意のできていることを示す点で, 何が助けになったでしょうか。ノアとその家族は, 深い信仰と敬虔な恐れに動かされて,神から命じられたとおりに行ないました。(ヘブ 11:7) ノアは家族の頭として, 霊的に注意を怠らず, その古代の世の腐敗した事柄を避けました。(創 6:9) ノアは次のことを理解していました。家族は周囲の人々の暴力的な振る舞いや反抗的な態度を身に着けないよう警戒していなければならない, ということです。また, 日常の事柄に没頭してしまわないようにすることも大切でした。神はなすべき仕事を与えておられ, 家族全員がそれを生活の中心にすることが肝要でした。(創 6:14, 18) 今日, 世界じゅうの兄弟たちの中に, 最善を尽くしてノアに倣っている家族の頭がいます。本当に励まされます。塔11 3/15 3:6, 7, 9

11月22日, 木曜日

主権者なる主エホバのもとに, わたしは自分の避難所を置きました。—詩 73:28。

み言葉を毎日読んで, 神について明らかにされている事柄を黙想することによって, 神への愛を培えます。心のこもった祈りの中で, エホバを賛美し, 施してくださる善良さに感謝することができます。(フィリ 4:6, 7) エホバに向かって歌い, 神の民との定期的な交わりから益を得ることができます。(ヘブ 10:23-25) そして, 神への愛は, 宣教奉仕に参加して「その救いの良いたより」を告げる時にも深まります。(詩 96:1-3) わたしたちは, エホバの主権を擁護し, 忠誠を保ちます。義を伝道し, 人々を弟子とし, 聖書の助言を適用し, 集会や大会で仲間の信者と集まり合うことによって, そうします。こうした活動は, 勇気を抱き, 霊的に強くあり, 神のご意志を首尾よく行なううえで助けになります。これはわたしたちにとって難しすぎるものではありません。天のみ父とみ子の支えがあるからです。—申 30:11-14。王一 8:57。塔10 11/15 5:21, 23

11月23日, 金曜日

わたしたちはあきらめません。—コリ二 4:16。

この事物の体制の終わりが期待していたほど早く来ていないために幾らか失意を感じている人もいるかもしれません。(箴 13:12) そう感じている人も, ハバクク 2章3節の言葉から励みが得られます。こうあります。「この幻はなお定めの時のためのものであり, 終わりに向かって息をはずませてゆく……。それは偽ることはない。たとえ遅れようとも, それを待ちつづけよ。それは必ず起きるからである。遅くなることはない」。この事物の体制の終わりはまさに予定の時に来るというエホバの保証があるのです。エホバの忠実な僕は皆, 疲労や失意がなくなる日, だれもが「若い時の精力」を持てる日を待ち望んでいます。(ヨブ 33:25) 今でさえ, 霊的な活動に参加する時に元気づけられ, 聖霊の働きによって内なる人が強められます。—エフェ 3:16。塔11 1/15 4:17, 18

11月24日, 土曜日

霊に燃えなさい。—ロマ 12:11。

『燃える』と訳されている語は, 字義的には「沸騰している」という意味です。(王国行間逐語訳[英語]) やかんの水を沸騰させておくには, 熱を加え続ける必要があります。同じように, 「霊に燃え」ているには, 神の霊が絶えず流れている必要があります。そのための方法は,霊的に強めるためのエホバの備えすべてを活用することです。これは, 家族や会衆での崇拝を重要視し, 個人や家族の研究, 祈り, 仲間のクリスチャンとの集いの面で定期的である, ということです。そうすれば, 「沸騰」状態を保つための“火”が得られ, 「霊に燃え」ていることができます。(使徒 4:20; 18:25) 献身したクリスチャンであるわたしたちの目的は,イエスのように, 何であれエホバが望まれる事柄を行なうことです。(ヘブ 10:7) 今日, エホバのご意志は, できるだけ多くの人がエホバと和解することです。ですから, イエスとパウロに見倣い,今日なされるべきこの最も重要な務め, 最も緊急な務めに熱心に励みましょう。—コリ一 11:1。塔10 12/15 2:16-18

11月25日, 日曜日

わたしの唇は喜び叫びます。—詩 71:23。

建てて植えるエレミヤの業は実を結びます。ユダヤ人の中にも,非イスラエル人の中にも, 西暦前607年のエルサレムの滅びを生き残った人がいました。レカブ人やエベド・メレクやバルクです。(エレ 35:19; 39:15-18; 43:5-7) 忠節で神を恐れるこうしたエレミヤの友たちは,今日, エレミヤ級の友である地的な希望を抱く人たちをよく表わしています。エレミヤ級は, この「大群衆」を霊的に築き上げることに大きな喜びを感じています。(啓 7:9) そして, 油そそがれた者たちのそれら忠節な仲間も,心の正直な人が真理の知識に至るのを助けることに深い満足を覚えています。神の民は, 良いたよりを宣べ伝えることがそれを聞く人たちへの公の奉仕であるだけでなく神への崇拝の行為でもあることを理解しています。聞く耳を持つ人がいてもいなくても, 宣べ伝えてエホバに神聖な奉仕をささげることは,わたしたちに大きな喜びをもたらします。—ロマ 1:9。塔11 3/15 4:14, 15

11月26日, 月曜日

ルステラとイコニオムの兄弟たちから良い評判を得ていた。—使徒 16:2。

テモテは, 独身の立場を善用した若者です。幼い時から母ユニケと祖母ロイスによって「聖なる書物」を教えられました。(テモ二 1:5; 3:14,15) とはいえ, 彼らがキリスト教を受け入れたのは, 西暦47年ごろ, パウロが彼らの住むルステラを初めて訪れた時だったようです。その2年後, パウロが2度目に訪れた時, テモテはおそらく十代後半か二十代前半だったでしょう。比較的若くて真理に新しかったものの, ルステラや近くのイコニオムのクリスチャンの長老たちから良い評判を得ていました。(使徒 16:1) それでパウロは, 旅仲間として同行するようテモテを招きます。(テモ一 1:18; 4:14) テモテが一生独身だったのかどうか確かなことは分かりません。しかし, テモテが若い時にパウロの招きに喜んで応じ, その後幾年もの間, 独身の宣教者また監督として奉仕を楽しんだことは確かです。—フィリ 2:20-22。塔11 1/15 3:7

11月27日, 火曜日

あなた方の体を, 神に受け入れられる, 生きた, 聖なる犠牲として差し出しなさい。—ロマ 12:1。

神の是認を得るには, 自分の体を神に受け入れられる状態に保つ必要があります。たばこ, ビンロウジ, 違法薬物, アルコールの乱用などによって, 自分を汚すとしたら, 自分の体という捧げ物には何の価値もなくなります。(コリ二 7:1) さらに,「淫行を習わしにする人は自分の体に対して罪をおかしている」ので, どんな不道徳行為も, その人の犠牲をエホバにとって不快なものとします。(コリ一 6:18) エホバを喜ばせるには,「すべての行状において聖なる者」とならなければなりません。(ペテ一 1:14-16) エホバが喜ばれる別の犠牲は, わたしたちの言葉の力と関係があります。エホバを愛する人は昔から, いつでもエホバをたたえてきました。(詩 34:1-3) 詩編 148-150 編を読んで, エホバを賛美するよう幾度も促されていることに注目してください。「廉直な者たちにあって賛美はふさわしい」のです。(詩 33:1) わたしたちの手本であるイエス・キリストは, 良いたよりを宣べ伝えることによって神を賛美することの大切さを強調しました。—ルカ 4:18, 43, 44。塔11 2/15 2:12, 13

11月28日, 水曜日

義を求め…… よ。—ゼパ 2:3。

わたしたちは, エホバの大いなる日の到来を待ちつつ, エホバの義を求めてゆかなければなりません。それで, エホバ神の廉直な道に対する純粋な愛を表わしましょう。それには,「義の胸当て」をしっかり着けて心を守ることも含まれます。(エフェ 6:14) エホバの「目はあまねく全地を行き巡っており, ご自分に対して心の全き者たちのためにみ力を表わして」くださいます。(代二 16:9) この言葉は本当に励みとなります。わたしたちは, 問題の多いこの世界において, 不安定や暴力や悪が増大する中で, 正しいことを行なうからです。神から疎外された人類は, わたしたちの義の道に当惑するかもしれません。しかし, わたしたちはエホバの義に固く付くことによって大いに益を得ます。(イザ 48:17。ペテ一 4:4) ですから, 全き心を持ち, 心から義を愛して実践することに楽しみを見いだしてゆこう, との決意を抱きましょう。塔11 2/15 3:18, 19

11月29日, 木曜日

全世界が邪悪な者の配下にある。—ヨハ一 5:19。

音楽とその歌詞はわたしたちの感情に,それゆえ心にも,強い影響を及ぼす場合があります。音楽自体は神からの賜物であり, 昔から真の崇拝で用いられてきました。(出 15:20, 21。エフェ 5:19) しかし, サタンの邪悪な世は不道徳を美化する音楽を広めています。聴く音楽によって自分が汚されていないかどうか, どうすれば分かるでしょうか。まずは, 次のように自問できます。『自分の聴いている歌は, 殺人, 姦淫, 淫行, 冒とくを美化しているか。歌詞をだれかに読んだとしたら, 相手はわたしが不法を憎んでいるという印象を受けるか。それとも,その歌詞は自分の心が汚されていることを示すものか』。歌で不法を美化しながらそれを憎んでいると主張することはできません。イエスはこう述べています。「口から出るものは心から出て来るのであり, それが人を汚します」。—マタ 15:18。ヤコブ 3:10, 11と比較。塔11 2/15 4:11, 12

11月30日, 金曜日

イエスは彼に言われた,「サタンよ, 離れ去れ!『あなたの神エホバをあなたは崇拝しなければならず, この方だけに神聖な奉仕をささげなければならない』と書いてあるのです」。—マタ 4:10。

イエスは, 悪魔の誘惑に抵抗するために聖書に頼りました。わたしたちは, なおさらそうすべきではないでしょうか。悪魔とその働きかけに抵抗する強さを持つにはまず,神の規準をよく知って,それをしっかり守り通そうという決意が必要です。多くの人が, 聖書を学んで神の知恵と義を認識するようになり,聖書の規準に沿って生きるよう動かされてきました。「神の言葉」は力を及ぼし,「心の考えと意向とを」見分けることができるのです。(ヘブ 4:12) 聖書を読んで黙想すればするほど,『エホバの真実さに対する洞察』が得られます。(ダニ 9:13) ですから, 自分の特定の弱点と関係のある聖句を深く考えるのはよいことです。塔11 1/15 4:6, 7

12月1日, 土曜日

何事にも定められた時がある。天の下のすべての事には時がある。—伝 3:1。

様々な活動に価値があるとはいえ, その時々で行なわなければならない最も重要な務めが何かを見極める必要があります。つまり, 優先順位を正しく定めなければならないのです。イエスは地上において, 自分の生きている時と行なう必要のある事柄とを強く意識していました。何を優先すべきかをはっきり理解しており, メシアに関する多くの預言が成就する待望の時が来ていることを知っていました。(ペテ一 1:11。啓 19:10) イエスには, 自分が約束のメシアであることを明らかにするために行なうべき業がありました。王国の真理を徹底的に証しし, 王国で共同相続者となる人々を集めなければなりませんでした。クリスチャン会衆の土台も据えなければなりませんでした。その会衆は, 地の果てにまで宣べ伝えて人々を弟子とするという業を果たすのです。—マル 1:15。塔10 12/15 2:1, 2

12月2日, 日曜日

彼は三回打ってやめた。—王二 13:18。

神への奉仕に熱心であることの重要性を示す一例として, イスラエルのエホアシュ王に起きた事柄に注目しましょう。王は, イスラエルがシリアの手に落ちることを心配し, エリシャのところに来て泣きます。エリシャはエホアシュに, 窓からシリアに向けて矢を射るよう命じます。これは, エホバのみ手によってシリアに対する勝利が得られることを示すものでした。このことで,王は力づけられたに違いありません。次に, 矢を取ってそれで地を打つようエリシャが命じると, エホアシュは地を3回打ちました。エリシャは激怒します。地を5回か6回打っていたなら『シリアを徹底的に討ち倒せた』のです。エホアシュは, 3回だけの部分的な勝利しか収められません。熱意の欠けた行動を取ったゆえに, 限られた成功しか収められませんでした。(王二 13:14-19) 同様にわたしたちは, 心をこめて熱心に神の業を行なうときに初めて, エホバの祝福を豊かに得られるのです。塔10 4/15 4:11

12月3日, 月曜日

古い人格をその習わしと共に脱ぎ捨て(なさい)。—コロ 3:9。

自分が神の霊の影響を受けているか, それとも世の霊の影響を受けているかが本当に試みられるのは, 問題のない時ではなく,問題がある時です。例えば,クリスチャンの兄弟姉妹から無視されたり, 感情を害されたり, さらには罪を犯されたりする場合です。(コリ一 2:12) また, 家にいる時に, どちらの霊に支配されているかが明らかになるかもしれません。こう自問できます。『過去6か月で, 自分の人格はいっそうキリストに似るものとなっただろうか。それとも, 良くない話し方や行動の仕方に逆戻りしているところがあるだろうか』。「新しい人格」を身に着けるなら, 愛や親切をいっそう示せるようになります。(コロ 3:10) 不満の正当な理由があると感じる時でも, 互いに惜しみなく許そうとするようになります。不当と思える扱いを受けても, 「悪意のある苦々しさ, 怒り, 憤り, わめき, ののしりのことば」で応じたりはしないでしょう。むしろ, 「優しい同情心」を示すよう努力を傾けます。—エフェ 4:31,32。塔11 3/15 1:12, 13

12月4日, 火曜日

麦粉の大きなつぼはからにならず, 油の小さなつぼも乏しくならない。—王一 17:14。

ザレパテのやもめが持っている食べ物は,「大きなつぼに一握りの麦粉と, 小さなつぼに少しの油があるだけ」です。預言者に食べ物は与えられないと思ったやもめは, 彼にそう告げます。(王一 17:8-12) エリヤはあきらめず,「小さな丸い菓子」を作るように求め, エホバが彼女と息子のために引き続き食物を備えてくださることを保証します。やめもが直面した問題は, なけなしの食物をどうするかを決めるよりも重要な意味を持つものでした。このやもめは自分と息子を救ってくださるとエホバを信頼するでしょうか。それとも, 神の是認と友情を得るよりも物質的な必要を優先するでしょうか。同様の問いがわたしたちすべての前に置かれています。わたしたちは, 物質的安定を求めるよりもエホバの是認を得ることのほうに関心を払うでしょうか。神を信頼し神に仕えるべき十分の理由があります。そして, 神の是認を求め, それを得るために, できる事柄があります。塔11 2/15 2:1-3

12月5日，水曜日

それゆえに，男はその父と母を離れて自分の妻に堅く付き，ふたりは一体となるのである。—創 2:24。

結婚の創始者であるエホバ神は，確かに敬意を受けるに値する方です。創造者，主権者，天の父であるエホバは，「あらゆる良い賜物，またあらゆる完全な贈り物」の与え主と呼ばれるにふさわしい方です。(ヤコ 1:17。啓 4:11) 聖書は結婚を，神からのそうした「良い」賜物の一つとして述べています。(ルツ 1:9; 2:12) エホバは最初の結婚式を執り行なわれた際，夫婦のアダムとエバに，成功するための明確な指示をお与えになりました。(マタ 19:4-6) 今日，多くの人が，この最初の夫婦のように，エホバの指導にほとんど考慮を払わずに結婚生活における決定を下します。結婚を完全に否定する人もいれば，自分の都合のいいように定義し直そうとする人もいます。(ロマ 1:24-32。テモ二 3:1-5) 結婚が神からの賜物であるという事実を無視するとともに，その賜物を尊ばないで，与え主であるエホバ神への敬意が欠けた行動を取っています。塔11 1/15 2:1-3

12月6日，木曜日

彼らは神の義を知らないで，自分たち自身の義を確立しようと努めたために，神の義に服さなかった。—ロマ 10:3。

使徒パウロは，ローマのクリスチャンたちへの手紙の中で，神の義を首尾よく第一に求めてゆこうとする人すべてが避けるべき，ある危険を強調しました。パウロによれば，同胞のユダヤ人たちは，自分たち自身の義を確立しようと躍起になっていたため，神の義を理解することができなかったのです。今日でも，神への奉仕を競争のようにみなし，自分を他の人たちと比較するなら，そのような落とし穴に陥る可能性があります。そうした態度を抱いていると，自分の能力を過信するようになりがちです。実のところ，そのように行動する人は，エホバの義を忘れているのです。(ガラ 6:3, 4) 義にかなったことを行なうための正しい動機となるのは，エホバに対する愛です。しかし，自分がいかに義にかなっているかを示そうとするなら，エホバを愛しているという主張はむなしいものになってしまいます。—ルカ 16:15。塔10 10/15 2:5, 6

12月7日，金曜日

わたしたちの前を行く神を作ってください。—出 32:1。

ある時，モーセの兄アロンは仲間の圧力に負けてしまいました。イスラエル人から自分たちのために神を作るよう求められた時，そうしたのです。アロンは弱々しい人ではありませんでした。以前に，モーセと共にエジプトの最高権力者ファラオの前に立ち，大胆に語り，神の音信を告げました。しかし，仲間のイスラエル人から圧力を受けた時には，屈してしまったのです。仲間の圧力は何と強力なのでしょう。アロンにとって，エジプトの王に立ち向かうよりも，仲間に立ち向かうほうが難しかったのです。(出 7:1, 2; 32:2-4) アロンの例から分かるように，仲間の圧力は若い人だけが受けるものではありません。あなたを含め，正しいことをしたいと誠実に願っている人にも影響を及ぼしかねません。あなたの友達は，けしかけたり，非難したり，あざけったりして，悪いことをさせようとするかもしれません。仲間の圧力がどんな形で来るとしても，立ち向かうのは容易ではありません。首尾よく抵抗するには，まず，自分が信じている事柄に対する確信を培うことです。塔10 11/15 2:4, 5

12月8日, 土曜日

あなたの神エホバがあなたの中におられる。強大な方であり, 救いを施してくださる。歓びを抱いてあなたのことを歓喜される。その愛のうちに沈黙される。幸福な叫びを上げてあなたのことを喜ばれる。—ゼパ 3:17。

ゼパニヤは, 真の崇拝の回復を経験する人たちについて, エホバが彼らを救い, 彼らのことを歓ばれると予告しました。(ゼパ 3:14-16) これは, 現代にも当てはまります。神の王国が天で設立された後, エホバは, 油そそがれた者たちのうちの忠実な残りの者を大いなるバビロンへの霊的な捕らわれから救出なさいました。そして, 今日まで彼らのことを歓んでおられます。地上で永久に生きる希望を抱く人たちも, 大いなるバビロンから出て, 偽りの宗教の教えからの霊的な解放を味わっています。(啓 18:4) それゆえ,『地の柔和なすべての者たちよ, エホバを求めよ』というゼパニヤ 2章3節の言葉は, 現代に主要な成就を見ています。**あらゆる**国民のうちの柔和な者が, 天で生きる希望を抱く者も地上で生きる希望を抱く者も,エホバの名に避け所を得ています。塔11 1/15 1:12, 13

12月9日, 日曜日

エホバよ, わたしの口の自発的な捧げ物をどうか喜んでください。—詩 119:108。

わたしたちは熱心に宣べ伝えることにより,エホバへの愛,およびエホバの是認を願う気持ちを示します。一例として, 偽りの崇拝を行なって神の恵みを失っていたイスラエル人に預言者ホセアがどのように説き勧めたかを考えましょう。(ホセ 13:1-3) ホセアは, 次のようにエホバに懇願するよう民に命じました。「とがをお赦しください。良いものを受け入れてください。わたしたちは代わりに自分の唇の若い雄牛をささげます」。(ホセ 14:1, 2) 雄牛は, イスラエル人がエホバにささげることのできた最も高価な動物でした。ですから,「自分の唇の若い雄牛」とは, まことの神を賛美するための考え抜かれた誠実な言葉のことです。エホバはそうした犠牲をささげた人たちに, どう応じられたでしょうか。「自ら進んで彼らを愛する」と言われました。(ホセ 14:4) エホバは, そうした賛美の犠牲をささげる人を許し,是認し,その友となられたのです。エホバを公に賛美することは, いつの時代も真の崇拝の際立った特色です。塔11 2/15 2:14-16

12月10日, 月曜日

災いを見て身を隠す者は明敏である。—箴 22:3。

どんな誘惑に抵抗しなければなりませんか。誤った一歩がどのように次の一歩につながり, 重大な悪行に至りかねないかについて, 深く考えるのは, 賢明なことです。(ヤコ 1:14, 15) 不忠実な行動がエホバと会衆と家族にもたらす痛みを考えてください。一方,神の原則に対する忠節を保つなら, 清い良心を持てます。(詩 119:37) こうした試みに直面する時はいつでも, 抵抗する強さを祈り求めるよう決意しましょう。サタンは, わたしたちの忠誠を試みるのに都合の良い時を探しています。ですから, 霊的な強さを保つことが肝要です。サタンはたいてい, 標的とする人が最も弱い時をねらって攻撃します。それで,疲労や失意を感じる時はいつでも, 保護と聖霊を求めてエホバに請願するよう, いっそう固く決意すべきです。—コリ二 12:8-10。塔11 1/15 4:9,10

12月11日，火曜日

完全にそろった，神からの武具を身に着けなさい。—エフェ 6:11。

最近エホバに献身した人であれ，何十年も神聖な奉仕をささげてきた人であれ，霊的な武具を日々点検することは極めて重要です。なぜでしょうか。悪魔と悪霊たちが地の近辺に投げ落とされているからです。（啓 12:7-12）サタンは怒りを抱いており，自分の時が限られていることを知っています。そのため神の民をいよいよ激しく攻撃しています。わたしたちは，「義の胸当て」を着けていることの重要性を認識しているでしょうか。（エフェ 6:14）胸当てが心臓を保護するように，義は心を守ります。わたしたちは不完全なので，心は不実で必死になる傾向があります。（エレ 17:9）心には，間違ったことを行なう傾向があるので，訓練や鍛錬が欠かせません。（創 8:21）「義の胸当て」の必要性を認識しているなら，それを一時的に外して神の憎まれる事柄を楽しんだりせず，悪行に携わることを空想したりもしません。塔11 2/15 3:6，7

12月12日，水曜日

兄弟愛のうちに互いに対する優しい愛情を抱きなさい。互いを敬う点で率先しなさい。—ロマ 12:10。

パウロはこの言葉を，油そそがれたクリスチャンたちに，つまり同じ父エホバによって養子とされた人々にあてて書きました。ですから，非常に重要な意味において，それらの人は**実際に**一つの緊密な家族を構成していました。（ロマ 12:5）それゆえに，パウロの時代の油そそがれたクリスチャンには確かに，互いに敬意を抱くべき強力な理由があったのです。今日の油そそがれた人たちについても同じことが言えます。「ほかの羊」の人たちについてはどうでしょうか。（ヨハ 10:16）それらの人は，まだ神によって養子とされてはいませんが，一つに結ばれた世界的なクリスチャン家族を構成しているゆえに，適切にも互いを兄弟姉妹と呼ぶことができます。（ペテ一 2:17；5:9）ですから，ほかの羊の人々も，なぜ仲間を「兄弟」または「姉妹」と呼んでいるのかを十分に認識しているのであれば，信仰の仲間に対してぜひとも心からの敬意を抱くべきでしょう。—ペテ一 3:8。塔10 10/15 3:8，9

12月13日，木曜日

あなた方はいつまでもエホバに依り頼め。ヤハ，エホバに，定めのない時に至る岩があるからだ。—イザ 26:4。

次のように自問しましょう。『自分は，エホバに絶対の信頼を抱くほどエホバを知っているだろうか。神がすべてを掌握しておられると知っているゆえに，確信をもって将来に目を向けるだろうか』。楽園や復活の約束のように，待ち望んでいる事柄について，エホバを信頼するのは，それほど難しくないかもしれません。しかし，道徳面でエホバを信頼し，エホバの道と規準に服するのは正しいことで最大の幸せをもたらすと心から確信するのは，難しい場合もあります。ソロモン王は次のような訓戒を記しました。「心をつくしてエホバに依り頼め。自分の理解に頼ってはならない。あなたのすべての道において神を認めよ。そうすれば，神ご自身があなたの道筋をまっすぐにしてくださる」。（箴 3:5，6）「道」や「道筋」という表現に注目してください。クリスチャンの希望に関してだけでなく，わたしたちの歩み全体に，神への信頼が反映されているべきなのです。塔11 3/15 2:4，5

12月14日, 金曜日

これに相当するもの,すなわちバプテスマ……がまた,……今あなた方を救っているのです。—ペテ一 3:21。

バプテスマの目的をどのように説明しますか。罪に陥らないよう自分をとどめるため,と考える人がいるでしょう。とはいえ,バプテスマは,内心では願っている事柄を行なうのをとどめる契約のようなものではありません。エホバの証人になるとはどういうことなのかを十分に理解し,その責任を担う用意と気持ちが自分にあると確信してから,受けるべきものです。(伝 5:4,5) バプテスマを受ける一つの理由は,イエスが追随者たちに,『人々を弟子とし,彼らにバプテスマを施しなさい』と命じたことです。イエスは,バプテスマを受けることによって手本も示しました。(マタ 28:19,20) さらに,バプテスマは,救われることを願う人たちにとって重要な段階です。とはいえバプテスマは,災害に見舞われた場合のために加入する保険のようなものではありません。エホバを愛し,心と魂と思いと力をこめてエホバに仕えたいと願うので,受けるのです。—マル 12:29,30。塔10 11/15 3:12,13

12月15日, 土曜日

あなた方の労苦が主にあって無駄でないことを知っているのですから,堅く立って,動かされることなく,主の業においてなすべき事を常にいっぱいに持ちなさい。—コリ一 15:58。

日々の聖句を共に考慮し,家族の崇拝を行なうことは,家族の考えや目標を調和させる優れた機会となります。宣教にも一緒に参加しましょう。できるなら,1か月あるいは1年だけだとしても,共に開拓奉仕を行なってください。夫と共に開拓奉仕をした姉妹は,こう語っています。「宣教奉仕は,共に時間を過ごして本当に話ができた機会の一つでした。他の人を霊的に助けるという共通の目標があったので,本当のチームだと感じました。主人に対して,夫としてだけでなく親友としても親しみが増しました」。価値ある事柄を一緒に行なうなら,あなたの関心,優先順位,習慣は,しだいに配偶者と似るようになり,やがて,アクラとプリスキラのように,ますます「一体」として考え,感じ,行動するようになるでしょう。—創 2:24。塔11 1/15 2:14

12月16日, 日曜日

哀れみをお感じになった。—マタ 9:36。

困難な状況のもとでも宣べ伝えるようエレミヤを動かしたものは,何だったでしょうか。人々への愛です。エレミヤは,偽りの牧者たちが人々の直面する問題の多くを引き起こしていることを知っていました。(エレ 23:1,2) そのため,愛と同情心をもって業を行なうことができました。同国人が神の言葉を聞いて生きることを願いました。(エレ 8:21; 9:1) あなたも,人々が「羊飼いのいない羊のように痛めつけられ,ほうり出されて」いるのを見て,慰めとなる神の王国のたよりを伝えたいと思うのではないでしょうか。エレミヤは,助けたいと思っていたまさにその人たちに苦しめられました。しかし,仕返ししたり,苦々しく思ったりしませんでした。堕落したゼデキヤ王に対してさえ,辛抱強く親切でした。自分を死に処することをゼデキヤが許した後も,エホバの声に従うよう彼に嘆願しています。(エレ 38:4,5,19,20) わたしたちの人々への愛も,エレミヤと同じほど強いでしょうか。塔11 3/15 4:7,8

12月17日，月曜日

［イエス］は，自分自身が試練に遭って苦しんだので，試練に遭っている者たちを助けに来ることができるのです。―ヘブ 2:18。

イエスが人間としての生活を経験したことは，王としての資格を備えるうえで大きな助けとなりました。使徒パウロはこう書いています。「彼はすべての点で自分の『兄弟たち』のようにならなければなりませんでした。神にかかわる事柄において憐れみ深い忠実な大祭司となり，民の罪のためになだめの犠牲をささげるためでした」。（ヘブ 2:17）イエスは『試練に遭った』ので，試みを経験している人を思いやることができます。イエスの同情心は，地上での宣教期間中にはっきり示されました。病気の人，体の不自由な人，抑圧されている人，また子どもでさえ，イエスに気兼ねなく近づくことができました。（マル 5:22-24，38-42；10:14-16）霊的に飢えた柔和な人たちもイエスに引き寄せられました。一方，誇り高い人，ごう慢な人，「自分のうちに神への愛を抱いていない」人は，イエスを退け，憎み，反対しました。―ヨハ 5:40-42；11:47-53。塔10 12/15 3:9

12月18日，火曜日

あなた方の間に愛があれば，それによってすべての人は，あなた方がわたしの弟子であることを知るのです。―ヨハ 13:35。

イエスは追随者たちに，互いに自己犠牲的な愛を示すよう命じました。（ヨハ 13:34）その愛は，弟子たちを見分けるしるしとなります。またイエスは，次のようにも勧めました。「あなた方の敵を愛しつづけ，あなた方を迫害している者たちのために祈りつづけなさい」。（マタ 5:44）イエスは弟子たちに，愛について教えるとともに，憎むべき事柄をも教えました。イエスについてこう記されています。「あなたは義を愛し，不法［邪悪］を憎んだ」。（ヘブ 1:9。詩 45:7）ですからわたしたちは，義に対する愛だけでなく，罪すなわち不法に対する憎しみも培わなければなりません。注目すべき点として，使徒ヨハネははっきりとこう述べています。「すべて罪を習わしにする者は，不法をも習わしにしています。それで，罪は不法です」。（ヨハ一 3:4）クリスチャンであるわたしたちは，『自分は不法を憎んでいるだろうか』と自問すべきです。塔11 2/15 4:1-3

12月19日，水曜日

わたしは決してあなたを離れず，決してあなたを見捨てない。―ヘブ 13:5。

「世」と「世にあるもの」に対するあなたの態度には，神への全き信頼が表われているでしょうか。（ヨハ一 2:15-17）あなたにとって，霊的な富や王国奉仕の特権は，世の差し伸べるものよりも願わしく重要でしょうか。（フィリ 3:8）『純一な目』を保つよう励んでいますか。（マタ 6:22）もちろん神は，無分別や無責任な態度を望んでおられるわけではありません。世話すべき家族がいる場合は，特にそう言えます。（テモ一 5:8）とはいえ，神は僕たちに，滅びゆくサタンの世ではなくご自分に全く依り頼むことを期待しておられます。ロイとペティーナという夫婦は，まだ娘が一人同居していますが，世俗の仕事を減らして全時間宣教を行なえるようになりました。ロイはこう語ります。「息子と娘が生まれる前は二人で開拓奉仕をしており，その後も開拓奉仕への意欲を持ち続けていました。子どもたちが成長したので，全時間宣教を再開しました。受けている祝福はお金には換えられません」。塔11 3/15 2:13，16

12月20日，木曜日

立ち止まって，神のくすしいみ業にあなたが注意深いことを示せ。―ヨブ 37:14。

逆境は様々な形を取ります。経済的苦境，失業，自然災害，家族や友人の死，重い病気などです。今は「危機の時代」なので，当然ながら，だれもがいずれは何らかの試練に対処しなければなりません。(テモ二 3:1) そのような時，慌てふためかないことが大切です。聖霊は，どんな逆境をも耐え忍べるようわたしたちに力を与えることができます。ヨブは，次から次へと逆境に遭いました。生計手段を失い，子どもを亡くし，友を失い，健康を損ないました。妻がエホバへの信頼を失いました。(ヨブ 1:13-19; 2:7-9) ヨブが試練を耐え忍ぶ助けになったのは何でしたか。わたしたちが試練を耐え忍ぶのに何が助けになりますか。エホバの聖霊と力の様々な働きを思い起こし，熟考することです。(ヨブ 38:1-41; 42:1, 2) これまでの人生で自分個人に対する神の関心の証拠を目にした時のことを思い出せることでしょう。神は今でもわたしたちに関心を払っておられます。塔11 1/15 5:13, 14

12月21日，金曜日

神は……あなた方が耐えられる以上に誘惑されるままにはせず，むしろ……誘惑に伴って逃れ道を設けてくださるのです。―コリ一 10:13。

パウロが述べた誘惑はどこから来ますか。神はどのように逃れ道を設けてくださるのでしょうか。荒野でのイスラエルの経験に示されているように，「誘惑」は，神の律法を破ることになりかねない状況で生じます。(コリ一 10:6-10) わたしたちが直面する誘惑は人間に共通のものです。抵抗するのに必要な努力を払い，神に支えを求めて頼るなら，忠誠を保てます。エホバがわたしたちを見捨てて，人間にとってご意志を行なえないほどの状況に陥るのをお許しになる，ということは決してありません。(詩 94:14) エホバは，誘惑に抵抗できるよう強めることによって，「逃れ道」を設けてくださいます。神への忠実さを保てないほど状況がひどくなるのをお許しにはなりません。神は，わたしたちの信仰を強め，忠誠を保つのに必要な霊的強さを与えることがおできになります。塔10 11/15 4:16, 17, 19, 20

12月22日，土曜日

この幻はなお定めの時のためのものであ(る)。……それを待ちつづけよ。それは必ず起きるからである。遅くなることはない。―ハバ 2:3。

預言者ハバククは，この邪悪な体制の終わりに関して，このような保証を与えています。次のように自問しましょう。『自分の生活には，本当に時の緊急性が反映されているだろうか。自分の生き方には，間もなく終わりが来るという期待が表われているだろうか。それとも，自分の決定や優先順位には，終わりが今にも来るとは思っていないこと，それどころか，そもそも終わりが来ると確信してはいないことが表われているだろうか』。見張りの者級の仕事はまだ終わっていません。(エレ 1:17-19) 油そそがれた残りの者が「鉄の柱」や「銅の城壁」のように動かされることなく立っているのは，なんとうれしいことでしょう。彼らは，『真理を帯として腰に巻いて』います。使命を果たし終えるまで，神の言葉によって強められるようにしているのです。(エフェ 6:14) 大群衆に属する人たちも，同様の決意を抱き，神からの割り当てを果たすエレミヤ級を積極的に支えています。塔11 3/15 4:16-18

12月23日，日曜日

エホバの日の臨在を……しっかりと思いに留め(なさい)。―ペテ二 3:12。

ノアとその妻，息子たちとその妻たちは，箱船建造のために50年ほど働いたと思われます。その間，何百回となく箱船に出入りしたことでしょう。防水加工をし，食物を運び込み，動物を入れました。次の場面を思い描いてみてください。その日がついにやってきます。彼らは箱船に入ります。エホバが戸を閉じられ，雨が降りだします。水の天蓋，天の大洋が開かれ，雨が猛烈な勢いで船に打ちつけます。（創 7:11，16）箱船の外にいる人たちは死んでゆきますが，中にいる人たちは救われます。ノアの家族はどんな気持ちになったでしょうか。神への深い感謝に満たされたに違いありません。それと共に，『まことの神と共に歩み，用意のできていることを示して，本当に良かった』と思ったことでしょう。（創 6:9）あなたは，ハルマゲドン後の自分を思い描くことができますか。同じような気持ちが心にあふれていることでしょう。塔11 3/15 3:10，11

12月24日，月曜日

何事も思い煩ってはなりません。―フィリ 4:6。

使徒パウロは信仰のために，生死にかかわる様々な逆境を耐え忍びました。（コリ二 11:23-28）そうした耐え難い状況で，どのように平衡と感情的な安定を保ったのでしょうか。祈りのうちにエホバに頼ることによってです。殉教へと至ることになりそうな試みの時の間に，パウロはこう書きました。「主はわたしの近くに立って，わたしに力を注ぎ込んでくださいました。それは，わたしを通して，宣べ伝える業が十分に遂行され，あらゆる国民がそれを聞くためでした。そして，わたしはライオンの口から救い出されたのです」。（テモ二 4:17）それゆえ，パウロは，『何事も思い煩う』必要がないことを仲間の信者に断言できました。（フィリ 4:6，7，13）時折，祈りが聞き届けられていないように思えることがあるかもしれません。少なくとも，すぐには，あるいは期待どおりの仕方では答えられていません。そうであれば，それには間違いなく十分の理由があります。エホバはその理由をご存じですが，わたしたちに分かるのはまだ先かもしれません。それでも一つのことは確信できます。神はご自分の忠実な者たちを見捨てたりはされない，ということです。―ヘブ 6:10。塔11 1/15 5:15，17

12月25日，火曜日

彼らは……イスラエルの聖なる方に痛みを与えた。―詩 78:41。

良心を訓練するために何ができるでしょうか。聖書および聖書に基づく出版物を研究する際，『義なる者の心は答えるために思いを巡らす』ということを銘記するのは重要です。（箴 15:28）仕事に関する疑問に直面した時に，そのことがどのように益となるかを考えましょう。ある仕事が聖書の要求に明らかに反するなら，ほとんどの人は忠実で思慮深い奴隷級を通して与えられている指示にすぐに従うでしょう。仕事に関する疑問の答えがはっきりしない場合，聖書の原則を確かめ，祈りのうちに考慮すべきです。それには，他の人の良心をかき乱すことを避ける必要がある，といった原則も含まれます。（コリ一 10:31-33）特に関心を払うべきなのは，神との関係にかかわる原則です。『この仕事を行なうとエホバに痛みを覚えさせ，痛みを与えることになるだろうか』と自問してください。―詩 78:40。塔11 2/15 3:12

12月26日，水曜日

わたしのため，また良いたよりのために，家，兄弟，姉妹，母，父，子供，あるいは畑を後にして，今……百倍を……得ない者はいません。―マル 10:29，30。

最善を尽くしてエホバに仕える結婚していないクリスチャンすべては，心からの称賛と励ましを受けるに値します。わたしたちは，それらの兄弟姉妹を，その存在ゆえに，また会衆への意義ある貢献ゆえに，愛しています。わたしたちが本当に，霊的な「兄弟と姉妹と母と子供」になるなら，そうした兄弟姉妹が寂しさを感じることはありません。切に待ち望んでいた賜物もあれば，全く思いがけない賜物もあります。すぐありがたいと感じる賜物もあれば，時間がたって良さが分かる賜物もあります。わたしたちの見方に多くが依存しています。あなたは，自分の独身の立場を最大限に生かすために，何ができますか。エホバにいっそう近づき，神への奉仕においてなすべきことをいっぱいに持ち，他の人への愛の点で自分を広くしてください。独身の賜物は，神の観点で見て賢明に活用するなら，報いの多いものとなるのです。塔11 1/15 3:18，19

12月27日，木曜日

わたしたちは神に対してこのような確信を抱いています。すなわち，何であれわたしたちがそのご意志にしたがって求めることであれば，神は聞いてくださるということです。―ヨハ一 5:14。

内気な人にとって，集会で注解するのは決して容易ではないでしょう。あなたがそうだとしても，それは何も異常なことではない，ということを思い起こすとよいかもしれません。事実，モーセやエレミヤといった，神の忠実な僕たちでさえ，人前で話す自分の能力に対する自信のなさを言い表わしました。（出 4:10。エレ 1:6）それでも，エホバ神はそれら昔の僕たちがご自分を公に賛美できるようにされました。ですから神は，あなたも賛美の犠牲をささげることができるようにしてくださいます。（ヘブ 13:15）しかし，どうすればエホバの助けを得て，注解することに伴う恐れを克服できるでしょうか。まず，集会に備えてよく予習しましょう。次いで，王国会館に行く前に，祈りのうちにエホバに近づいて，注解する勇気を与えてくださるよう特別に請願しましょう。（フィリ 4:6）「ご意志にしたがって」そうするのですから，エホバは必ずその祈りに答えてくださる，と確信できます。―箴 15:29。塔10 10/15 4:12

12月28日，金曜日

彼ら(は)あなた方をも迫害するでしょう。―ヨハ 15:20。

昔も今も，迫害に直面してそれを克服した多くのクリスチャンが，試練のさなかに神の聖霊の実の一面である内なる平和を経験した，と述べています。（ガラ 5:22）そして，この平和によって，心と知力を守ることができました。エホバはご自分の活動力を用いて，僕たちが試練に対処し，逆境にあっても賢く行動できるよう力を与えてくださるのです。厳しい迫害に面しても忠誠を保つ神の民の断固たる態度は，周囲の人々を驚嘆させてきました。証人たちは，超人間的な強さに満たされているように見えました。事実，そうだったのです。使徒ペテロは，次の保証の言葉を述べています。「キリストの名のために非難されるなら，あなた方は幸いです。栄光の霊，すなわち神の霊があなた方の上にとどまっているからです」。（ペテ一 4:14）義の規準を擁護するゆえに迫害されているということは，神の是認を得ているということです。―マタ 5:10-12。塔11 1/15 5:6，7

12月29日，土曜日

王国と神の義をいつも第一に求めなさい。—マタ 6:33。

神の義とは何ですか。「義」と訳されている元のギリシャ語は，「公正」あるいは「廉直」とも訳せます。ですから，神の義とは，神ご自身の価値規準に従った廉直さのことです。エホバは創造者なので，正邪善悪の規準を定める権利を持っておられます。(啓 4:11) とはいえ神の義は，温かみのない厳格な律法一式，あるいは無数の規則や規定を列挙した一覧のようなものではありません。エホバのご性格や，公正というエホバの主要な属性，ならびに愛，知恵，力といった他の主要な属性に基づくものなのです。また，神の義は，神の意志や目的と結びついています。その義には，神がご自分に仕えたいと思う人たちに期待なさる事柄も含まれています。塔10 10/15 2:1, 2

12月30日，日曜日

わたしに向かって，『主よ，主よ』と言う者がみな天の王国に入るのでは(ありません)。—マタ 7:21。

イエスは，自分が罪人たちつまり不法な人たちを悔い改めに招くために来たと言いました。(ルカ 5:30-32) とはいえ，罪の歩みにおいてかたくなになる人をどう見たでしょうか。そうした人に影響されないようにとの強い警告を与えました。(マタ 23:15, 23-26) イエスは，不法を習わしにして悔い改めない者たちを退け，「わたしから離れ去れ」と言います。(マタ 7:22, 23) どうしてそのように裁かれるのでしょうか。そうした人は，自分の不法な習わしによって，神を辱め，他の人に害をもたらすからです。神の言葉は，悔い改めない罪人を会衆から除くよう命じています。(コリ一 5:9-13) これは，少なくとも三つの理由で必要です。(1) エホバのみ名が非難されないため，(2) 会衆を汚染から守るため，(3) 可能であれば罪人が悔い改めに至るのを助けるためです。不法な歩みに固執する人に対してイエスと同じ見方をしているでしょうか。塔11 2/15 4:13-15

12月31日，月曜日

彼らは付き添いとしてヨハネも連れていた。—使徒 13:5。

ヨハネ・マルコは，若い時に，独身の年月を有益な仕方で用いました。マルコとその母マリア，いとこのバルナバは，エルサレム会衆の初期の成員でした。また，マルコの家族は快適な暮らしをしていたと思われます。市内に家を持ち，使用人もいたからです。(使徒 12:12, 13) そうした恵まれた状況にありましたが，マルコは若くても，自分を甘やかしたり自己中心的になったりしませんでした。身を落ち着けて快適な家族生活を送ればよいと考えたりもしませんでした。早くから使徒たちと交わったことで，宣教者奉仕への願望を植えつけられたのでしょう。パウロとバルナバの最初の宣教旅行に勇んで加わり，「付き添い」として仕えました。その後バルナバと共に旅をし，後には，バビロンでペテロと共に仕えました。(使徒 15:39。ペテ一 5:13) マルコは，進んで他の人に仕えて神への奉仕に打ち込んだ人として，立派な評判を得ました。塔11 1/15 3:8